慶應義塾大学学術情報リポジトリ
Keio Associated Repository of Academic resouces

Title	食育普及のためのプランターキットサービスの提案と検証
Sub Title	Planter kit service for the spread of dietary education
Author	糸川, 永利子(Itokawa, Eriko) 佐々木, 正一(Sasaki, Shoichi)
Publisher	慶應義塾大学大学院システムデザイン・ マネジメント研究科
Publication year	2010
Jtitle	
JaLC DOI	
Abstract	現在、家庭内でのコミュニケーション不足、個食が引き起こす栄養バランス問題など、食生活の大幅な変化により食の不健全性が社会問題の１つとなっている。 また、"食べる人"と"作る人"が分離されており、生産過程が見えないことから、安心・ 安全な食材への意識が薄らいでくると考えられる。 そこで、食育の定義を「家庭内での食育とは、食材（野菜）を自ら作り育てることで安心・ 安全な食生活の知識を獲得することである」とし、家庭における食に対する知識向上のためのサービスシステムを提案した。 食育の定義を基に、対象者は、低学年の子供をもつ母親に設定、予備設計、事前アンケート調査を行なった。またペルソナ手法を使用し、ユーザー像の具体化、ユーザーの要求を明確化し、家庭栽培を利用した食育サービスシステム「プランターキットサービス」を提案した。 「プランターキットサービス」とは、家庭菜園の経験がなくても気軽に始められるシステムである。造園会社がプランターにあらかじめユーザーが育てたい苗、土、肥料をセットし、自宅まで宅配、収穫後はプランターを引き取るシステムである。また育てている過程で不明な点は専門家に相談出来るサポートサービスを行うことで、安心して野菜を栽培することができる。 モニター調査では、ペルソナに合致した人を選出し調査を行った。検証の結果、モニター参加者の多数がプランターキットサービスの利用を通じて食育への関心を高めたことが調査から得られた。 以上、食育推進の普及のために「プランターキットサービス」が有効であることが検証された。
Notes	修士学位論文. 2010年度システムエンジニアリング学 第25号
Genre	Thesis or Dissertation
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=KO40002001-00002010-0014

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

修士論文　　2010 年度

食育普及のための
プランターキットサービスの提案と検証

糸川永利子
（学籍番号:80933044）

指導教員　佐々木正一

2011 年 3 月

慶應義塾大学大学院システムデザイン・マネジメント研究科
システムデザイン・マネジメント専攻

論　文　要　旨

学籍番号	80933044	氏名	糸川　永利子

論　文　題　目:

食育普及のためのプランターキットサービスの提案と検証

(内容の要旨)

現在、家庭内でのコミュニケーション不足、個食が引き起こす栄養バランス問題など、食生活の大幅な変化により食の不健全性が社会問題の1つとなっている。

また、“食べる人”と“作る人”が分離されており、生産過程が見えないことから、安心・安全な食材への意識が薄らいでくると考えられる。

そこで、食育の定義を「家庭内での食育とは、食材(野菜)を自ら作り育てることで安心・安全な食生活の知識を獲得することである」とし、家庭における食に対する知識向上のためのサービスシステムを提案した。

食育の定義を基に、対象者は、低学年の子供をもつ母親に設定、予備設計、事前アンケート調査を行なった。またペルソナ手法を使用し、ユーザー像の具体化、ユーザーの要求を明確化し、家庭栽培を利用した食育サービスシステム「プランターキットサービス」を提案した。

「プランターキットサービス」とは、家庭菜園の経験がなくても気軽に始められるシステムである。造園会社がプランターにあらかじめユーザーが育てたい苗、土、肥料をセットし、自宅まで宅配、収穫後はプランターを引き取るシステムである。また育てている過程で不明な点は専門家に相談出来るサポートサービスを行うことで、安心して野菜を栽培することができる。

モニター調査では、ペルソナに合致した人を選出し調査を行った。検証の結果、モニター参加者の多数がプランターキットサービスの利用を通じて食育への関心を高めたことが調査から得られた。

以上、食育推進の普及のために「プランターキットサービス」が有効であることが検証された。

キーワード:

食育，プランターキットサービス，ペルソナ手法，主婦，安心・安全

SUMMARY OF MASTER'S DISSERTATION

Student Identification Number	80933044	Name	Eriko Itokawa

Title:

Planter Kit Service for the Spread of Dietary Education

Abstract:

In recent years, the unsoundness of the dietary has been the one of the social problems, which is caused by the large changing dietary habit, for example, the lack of the communication in the family and the unbalance of the nutrition caused by eating alone are typical.

The concept of the dietary education was defined as; the dietary education in the family is getting the knowledge of safe and reliable dietary life by planting the vegetables by themselves. I suggested a service system for knowledge improvement for the appetite in the home.

In addition, using persona technique, and clarified the realization of the user image and the demand of the user, so the dietary education service system was named 'Planter-Kit Service' proposed for increasing the knowledge for the food by planting the vegetables in the family home.

And many problems and diverse requirement were clarified by using persona method. 'Planter-Kit Service' is a service system begun willingly without the experience of the private vegetable garden. A gardening company sets a seedling, soil, and manure to a planter beforehand and sends it to the home.

Furthermore the user can talk about any questions with an expert; he can cultivate vegetables in relief.

'planter-kit service' was designed and structured, the monitors were selected suitable for the persona, and experimented and validated.

At the conclusion of the validation, monitor is interesting for the dietary education through the utilizing the planter-kit service was clarified by the investigation.

It was validated that 'Planter-kit service' was effective for expanding the dietary education program.

Key word;dietary education, Planter-Kit-Service, persona, housewives,

目　次

1. 序章 ..... - 1 -
1.1 はじめに ..... - 1 -
1.2 本研究の背景 ..... - 2 -
1.3 食育に関する先行研究・活動 ..... - 3 -
1.4 本研究の目的 ..... - 5 -
1.5 本研究の新規性 ..... - 5 -
2. 食育に関する現状分析 ..... - 6 -
2.1 食育とは ..... - 6 -
2.2 内閣府が行っている「食育」の取組み ..... - 6 -
2.3 現状と問題分析 ..... - 10 -
2. 4 問題の抽出と解決策の方向性 ..... - 14 -
3. 食育推進のシステム構築 ..... - 16 -
3.1 システム構築 ..... - 16 -
3.2 ユーザー像の具体化と要求分析 ..... - 17 -
3.2.1 ペルソナ手法とは ..... - 17 -
3.2.2 ペルソナ手法の作成方法 ..... - 18 -
3.3 サービスシステムの設計 ..... - 21 -
3.3.1 予備調査の実施 ..... - 21 -
3.3.1.1 目的 ..... - 21 -
3.3.1.2 実施・結果 ..... - 21 -
3.3.1.3 予備設計の構築 ..... - 22 -
3.4 Pugh Selection によるコンセプトの選択評価 ..... - 23 -
3.5 事前アンケートの実施 ..... - 25 -
3.5.1 調査目的 ..... - 25 -
3.5.2 調査結果 ..... - 25 -
3.6 ペルソナ/シナリオの作成 ..... - 37 -
3.7 プランターキットサービスの試行 ..... - 38 -
3.8 モニター調査 ..... - 42 -
3.8.1 モニター調査の運営実施方法 ..... - 42 -
3.8.2 モニターの選定 ..... - 44 -
3.8.3 モニター調査中の様子 ..... - 49 -
3.8.4 モニター調査中の問題点 ..... - 51 -
3.9 区間推定 ..... - 54 -
3.9.1 区間推定 ..... - 54 -
3.9.2 信頼区間と信頼度 ..... - 54 -

3.9.3 精度 ..... - 54 -
3.9.4 計算手法 ..... - 54 -
3.9.5 標準正規分布（z分布） ..... - 54 -
3.9.6 F分布 ..... - 55 -
4. 結果と解析 ..... - 56 -
4.1 モニター調査によるアンケート結果 ..... - 56 -
4.2 統計による評価 ..... - 65 -
4.2.1 F 分布における推定公式 ..... - 65 -
4.2.2 Z 分布における推定公式 ..... - 65 -
4.2.3 食育に対する関心度の推移 ..... - 65 -
4.2.4 プランターキットサービスを体験の継続 ..... - 66 -
4.3 考察 ..... - 69 -
5. 結論 ..... - 72 -
6. 謝辞 ..... - 73 -
7. 引用文献 ..... - 74 -
8. APPENDIX ..... - 76 -
8.1 事前アンケート結果データ ..... - 76 -
8.2 モニター参加者の事前調査 ..... - 111 -
8.3 モニター調査アンケート結果 ..... - 118 -

1. 序章

1.1 はじめに

現在、食生活の不健全性などが原因で、栄養過多、生活習慣病、子供が切れやすくなるなどの社会問題が発生している。食生活の不健全性とは、食の知識不足や個食による栄養バランス問題などがあげられる。

食の知識不足や個食を引き起こす原因は、家庭内のコミュニケーション不足、夫婦による共働きの増加、核家族化、加工食品の増大など個食を可能とする食生活の態様の変化など、食生活が大幅に変化してきたことによるものである。

そこで、本研究では食の知識不足問題に焦点をあて、食育の観点から食に対する知識不足を解決するためのシステムを提案し、実験を行った。

一因と考えられる夫婦共働きの推移をみると、1988 年では 771 万世帯だったのに比べ、1991 年では 877 万世帯と約 100 万世帯（内閣府「男女共同参画白書」平成 21 年度版）[1]に増加している。

食事作りなどの負担を軽減できる“外食産業”や、“中食”といわれているデパ地下やコンビニなどで調理済みの食品を購入またはデリバリー注文など、自宅で簡単に食べられる“中食産業”が益々拡大し手軽に利用できることから、各家庭の味や地域ごとに受け継がれている味の継承、食文化が失われつつあることも現状である。

また、“食”に対する安心・安全の視点から“地産地消”などが奨励されているが、それは、“食”と“農”との距離が広がっていることも原因の1つである。ここでいう距離とは、仲介業者の存在や農家と消費者の食品に対する意識のちがいのことである。

“食べる人”、“作る人”が異なることは一般的であるが、その生産過程が見えないことが意識の異なる原因の 1 つともいえる。また、生産過程が見えないことから、安心・安全な食への意識も薄らいでくる。

内閣府は、平成 17 年 6 月に、「国民が健全な心身を培い、豊かな人間性をはぐくむ食育を推進するため、施策を総合的かつ計画的に推進すること」を目的とし、食育基本法を公布し、翌年、平成 18 年から平成 23 年までの 5 年計画で「食育基本計画」を制定した。[2]

しかし、内閣府の意識調査（平成 21 年 12 月調べ）では、4 年間の活動では、食育への関心はほとんど見られず、「食育の周知度」[3]に関して、「言葉も意味も知っていた」

人は、41％にとどまり、また、「食育に関心がある」[4]人は、平成 20 年度は 39％、平成 21 年度は、36.9％と2.1ポイント減少している。 内閣府の目標値は、「言葉も意味も知っていた」と、「言葉は知っていたが、意味はしらなかった」人を平成 22 年度までに 90％以上を目標にしているが、現状値は、75％にとどまっている。[2]

国の政策としては、食育を盛んにすることを目的とした、食育に関するイベントも多々開催しているが、継続したものではなく、スポット的なものが目立つ。

そこで、本研究では、食育という言葉は知っているが、実際どうしたよいのかわからずにいる子供をもつ主婦を対象に、身近に食育に触れ、かつ、自分が食べたいものを作ることで、生産することの知識や喜びを増し、“安心・安全”な食材への意識を深めるための、持続可能な食育サービスシステムを提案し、さらに実験、検証を行った。

本研究では、設計上の目標としてペルソナ手法を用いて、食育システムの提案から、実験検証を行った。

実験方法は、事前調査で 35 人にアンケートを行った結果から代表的な人物像としての“ペルソナ”を作り、ペルソナに合致したモニター（被験者）を13 人選び、「プランターキットサービス」を使用し調査、さらにアンケートを実施し、当該ペルソナの要求にマッチするかの判断により検証した。

検証の結果、実験対象の 13 人中 11 人がプランターキットサービスシステムに好意的であり、生き物（野菜）を育てるという新鮮な経験を高く評価した。

したがって、運営組織が家庭とプランター素材を結びつけるサービスシステムを提供する有効性、合理性が実証できた。

今後は、運営組織の具体的なあり方について、国による食育普及運動を意識しながらさらに精査することを考えていきたい。

1.2 本研究の背景

「食育」という言葉の歴史は古い。明治期に食養医学で活躍した福井県出身の石塚左玄は、その著書『食物養生法』で、「体育智育才育は即ち食育なり」[5]と、全ての基礎は食育が基本となると提唱している。

また、石塚左玄は、「身土不二」も提唱している。「身土不二」とは、人間の身体と土

地は切り離せない関係にあり、その人が生まれ育った地域の食べ物は、その人の身体（健康）にもっとも良い、その土地でその季節にとれたものを食べるのが健康に良い（大辞泉より）、という考え方である

近年、ライフスタイルの変化により、個食（孤食）、粉食といった食習慣の乱れや、朝食の欠食、野菜、果物の摂取量不足など、食生活における問題が増加している。

加工食品の氾濫や食習慣の変化は、1965 年には 73%あった食料自給率が、現在では 41%[6]まで低下してしまった原因の1つでもある。

「食」に関わる安心・安全の視点からは、安全保障等の食材自身の安全問題がある。近年、米国を中心とする圧力により、種子ビジネスにはじまり、穀物、オレンジ、米と自由化を進めることとなり、農業は危機的な状況に追い込まれた。また、一般消費者に安い食品や農産物を提供するという名目のもと、総合商社や大規模スーパーが食物の輸入量を急増させたところ、日本の農業政策と輸出入時に発生する関税問題や成分表示、農薬基準など、食の安全性の問題が浮かび上がり、食品に関する問題や、懸念事項などへの消費者の関心が高まってきている。[7]

さらに、近年は、「食」に対する国民の意識という点で、教育と連動して「食育」という観点が重要視されている。

本研究では、上記の食に関わる諸問題の中で、特に「食育」に焦点をあわせた。

1.3 食育に関する先行研究・活動

食育に関しては、主に、残食を減らすための取り組み、朝食の欠食改善、栄養バランスガイドを活用した食育の重要性を研究、健康づくりなどを目的とした学校給食の有効活用、栄養学からの視点でアンケート調査などが行われている。また、若者の箸の持ち方や食事マナーを関連付けた食育に関連した調査が行われている。

一方、海外では、スウェーデンなどでは、日々の食事に厳しい問題があり、解決するには、学校給食など、健全な食習慣が必要と結論づけている。

欧米での食育に関する取り組みも盛んに活動を行っている。特に、肥満や生活習慣病などが深刻な問題となっているアメリカやイギリス、健康的な食生活をおくることを重視しているドイツなどで子供と食生活を関連付けて　給食や食に関する教育、教室で農業をするなど学校を中心とした活動である。

また、アメリカでは、地域の子供たちに対する教育的効果などがあると考え、CSA（地域が支える農業）にも積極的に取り入れるなど、世界でも様々な方法で食育に取り組んでいる。

活動事例としては、主に、食品メーカーや、料理教室などが食育に関連したシンポジウムなど行い、栄養学からみた、食の大切さ、楽しさ、食のバランス、五感の育成、食の安全・安心、1日収穫体験ツアー、お箸作り、栽培学習、親子の調理学習、など、多岐にわたって行われている。

各企業、団体での食育活動情報をまとめたポータルサイトが、食育プロデュース委員会が「企業の食育サイト」[8]を掲載し、事例を紹介するなどして普及を図っている。

また、福井県福井市で食育の普及活動をしている浅田クッキングスクールの校長浅田容子氏にインタビュー（2010 年 6 月）をする機会があり、浅田氏が行っている食育活動を以下のように語っていた。

食育活動として、子供のときから食を知ることの大切さを習慣付けることから、3 歳から小学校 3、4 年生までの子供を対象とした子供料理教室を開催している。

包丁や、ガスコンロなどの調理器具を扱うため、15 人の生徒を年齢別に分け、グループごとに講師を配置しながら、料理指導をしている。子供達は、同じ材料が料理の仕方次第で何種類もの料理に変化していくことを学ぶことで、食材に興味をもつことができる。

また、家から料理教室に来るまでの道中で何種類くらいの野菜を見たかなど、調べながら通っている。畑が豊富な福井県だからこそあえて、親子で意識しながら畑に植わっている野菜を見ることの大切さも子供に教育している。

また浅田氏は、食文化を継承する御食国（みけつくに）大使としても活躍している。御食国とは、日本古代、朝廷や皇室に海産物などの食を贈呈した国（県）のことであり、福井県は、主に鯖などを京都に送ったとしている。

そのような日本古代からの伝統ある食文化を発信している団体で、全国の御食国大

使に任命されている50人が、小浜市で開催された「食の交換」で地区ごとに50種類の料理を作り、食文化を口で伝える活動をしている。

一方、福井県あわら市でも休耕田を活用した体験農園を通して、非農家を対象とした都市住民に、農業や食、地産地消に対する理解を促す活動をしている。

休耕田を利活用することで、年間1グループ(4人)で1万円と参加しやすい価格設定にし、区画していない約6000平米の敷地を参加者全員で年間約15種類の野菜の作付けを行う。月 1 回～2 回の体験日を定め、地元農家や農業者団体の協力と指導のもと、植え付けから収穫を体験している。

また収穫したものをその場で調理して食すことで、子供から大人まで食に対し興味や関心をもつことができる。また参加者同士のコミュニケーションを図るなど食育の一環としての活動を行っている。

しかし、食育を継続的に実践するために、家庭できる食育の一環として、身近なプランター栽培を活用し、食育を普及するサービスシステムを提案し、実験、検証を導きだした視点からの研究はまだない。

1.4 本研究の目的

本研究は、国民運動の1つである食育推進の取り組みに着目し、望ましい食習慣を家庭で持続的に実践できる「プランターキットサービス」を、ペルソナ手法を用いて多様な要求を明確化し、提案、検証することとする。

1.5 本研究の新規性

本研究は、上記の目的を達成するために、社会的公共サービスシステムの構築分野では新たにペルソナ手法の導入を図った。

食育に対する被験者意識を抽出し、小規模ながらプランターキットサービスを実際に試行することで、食育に対する積極的変化を把握し、提案システムの合理性を検証する新規性を有するものである。

2. 食育に関する現状分析

2.1 食育とは

食育とは大辞泉によると、「食に関する教育。食料の生産方法やバランスのよい摂取方法、食品の選び方、食卓や食器などの食環境を整える方法、さらに食に関する文化など、広い視野から食について教育すること。」と説明されている。

一方、政府は、食育を普及するための目的として、教育基本法を制定し、その目的を「国民が健全な心身を培い、豊かな人間性をはぐくむ食育を推進するため、施策を総合的かつ計画的に推進すること等」[9]と規定しており、明確な定義はない。また、食育に取り組む企業、学校、地域の食育に関する考え方そのものは、大きな違いはなく、共食によるコミュニケーション、食事のバランス、食の安心・安全、心と体の健康など、正しい知識を身につける、又は情報発信することを理念に活動している。

2.2 内閣府が行っている「食育」の取組み

食育基本法は、「国民が生涯にわたって健全な心身を培い、豊かな人間性を育むことができるよう、食育を総合的かつ計画的に推進する」ことを目的とし、平成 18 年度から平成 22 年度までの 5 年間で行う「食育推進基本方針」[10]を以下の 7 項目で制定した。内容は、以下の通りである。

1.国民の心身の健康の増進と豊かな人間形成
2.食に関する感謝の念と理解
3.食育推進運動の展開
4.子供の食育における保護者、教育関係者等の役割
5.食に関する体験活動と食育推進活動の実践
6.伝統的な食文化、環境と調和した生産等への配意及び農産漁村の活性化と食料自給率の向上への貢献
7.食品の安全性の確保等における食育の役割

また、法律が作られた背景としては、以下の 7 項目があげられている。

1. 「食」を大切にする心の欠如
2. 栄養バランスの偏った食事や不規則な食事の増加
3. 肥満や生活習慣病（糖尿病など）の増加
4. 過度の痩身志向
5. 「食」の安全上の問題の発生
6. 「食」の海外への依存
7. 伝統ある食文化の喪失

内閣府の食育推進担当によると、「食育基本法」を制定した経緯のきっかけを以下のように説明している。

国民の食生活に対する意識にはばらつきがあり、1 日 3 食の摂取、特に朝食の欠食をなくすことや、自らの嗅覚や味覚など安全な食べ物を自分自身の五感で判断できるようにすることを目的としている。

また、法律の制定により、各自治体が食育活動として動きやすくなり、又国民に食育に対する意識を浸透させることができる。

「食育」の定義を作らないことで、幅広い活動ができるとしている。

なかでも近年増加している生活習慣病は大きな問題の1つであり、30 歳代から 60 歳代の約 3 割に見られる肥満、20 歳代に見られる過度なダイエット、年々増加している糖尿病など、栄養の偏りや、不規則な食事が原因と考えられ食生活の改善対策として、食育活動推進活動に取り組むために、法律が制定された。

また、「国民の心身の健康の増加と豊かな人間形成」を目的とした、国民運動としての食育推進をするため内閣府、食育推進を中心とした「国」、都道府県の各市町村を中心とした「地方公共団体」、食育に取り組んでいる企業、ボランティア団体、家庭などを中心とした「国民」の 3 軸を相互協力、提携を結ぶ食育推進体制（図 2-1）となっている。

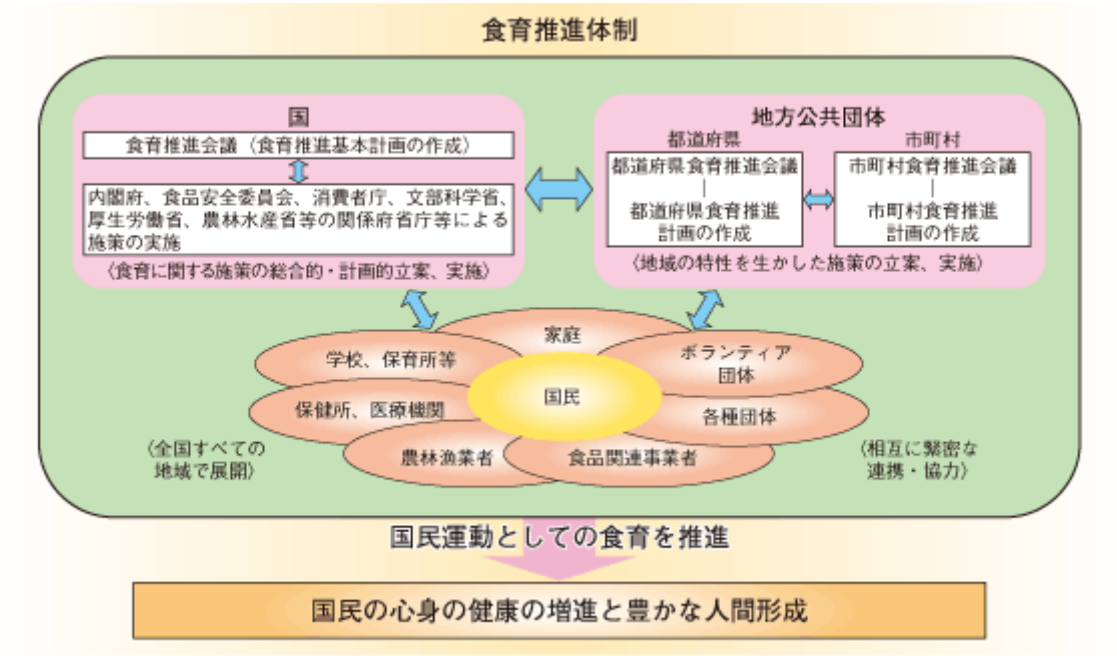


図 2-1　食育推進体制[10]

次に、ザックマンのフレームワークを応用して、内閣府による、食育推進の取り組みを整理してみることにする。

ザックマンのフレームワークとは、ジョン・A・ザックマン氏が 1987 年に考案したエンタープライズ・アーキテクチャー（以下 EA）であり、情報システムだけでなく、企業全体、その開発に関わるステークホルダー全体をカバーできるフレームワークである。

ザックマンは、アーキテクチャーを、「対象物を記述するのに適した一連の設計表現であり、要件を満たすよう製作され、システムが存続する間、維持されるもの」[12]と定義している。マトリックスにあてはめ、ステークホルダーと複雑な組織構造を体系化することで組織全体の相互関係を可視化し、システムを最適化することができる。

内閣府の食育の取り組みを、縦軸は、ステークホルダーを内閣府、企業、学校・保健所、地域、家庭に、横軸は、What(データ)、How（機能）、Where（ネットワーク）、Who（人材）、When（期間）、Why（動機）のマトリクスで全体の構成を可視化した。（表 2-1）

企業は、食品の安全性に対する情報提供や、子供料理教室を開催して、自分たちで料理を作って楽しむことで食文化の伝承をわかりやすく伝えていく活動を、学校は給食を通じて栄養バランスなどを考慮し提供している。

また、地域は、地域ごとに様々な食育に関するイベントを提供し、食育に関心がもて

るよう創意工夫をしている。

家庭での食育推進の役割をみると、食事マナー、栄養バランス、食生活リズムに関しては、企業から発信される情報収集や、地域ごとのイベントに参加できるようになっている。

しかし、「望ましい食習慣や知識獲得のための実践」に着目したとき、家庭で食育に関して自ら情報収集するなど、興味や関心があれば実践できるが、食育という言葉を聞いたことがあるだけでは実践することは難しい。また、3.1 節「現状と問題分析」に示すように、「食育という言葉と意味を知っている」人が、43%(平成 12 年)[3]、「食育に関心がある」人が、35%(平成 12 年)と、約 40%の人にしか食育を理解していないことがわかる。そこで、「望ましい食習慣」や、「知識獲得のための実践」といわれても実際は何をしたよいのかわからずにいる家庭も多いのではないかと考え、実践できるシステムを提案することとした。

表 2-1 内閣府による食育推進の取り組み

	WHAT データ	HOW 機能	WHERE ネットワーク	WHO 人材	WHEN 期日	WHY 動機
内閣府	データ管理 一色調査 情報発信	食育推進基本計画作成 活動の支援 研究・調査	国 地方公共団体 教育関係者 食品関連事業者	文部科学省 厚生労働省 農林水産省 関係各省	中期計画 (5 年)	食育推進のための目標と戦略
企業	食育に関する情報収集・発信 PR	食品の安全性に関する情報提供	テレビ・ラジオ 食品関連企業 インターネット	企業 自治体 消費者団体	中期計画 (5 年)	食育推進のモデル作り
学校・保健所	食文化の伝承・栽培活動等の推進	メニュー、栄養バランスなどの情報 知識の提供健康作り	医療機関 学校給食	栄養士 専門調理師 保育所 学校給食関係者	中期計画 (5 年)	生活習慣の改善 設計・指導
地域	専門的知識を有する人材の養成	食材への関心をもつための環境作り	ボランティア活動 消費者と生産者の交流	商店街	中期計画 (5 年)	食料自給率の向上、地産地消の推進
家庭	食事バランスの知識習得	食事マナー 共食 栄養バランス 食生活リズム	コミュニケーション	家族	中期計画 (5 年)	望ましい食習慣や知識獲得のための実践

2.3 現状と問題分析

内閣府は平成 17 年度から毎年食育に関する意識調査を各都道府県あわせて約 5000 件（有効回答数は約 3000 件）に家庭訪問をして聞き取り調査を行っている。

現状では、平成 22 年度までに達成したい目標値には、ほとんどの項目で届いていない。

また、食育の周知度や、食育への関心度などは 5 年間の取り組みの中で大きな進展がみられていない。

法律を制定したことで、認知度は高くなり、一部の企業や自治体で様々な取り組みはしているものの、全国的な活動として浸透していない。また、テレビなどで食育という言葉は聞いたことがあっても、自分の食生活と結びつけられないことも理由の1つであると考える。

「食育の周知度」（図 2-2）に関しては、「食育」という言葉と意味を知っていた人が 43%、言葉は知っているが意味は知らなかった人が、32．4％と、言葉を知っている人の目標値を 90％にしていたが、実際は、約 75％にとどまっている。【3】【13】

「食育への関心度」（図 2-3）に関しても、食育に関心がある人は 35.1%（平成 21 年 12 月調査）と前年（平成 20 年 3 月）の 39%より約 4%低くなっており、まだまだ「食育」自体が、浸透されていないことがわかる。【4】

また、食育に関心が高い人ほど、朝食の摂取や、バランスの良い食事を摂取している傾向にある。食事の摂取状況は、食事の欠食をする人の割合は、20 代 30 代で 4 割を超え、特に朝食の欠食の割合が目立つ。

一方で、「食事バランスガイドを参考にして食生活を送っている国民の割合」は、約 50％であり、目標値の 60%を下回っている。主な理由として、食事バランスガイドの使用方法がわからない、食事を作るたびに見ない、バランスガイドの存在を知らない、などが挙げられる。

このように、各個人の食育に対する意識の変化や、学校給食における地場産物の使用、教育ファームの取り組み、学校給食以外の大学と大学生協との連携、各自治体や企業の取り組みなどで食育に対する変化が見込まれる。

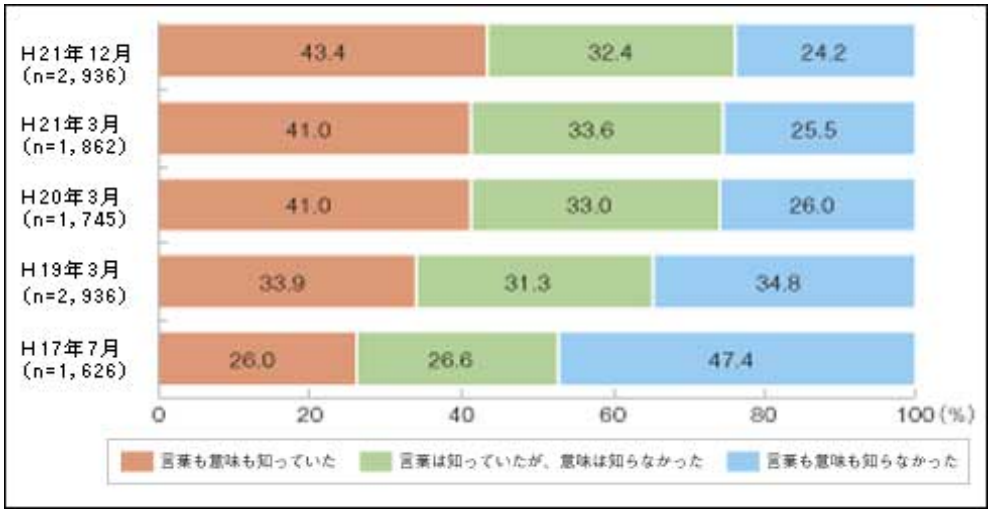


図 2-2 食育の周知度[3]

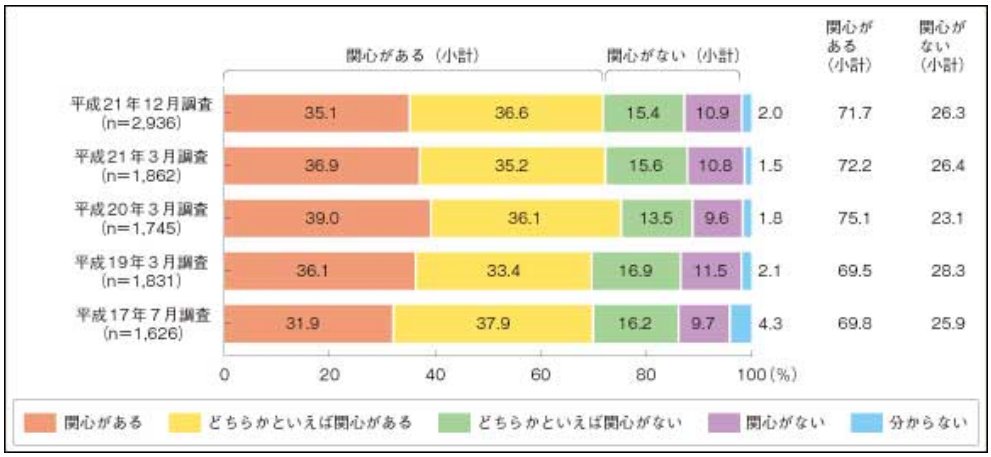


図 2-3 食育への関心度[4]

最近は輸入食品の問題などがマスメディアでも取り上げられ、よく耳にするようになったが、健康に悪影響を与えないようにするために、どのような食品を選ぶか、どのような調理が必要かに関連した質問で「食品の安全性に関する基礎的知識があるとする国民の割合」が3.5%、「ある程度あると思う」が46.2%(平成20年度調査)と前年の「ある程度あると思う」53.5%(平成19年度調査)より減少している。(図2-4)[14]

「よく利用する食物(料理)の入手先」(図 2-5)[15]に関しても、90%以上の人がスーパーマーケットや食料品店で購入しており、2番目に多かった直売所・産直は28.1%と、大差がある。こうした理由からも、消費者からは、生産過程が見えにくいと考えられ、生産者の安全面に関する意識は低下し、スーパーなどの売り手側にほとんど依存していることがわかる。

外食率の割合をみると、平成 2 年ごろから外食する人が大幅に増加していることがわかる。((図2-6)「外食率、食の外部化率の推移」)[16]

増加した理由としては、単身世帯の増加、女性雇用の増加、生活スタイルの変化の変化などが考えられる。外食や、お弁当などを買って家で食べる「中食」などが非常に多くなっている。外食や中食の傾向が増加するにつれ、料理をする頻度の低下、味覚の鈍化、安全な食事に対する意識、などが薄れにつながると考える。

以上のことから、食の安全に対する意識や知識を自発的に向上できるシステム作りが必要であると考えた。

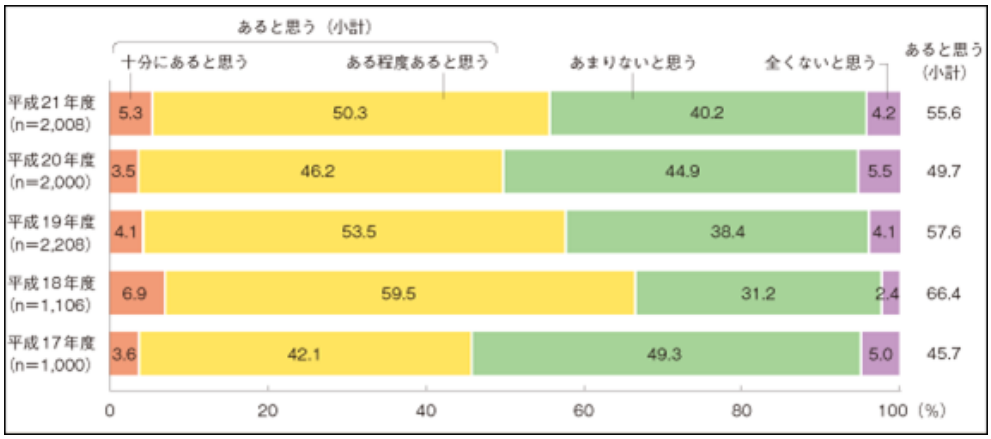


図 2-4 食品の安全性に関する基礎的知識があるとする国民の割合[14]

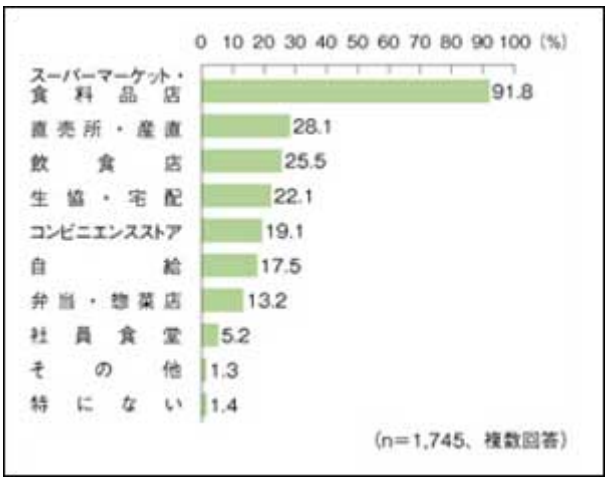


図 2-5 よく利用する食物(料理)の入手先 [115]

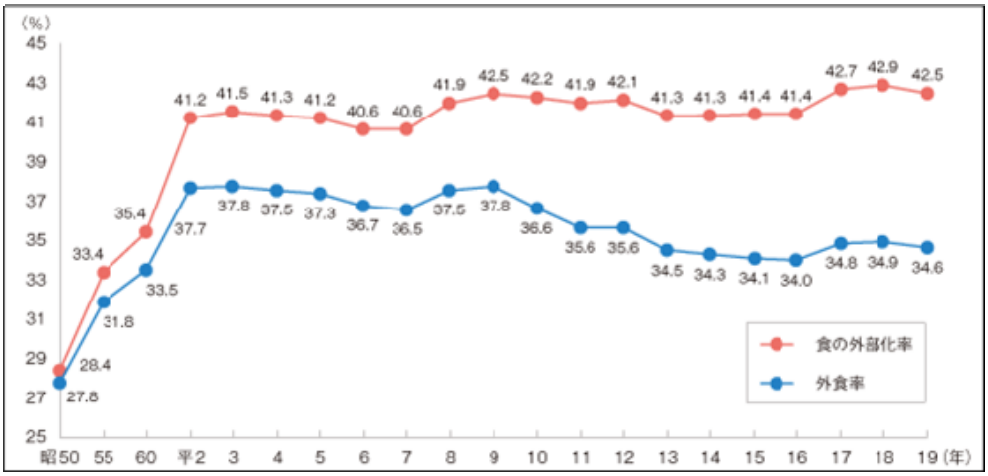


図 2-6 外食率、食の外部化率の推移[16]

2．4　問題の抽出と解決策の方向性

ここまで内閣府による食育推進活動の現状分析を説明してきたが、なぜ食育の関心度に変化がないのか、問題を抽出してみることにする。

1．地域や自治体などが行っている食育イベントは、局地的な集合イベントが多く、その時は食育に触れられるが、各家庭に普及させるための効果的プランが少ないのではないのか。
2．身近な環境で、自分たちが食べたいものを作り育てるにはどうしたらよいのか。
3．企業、地域、家庭のネットワークや、コミュニケーションが重要な要素となり、お互いの情報提供により持続的なものになるのではないか。

など、3 点を抽出してみた。

近年の生活スタイルの変化、ジャンクフードの流行、味覚の鈍化などが原因とも言われる不健全な食生活が目立つようになってきている。

2．3 節「現状と問題分析」でも詳述するが、内閣府の意識調査でも約 6 割が、「食育という言葉を知っているが意味を知らない」、「言葉も意味も知らない」と回答していることから、まずは自ら食育を実践し、意味を知るためのきっかけ作りが必要ではないかと考えた。

そこで、(P9 表 2-1)にも記載してあるように、家庭における「望ましい食習慣や知識獲得のための実践」の解決策の 1 つとして、本研究での「食育の定義」を、「家庭内での食育とは、食材(野菜)を自ら作り育てることで安心・安全な食生活の知識を獲得することである」とし、これに基づいて、家庭内で実践できる効果的な食育推進システムを検討した。

また、「食育の推進に関する施策についての基本的な方針」の中にも、内閣府が家庭での取り組みを薦める次の 2 項が記載されている。

・子供の食育における保護者、教育関係者等の役割
・食に関する体験活動と食育推進活動の実践

これら食育の根幹とも言える家庭内での食育に着目したことから、対象を「低学年くらいまでの子供をもつ主婦」と限定した。

平成 17 年国政調査によると、夫婦と 12 歳未満の子供がいる世帯は全国で約 630 万世帯である。すなわち、約 630 万人の主婦が存在することになる。

630 万人が、食育に関して多種多様な意識や関心をもちあわせていると考えられ、3.2 節「ユーザー像の具体的と要求分析」で詳述するが、“ペルソナ手法”を用いて、対象者を決定することにした。

本研究での「食育の定義」である「家庭内での食育とは、食材（野菜）を自ら作り育てることで安心・安全な食生活の知識を獲得すること」を具体化するため関係図（図 2-7）で示した。

「野菜を自分で育てる」、「知識向上」、「食習慣」の 3 点を軸におくことができ、それぞれの行動が相互関係をもち、食生活に影響を与え、食育向上を目的とした新しい食育サービスシステムを設計することで解決の方向性が見出されるのではないかと考えた。

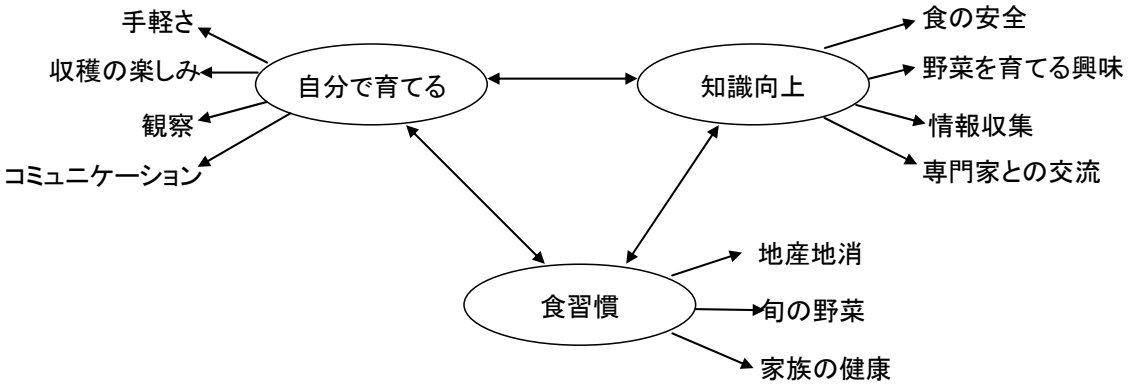


図 2-7 食育の定義要素の関係図

3. 食育推進のシステム構築

3.1 システム構築

本研究は、予備設計を基に事前アンケートを行い、要求分析を明確にし、さらには、Pugh Selection、ペルソナ/シナリオ手法を使用して、サービスシステム設計を構築した。

また、「サービスシステム」を試行するために、運用方法をザックマンのフレームワークを用いてそれぞれの役割に漏れがないかを確認したうえで、試行システムを作成、モニター調査を行い、検証した。

表 3-1 設計フロー

STEP1	予備設計 (3.3.1 節)	予備調査のための「インタビュー」の実施
STEP2	コンセプト評価 (3.4 節)	「Pugh Selection」による、コンセプト評価の実施
STEP3	要求分析 (3.5 節)	予備設計を基に、「事前アンケート」を行い、「ユーザーが何を求めているか」を明確にする
STEP4	サービスシステム設計 (詳細設計) (3.6 節)	「ペルソナ」を構築し、ペルソナの目標とゴールを明確にし、何をどのように提供するか設計する
STEP5	試行システムの作成 (3.7 節)	ザックマンの「フレームワーク」を使用し、「プランターキットサービス」の構成を整理、可視化する
STP6	モニター調査 (3.8 節)	ペルソナに基づきモニターを選定し、調査を実施
STEP7	評価と妥当性の検証 (4 章)	モニター調査後、ペルソナを基にアンケート調査による評価の実施

3.2 ユーザー像の具体化と要求分析

要求の明確化をするためには、低学年くらいまでの子供をもつ主婦の食育に関する現状を把握し、細分化することが必要になる。

だれのために、どのようなサービスを提供したら満足に利用してもらえるのかを明確にすることが重要である。また、コンサルティング会社を設立し、多くの企業の新製品開発と改善を手がけている、アランクーパー（Alan Cooper）は、「多くのユーザーを満足させようとするよりも、たった 1 人のために設計したほうが成功する」と提唱している。

ペルソナ手法を使って、ユーザーの要求を明確化し、サービスシステムを構築することで、現在の食育に関する意識調査や、野菜を育てた経験の有無、経験したときの悩みや希望などを事前アンケートでモニター調査を行い、ニーズをより具体的にした。

本来、ペルソナ手法は、主に IT 企業などが製品開発をするときに用いる手法だが、本研究では、システムサービスの構築手段としてペルソナ手法を使用した。

12 歳未満の子供がいる世帯は全国で約 630 万世帯あり、約 630 万人の主婦が存在することになる。本研究でも 630 万人を満足させようとするよりも、ペルソナを作成し活用することで要求ターゲットを絞り込みサービスの機能や目標を設定することとした。

ペルソナ手法については、次に説明する。

3.2.1 ペルソナ手法とは

ペルソナとは想像上の人物描写のことで、対象となる商品のユーザー像や、ユーザー層についてのデータなど、関係者に共通している認識を具体化したものである。

本来、ペルソナとは、その商品を使う典型的なユーザーであるため、ペルソナに満足してもらうことで、多くのユーザーに満足を与えられる商品を生みだすことができる。

ペルソナを作ることで、ターゲットとなるユーザーのイメージを開発チームが共通認識することができる。ユーザーの行動、背景、経験、趣味、その製品の使用状況などを具体的に、かつ実在する人々からのインタビュー調査などの定性的データと定量的データを基に、ユーザー体験情報を重要な要素として取り入れるため、厳密にシナリオを描くことで、「有効性、効率、満足度」などの要求が鮮明になる。

ターゲットユーザーを明確にしたうえで、システム設計を行うことで、多くの人に好ま

れる商品を開発できる。ペルソナを作る利点は、ターゲットを明確にするため、だれのために作っているのかが明確になることである。議論をしているとき、開発段階で困ったときには、「ペルソナに聞く」ことで、“開発製品”の利用状況や、知識や経験などを同時に把握できるため、ユーザーが何を求めているのか、問題はどこにあるのかを見つけ、ユーザー中心の設計をすることから、ペルソナの顧客満足値を高めることができる。

以上のことから、ペルソナを構築し、各家庭で取り組める食育サービスを提案することとした。

3.2.2 ペルソナ手法の作成方法

ペルソナの作成から活用、評価の手順は以下のとおりとなる。

本来、ペルソナ手法を使用したプロジェクトメンバーは5，6名以上いることが妥当ではある。本研究では、必要に応じてゼミのメンバーなどと意見交換などをしたが、基本的には、筆者が中心となり、ペルソナの作成から評価までを行った。

Phase1：企画・計画（戦略）

ペルソナ作成へ向けたユーザー調査や基礎データの収集、又、開発製品に関する問題などの調査や具体的な要求内容を把握する。

ペルソナを作成する前段階で、仮説や調査事項を収集したデータから、ペルソナの基になる「簡易ペルソナ」を作成する。

ユーザーをカテゴリー分けし、ユーザーの明確化を図る。

戦略内容を主要関係者間にフィードバックし、ペルソナを生成するか決定する。

本研究では、4.3.1 節「予備調査の実施」で、インタビューなどを行い、予備設計を作成した。また、予備設計を基に、Phase2 で行うペルソナ/シナリオの設計の準備をするため、事前アンケートを実施し、現状把握、提供価値、要求仕様の検討を行った。

Phase2：ペルソナ/シナリオの設計・開発

必要な基本情報（プロフィール）作りをする。

(1)基本情報には、年齢、性別、居住地、家族形態、ライフスタイルなどを盛り込ませていき、人物像の枠組みを作成する。

(2)ユーザーの特徴には、基本情報のライフスタイルから、さらに一歩進み、“開発する製品”を「いつ」「どのようなときに」に「どのような状態で」使用したいかもしくは使用しているかなどを確認していく。

使用経験の有無、使用率、メディアからの情報、インターネットの使用頻度、“開発製品”への意識や興味、使用するときの悩みなどを記載することで、より人物像を具体化することができる。

次に、基本情報（プロフィール）と組み合わせてシナリオを作成する。

シナリオ作成は、問題シナリオと解決シナリオがある。実際にペルソナを動かすための製品の使用方法や、使用時のユーザー行動をストーリー展開させたものであることから、ペルソナがその製品を使用する際の行動や背景を口語体で具体的に描いたものを作成する。

問題シナリオとは、インタビュー又はアンケートなどを実施し、ユーザーの現状を把握し、行動分析や、その製品に対する悩みなどの経験を体感的に描く。

解決シナリオとは、ペルソナが達成したい目標である要求内容を描くことである。

問題シナリオと解決シナリオの 2 種類を描写することで、ユーザーの行動、反応、期待を理解でき、機能を含めた設計の見直しができることから、さらに明確に設計でき、設計がぶれにくくなる利点がある。

本研究では、3.6 節「ペルソナ/シナリオの作成」で、事前アンケートを基に、ペルソナの構築をした。

Phase3：プロトタイプの作成

ペルソナの構築後、ユーザーの目的を理解しているか、または達成可能かなどの検証も含め、プロトタイプを作成する。 また、不足していることや、機能や特徴なども具

体的に盛り込ませていく。製品に詳しい専門家に相談することで正しく機能しているか確認することも大切な作業となる。

本研究では、3．7 節「プランターキットサービスの試行」で、コンセプトデザインの設計構築をした。また、今回は食育サービスの設計構築となるため、内閣府の食育推進室担当に確認することとした。

Phase4：評価と妥当性の検証

評価方法には、ユーザーによる評価、専門家による評価、定量的評価、定性的評価などを使用し検証する。

ユーザーによる評価は、実際にユーザーが参加して、商品やサービスの使いやすさなどのユーザビリティテスト、顧客満足度、ユーザーの目的に達成する可能性についての評価などを行う。

本研究では、3．8 節「モニター調査」を実施し、ペルソナの目標にどこまで近づけたか、またユーザーの満足や、顧客にとっての価値などを、アンケートにより評価・検証を行った。

3.3 サービスシステムの設計

3.3.1 予備調査の実施

3.3.1.1 目的

野菜を育てながらの調査となるため、モニター調査は 1 回しかできないため、システム設計の慎重さが要求されることから予備調査をしたうえで、予備設計を行った。
予備設計を基に事前アンケート調査をし、具体的な設計を実現するためである。

3.3.1.2 実施・結果

低学年くらいまでの子供をもつ主婦 10 人に簡単なインタビュー調査を行った。
食育に対する関心や興味については、全員から言葉は知っているが、特に意識したことがなかったという回答が得られた。
また、家庭菜園についてのイメージを聞いた結果は以下の通りである。

1. 子供の教育雑誌の付録に簡単な種と紙で作る植木鉢みたいなものがついてきたので、一応セットしたが収穫するまでには至らなかった。
2. うまく育たないし、準備するのが面倒くさいので最初からやらない。
3. 使用しなくなったら、プランターが邪魔になる。
4. 近所に市民農園を借りたことがあるが、結局時間がなくなって行かなくなった。
5. うまく育たなかった場合、本とかインターネットで調べたりせずに、そのまま途中であきらめてしまいそう。

「野菜を育てることは楽しそう」と前置きしたうえで、野菜を育てるには、サポートの必要性があることがわかった。

- 家から離れた畑で野菜を育てることは難しいので、家の中（プランター）で野菜を育てることが前提条件となる。
- 準備段階のセットから、収穫後のプランターの処理
- 育てている時、自分で調べたりするのではなく、プロのアドバイスを受けられるなど、以上のことを踏まえながら、サポートシステムの構築を、予備設計することとする。

3.3.1.3 予備設計の構築

予備調査でのインタビュー調査からの意見を集約し、ユーザーが手間をかけずになるべく簡単に野菜を育てるための予備設計を構築した。

プランター栽培に付属しているサポートサービスは、現在では研究されていない。競合サービスはまだないので、競合製品（サービス）の分析は行わない。

3.4 Pugh Selection によるコンセプトの選択評価

Pugh Selection とは、マトリックスを作成し、比較基準となる基準オプション（以下 DATUM）を決めて、選択肢となる複数のオプションと DATUM をそれぞれ比較し、最適なオプションを選択する手法である。

評価方法としては、DATUM と選択肢となるオプションを比較し、DATUM より優れていれば（＋）、劣っていれば（－）、同じであれば（S）とし、マトリックスにそれぞれ記入していく。

合計して、一番ポイントの高いオプションが最適な評価となる。

今回、「庭での土栽培」を DATUM とし、「市民農園」、「体験農園」、家庭で気軽にできる野菜作りができる「プランターキットサービス」、一般的な「プランター」で評価した。

表 3-2 Pugh Selection

	市民農園（指導なし）	体験農園（指導あり）	庭での土栽培	プランターキット栽培	プランター栽培
場所の確保	－	－	D	s	s
種、肥料、道具の調達	s	＋	A	＋	s
移動距離時間	－	－	T	s	s
汚れる	s	s		＋＋	＋
作業負荷（時間）	s	＋	U	＋＋	＋＋
費用	－	－－		－	s
収穫率	s	＋＋	M	＋	s
合計	3-	4＋4－		6＋1-	3＋

家庭で気軽に親子と一緒に野菜を育てる目的として、庭での土栽培と比較すると、市民農園は場所の確保や、借りている農園まで行かないといけない、場所代など、負担がかかってしまうため（－）とした。

種、肥料、道具の調達などは、庭での土栽培と比較しても、自分で用意することに差がないため（S）とした。

また、収穫率などは自分の知識での栽培と同じとし（S）とした。

体験農園は、市民農園と同じく、場所の確保や、その場まで移動しなければいけないので、「庭での土栽培」より劣る。しかし、体験農園はプロの指導があるので、不明な点は随時教えてもらうことができるため知識が増えることで、収穫量が増える利点があるため、「庭での土栽培」より（＋）とした。

一般的な「プランター栽培」を、「庭での土栽培」と比較すると、自宅で育てられるため、移動、場所の確保が必要ないため、「S」とした。

作業負荷に関しては、庭での土栽培よりもプランターで育てるため、かなり小規模なため作業負荷は少なくなるため「＋」となる。

作業以外は、庭での栽培と比べ、育てる規模が小規模になるくらいで、ほとんどの場合同等となる。

「プランターキット栽培」と「庭での土栽培」を比較した場合、プランターで栽培するため、小スペースで栽培できるため、場所の確保は「S」となる。

また、プランターに土や肥料、苗があらかじめセットされた状態で宅配されるため、自分たちで用意する手間が省けるので、「＋」となる。

収穫率は、サポート付きなので随時問い合わせて確認できるため、庭での土栽培より、収穫率が高くなる可能性があるため「＋」となる。

以上、比較してみたところ、作業負荷や材料の調達に手間がかからないなどの利点から、「プランターキットサービス」を選択した。

3.5 事前アンケートの実施

3.5.1 調査目的

事前アンケート調査では、食育に対する意識や関心、食育に関する実践内容、「プランターキットサービス」に取り入れるサービスの必要性、野菜を育てるうえでの問題点などの調査を行った。

今回のアンケートは、東京都世田谷区内の小学校に通っている 1 年生の子供をもつ主婦 35 人に協力を得て、アンケート用紙を配布、回答を得た。

3.5.2 調査結果

事前アンケート調査結果(8.1 節)から、ユーザーが「プランターキットサービス」に求めている必要な機能や特徴を「ユーザーニーズ」と、「技術(サポート)上の実現性」の2軸でプロットした。(図 3-1)

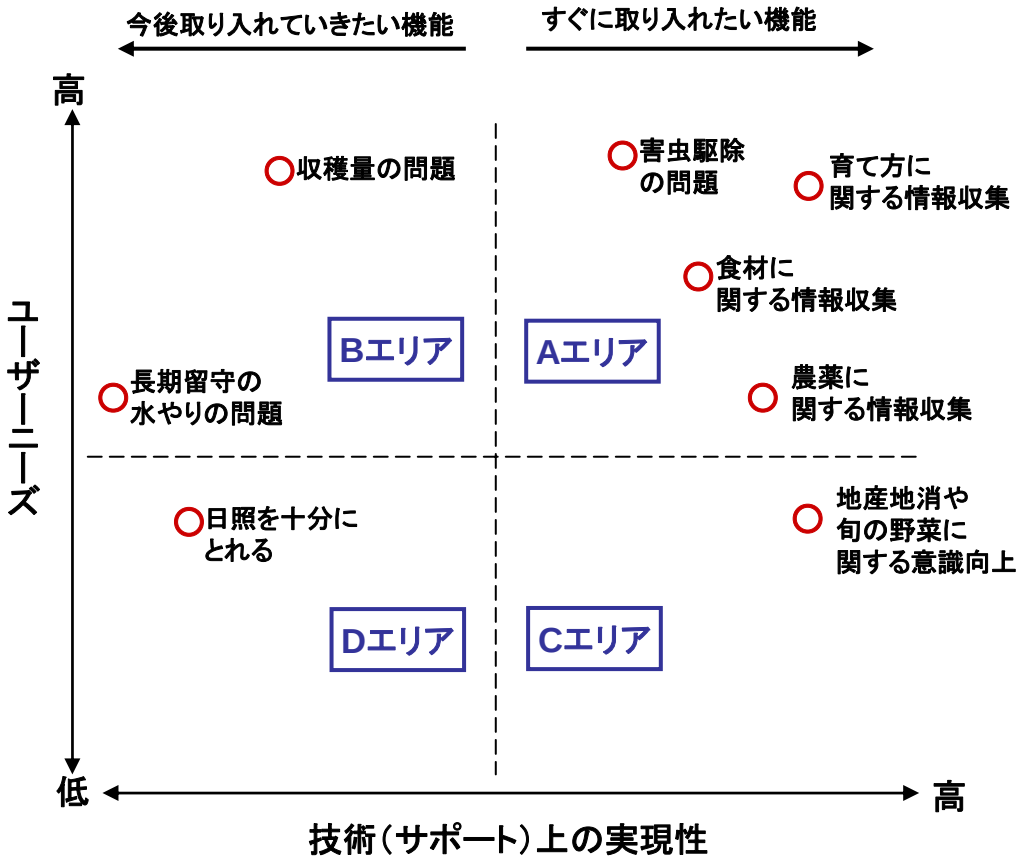


図 3-1 「プランターキットサービス」におけるユーザーニーズと実現性

Ａエリアは、「ユーザー価値、技術上の実現性の両方が高い要求項目」のものであり、必要な機能としてすぐに取り入れる機能としている。

Ｂエリアは、ユーザー価値は高いが、技術上の実現性は現段階では低い。問題を解決次第とりいれたい機能としている。

Ｃ エリアは、ユーザー価値は低いが、技術上の実現性は高く、また必要性もあると考えられ、取り入れていきたい機能としている。

Ｄ エリアは、ユーザーの価値も技術上の実現性も低く、他の技術を代わりに取り入れることで解決できる、もしくは、永久に無視しても影響がないと考えられる機能としている。

ＡエリアからＤエリアに区分して、本研究でのユーザーが「プランターキットサービス」に求めているサービス内容をまとめてみると、Ａ エリアにプロットされている野菜の育て方に関する情報、害虫駆除対策、農薬の使用方法などの知識を増やしたい要望があることがわかり、これらの内容に関してのサービスを重点的に取り入れることとした。

Ｂエリアにプロットされている、夏休みなどの長期留守の間の水やりに関しては、土栽培ではなく養液栽培などを利用した野菜の育て方も考えられるが、本研究では、プランターを利用した場合に焦点を絞っているため今後の検討課題とすることにした。

Ｃエリアにプロットされている、地産地消や、旬の野菜に対する意識向上に関しても、情報を自分で野菜を育てることで意識が向上できるような情報をサービス内容に盛り込ませていく必要があると考えた。

Ｄ エリアの日照条件は、野菜を育てるうえで重要な問題にもなるが、本研究では、今後日照条件に変わる提案を考えることとし、本研究ではサービス内容には入れないこととした。

事前アンケート調査結果の詳細は以下のとおりである。
質問数は全部で17問あり食育への関心や実践などの有無、食に関する意識、野菜作りをした経験の有無や野菜作りを始めたきっかけ、また本研究で提案するプランターキットに必要なサービスなどを調査した。

(1) 回答者の年齢は、30歳代が18人、40歳代が16人、無回答が1人である。
職業別では、「専業主婦」(29 人)で、「会社員」(4 人)、「高校教師」(1 人)、「大学院生」(1 人)であり、ほとんどが専業主婦である。

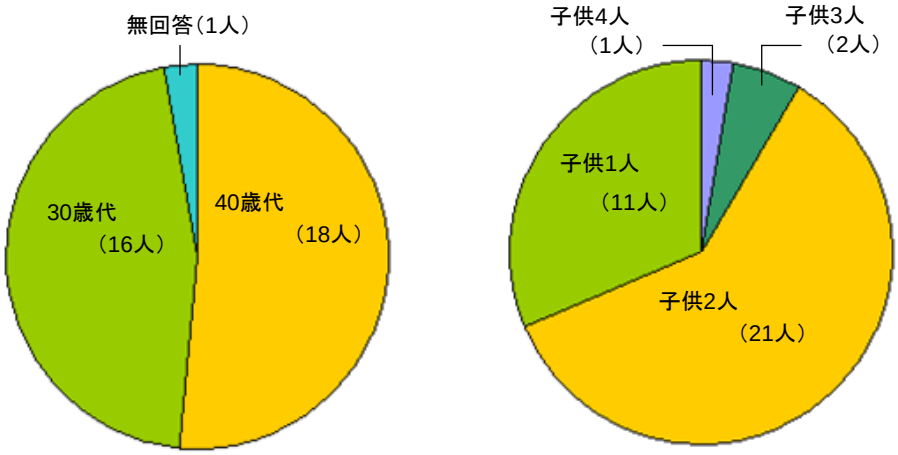
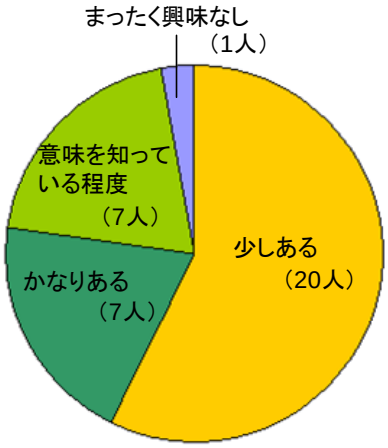


図 3-2 回答者の年代(左図)と、1家族あたりの子供の人数(右図)



(2) 1家族あたりの子供の人数は、「子供2人」(21人)が最も多く、続いて「子供 1 人」(11 人)、「子供 3 人」(2 人)、「子供4人」(1人)となっている。(図 3-2)
「食育に関心があるか」の問いに対しては、
「少しある」(20人)が最も多く、「かなりある」(7人)、「意味を知っている程度」(7 人)、「まったくない」(1人)となり、全体の 80%が食育に少しでも関心があることがわかる。(図 3-3)

図 3-3 食育への関心の度合い

(3) 「食育とは何か」(自由記述)という質問では、29 人からの回答を得た。

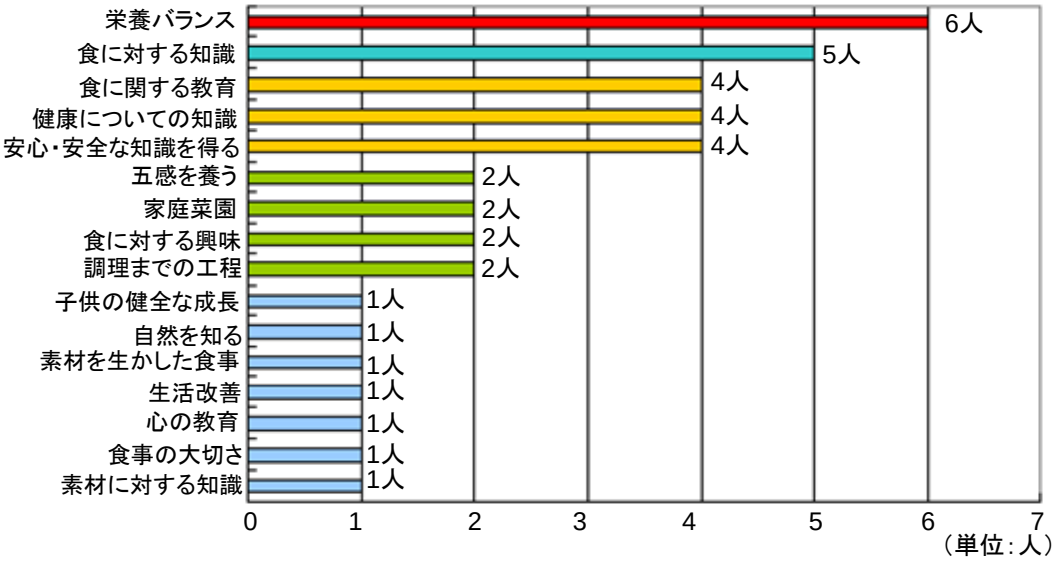


図 3-4 食育とは何か

回答の中で一番多かったのは、「栄養バランス」(6 人)で、ついで「食に対する知識」(5 人)、「食に関する教育」(4 人)、「健康についての知識」(4 人)、「安心・安全な知識を得る」(4 人)などの回答が得られた。続いて「五感を養う」(2 人)、「家庭菜園」(2 人)、「食に対する興味」(2 人)、「調理までの工程」(2 人)、少数意見としては、「子供の健全な成長」(1 人)、「自然を知る」(1 人)、「素材を生かした食事」(1 人)、「生活改善」(1 人)、「心の教育」(1 人)、「食事の大切さ」(1 人)、「素材に対する知識」(1 人)が挙げられた。(図 3-4)

(4) 「家庭で食育を実践しているはあるのか」の質問(自由記述)に関しては、29 名が、食育とは何かについて記載していたのにもかかわらず、実践している人は半数以下の 11 名から回答を得た。(図 3-5)

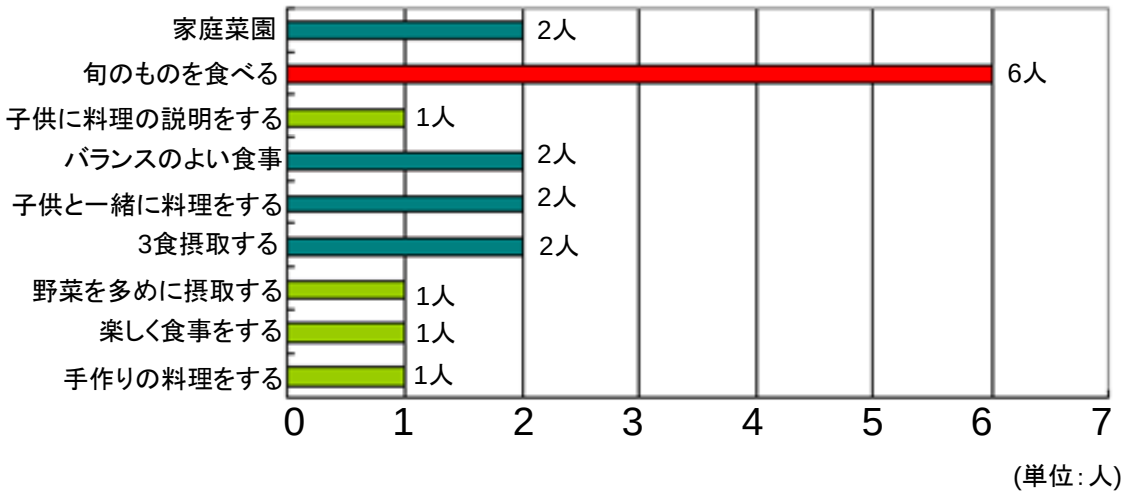


図 3-5 家庭で食育を実践していることはあるか

やはり、「旬のものを食べる」(6 人)と回答したが半数を占めたが、一方で、いつでも入手できるため実際の旬の時期がいつなのかわからないと 2 名が回答した。

ついで、「家庭菜園」(2 人)、「バランスのよい食事」(2 人)、「子供と一緒に料理をする」(2 人)、「3 食摂取する」(2 人)、少数意見としては「子供に料理の説明をする」(1 人)(1 人)、「野菜を多めに摂取する」(1 人)、「楽しく食事をする」(1 人)、「手作りの料理をする」(1 人)などと回答した。

(5) 「野菜作りの有無」に対しての回答は、「家庭菜園」(16人)、「体験農園・市民農園」(2 人)との回答が得られ、51%の人が野菜作りを経験している。(図 3-6)

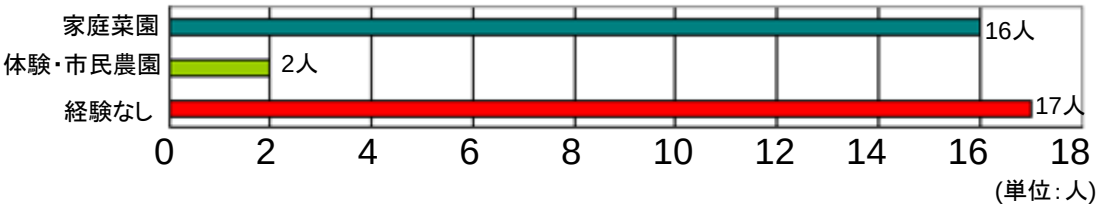


図 3-6 野菜作りの経験の有無

(6) 上記での、「野菜作りを経験した」と回答した人を対象とした「家庭菜園を始めたきっかけ」(自由記述)への回答は、祖父母の影響や、母親が育てていた、実家に畑が

あった、など「家族の影響」(6 人)がきっかけだった人が最も多かった。

また、「自分で食べるから」(2 人)、「安全・安心」(1 人)など、安全面を考慮した回答も得られた。「子供に体験させたい」(2 名)や、「楽しそう」(2 人)、「収穫を楽しみたい」(1 人)、「土いじりが好き」(1 人)、「家庭菜園が好き」(1 人)、「子供と楽しみたい」(1 人)、など興味や好奇心から、「野菜が高値」(1 人)と節約など様々な回答も得られた。(図 3-7)

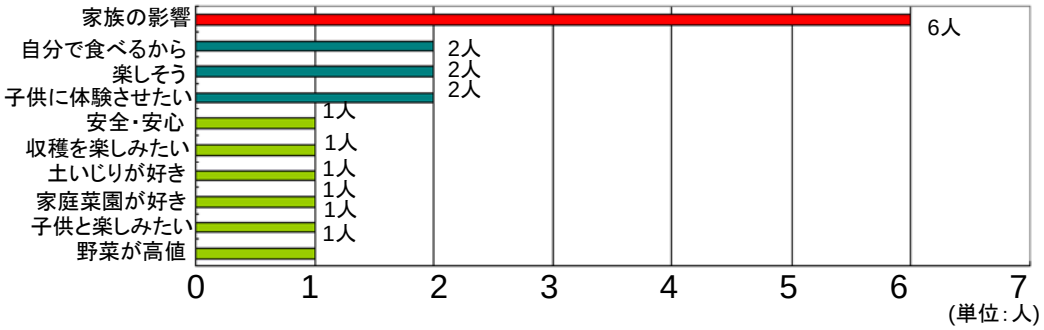


図 3-7 家庭菜園をはじめたきっかけ

(7) 実際に家庭菜園を始めて、「野菜を育てて不便だと感じたこと」への質問に関して、家庭菜園を経験した人からは、「スペースがない」(2 人)、「虫が苦手」(2 人)、「長期間の留守の間に水やりができず枯れる」(2 名)、「育て方がわからない」(2 人)、「苗が大きく成長せず収穫も少なめ」(1 人)、「沢山の種類ができない」(1 人)、「日当たりが悪く育たない」、「収穫後の処理」(1 人)の回答が得られた。また、体験農園を経験した人からは、「野菜の状態を見に行くのが面倒」(1 人)と回答が得られた。(図 3-8)

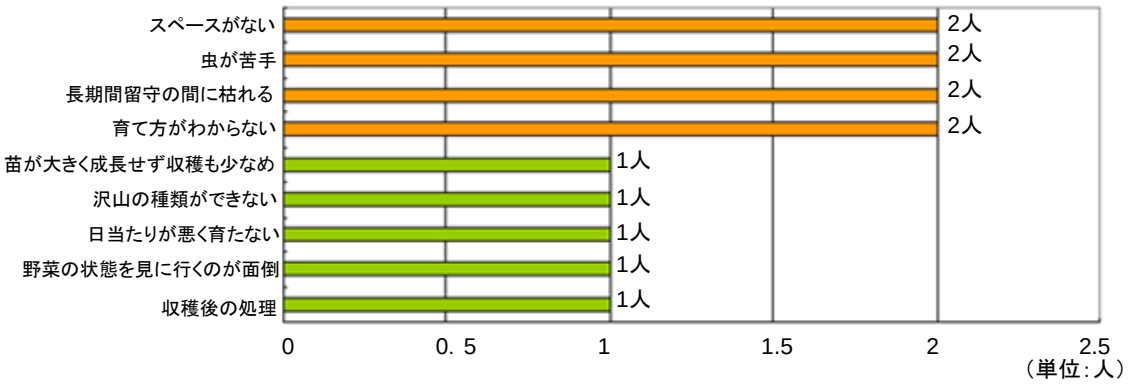
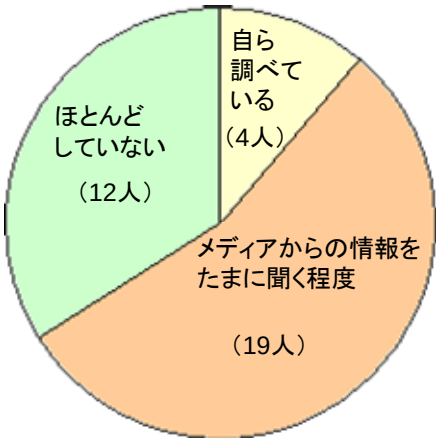


図 3-8 野菜を育てて不便と感じたこと

(8)　上記の、「家庭菜園を始めたきっかけ」の回答にもあった「自分で食べるから」、「安全・安心」など、「食品の安全に関する情報収集」は実際にどの程度関心があるのか質問した。



情報収集に関して「自ら調べている」(4 人)のうち 2 人が、「食育に大いに関心がある」と回答している。回答の約半数をしめた「メディアからの情報をたまに聞く程度」(19 人)は回答の約半数をしめ、食品の安全性に関しては、メディアにたよっていることがわかる。また、「情報収集はほとんどしていない」(12 人)との回答もあるが、「まったく気にしていない」と回答した人はいなかなった。(図 3-9)

図 3-9 食品の安全に関する情報収集】

(9)　「旬の野菜に対する意識」は、「たまに意識」(22 人)、「多いに意識」(12 人)、「まったくない」(1 人)と回答が得られた。(図 3-10)

(10)　「地産地消に対する意識」は、「たまに意識して購入している」(23 名)との回答が半数以上をしめている。ついで「大いに意識しているし購入している」(5 名)となっており、生産者の顔が見えるなどのトレーサビリティなどを意識して購入している人が多いと予想される。「意識はしても購入はしない」(4 名)、「まったく意識していない」(2 名)は、全体の 17%にとどまった(図 3-11)。

(11)　「旬の野菜を購入する理由」(自由記述)は、「美味しい」(12 人)、「栄養価が高い」(7 人)、「季節感が味わえる」(6 人)、「体によい」(3 人)、「子供に季節の物を教える」(3 人)など、旬の味覚や、健康面に関　する回答が多く得られた。

一方で、スーパーなどでは、旬に関わらずいつでも入手できるため、「本当の旬の時期がわからない」(2 人)という回答や、日本の四季の味を楽しむ「日本人だから」(1 人)、「価格が手ごろに」とは逆に、「高いから買わない」(1 人)という回答も得られた(図 3-12)。

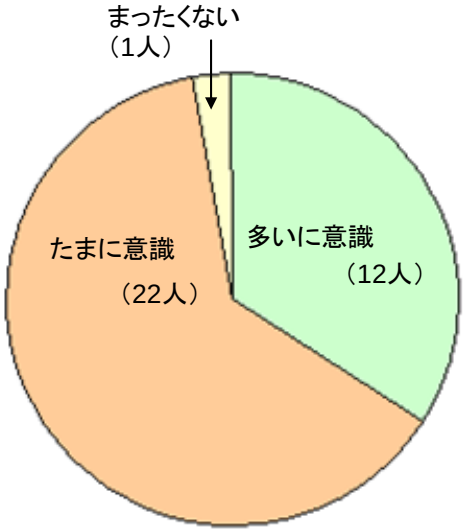


図 3-10 旬の野菜に対する意識

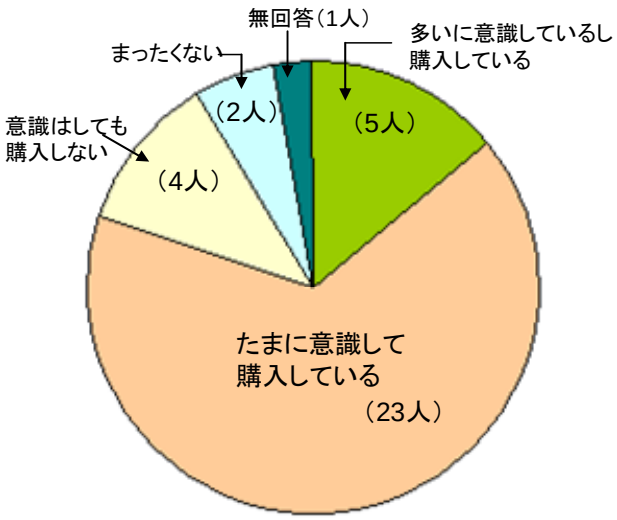


図 3-11 地産地消に対する意識】

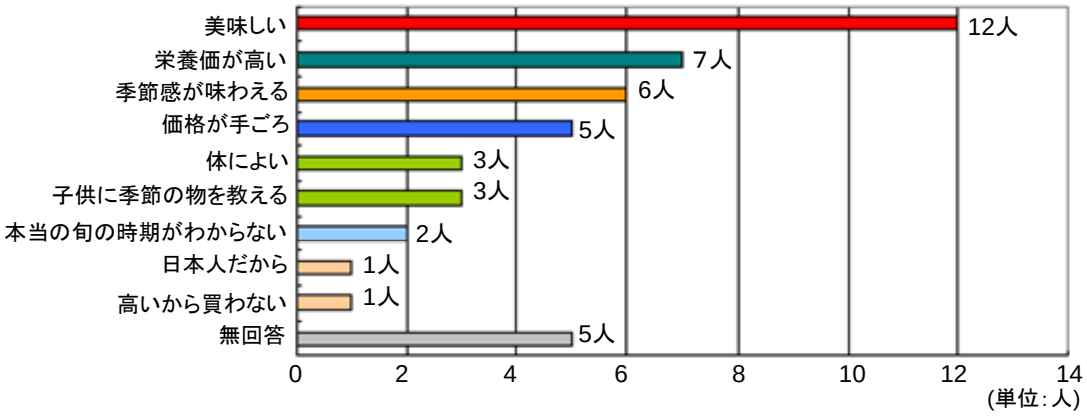


図 3-12 旬の野菜を購入する理由

(12) 本研究で「プランターキットサービス」を提案する際に、自分たちで野菜を育てると仮定したとき、野菜を育てていて困ったときや、相談したいことがでてきたときなどに対応できる「サポートの必要性」や、「農家（プロ）などに相談相手になってもらうための仲介の必要性」があるのかどうかを確認してみた。

「サポートの必要性」は、「たまに必要」（15 人）が「大いに必要」（10 人）を上回ったが、不安になったときに教えてくれる人がいることで不安が解消されると考えられる（図

3-13)。

同様に、「農家(プロ)などに相談相手になってもらうための仲介の必要性」に関しても、「たまに必要」(14 人)、「多いに必要」(6 人)となっており、約 6 割の人が必要性を感じていることがわかった(図 3-14)。

「サポートの必要性」は、「特に必要ではない」(7 人)、「まったく必要ではない」(1 人)、「仲介の必要性」は、「特に必要ではない」(12 人)、「まったく必要ではない」(3 人)と回答した人は、十分な知識がある、自力で調査できる、家庭菜園にまったく興味がないという理由である。

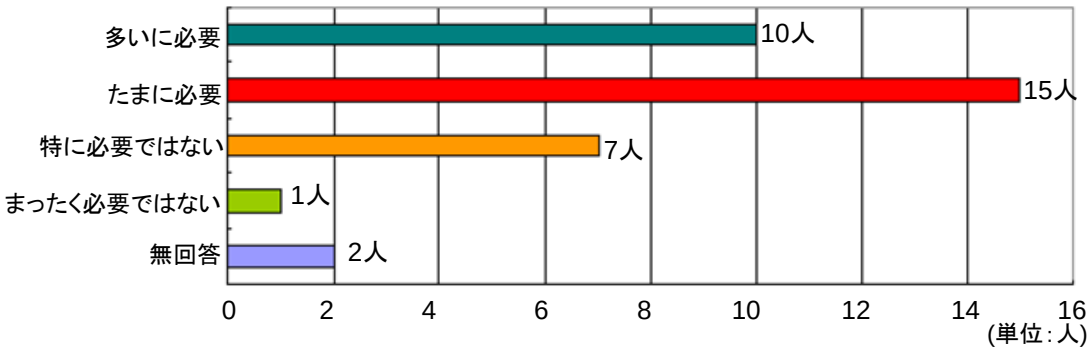


図 3-13 サポートの必要性

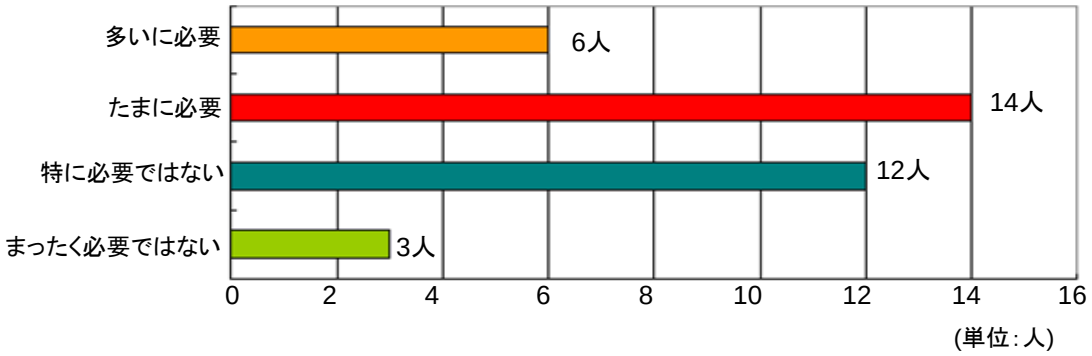


図 3-14 農家(プロ)などに相談相手になってもらうための仲介の必要性

(13) プランターに土、苗、育てたい野菜がセットされた状態で、玄関まで宅配、育てている過程で不明点が発生したときに気軽に聞けるサポートサービス、収穫終了時に

は引き取るサービス「プランターキットサービスをやってみたいか」の問いに対し、「ぜひやってみたい」(10 人)、「たまにやってみたい」(12 人)と約 6 割が経験したいと回答している。一方で「特にやりたいと思わない」(12 人)、「まったくやりたくない」(1 人)という結果になった(図 3-15)。

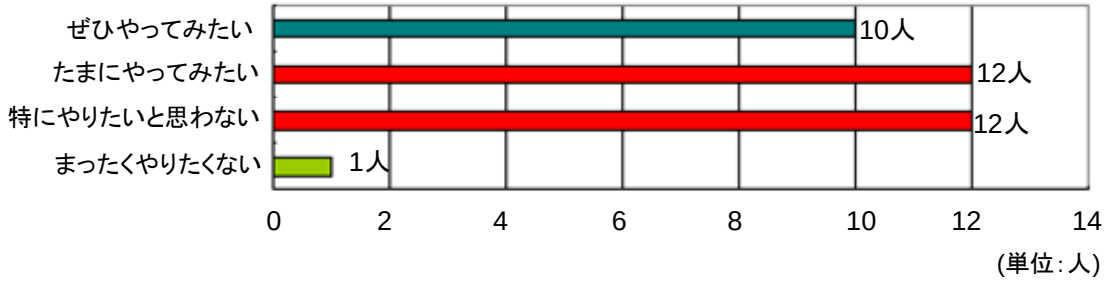


図 3-15 プランターキットサービスをやってみたいか

(14) 本研究はサービスシステムの提案であり、価格は直接関係ないが、このサービスにはどのくらいの価値があるのか目安をつけるために、想像で価格をつけてもらったところ、16 名から回答を得た。

1000 円(7 人)が一番多く、次に 3000 円(5 人)、1500 円(2 人)、500 円(1 人)となった(図 3-16)。

理由は、家計に無理のない程度、あまり高いと野菜を買ったほうが安い、手頃な価格であれば興味が出たらすぐに取りかかれるなど、手軽に取り組める価格基準となった。

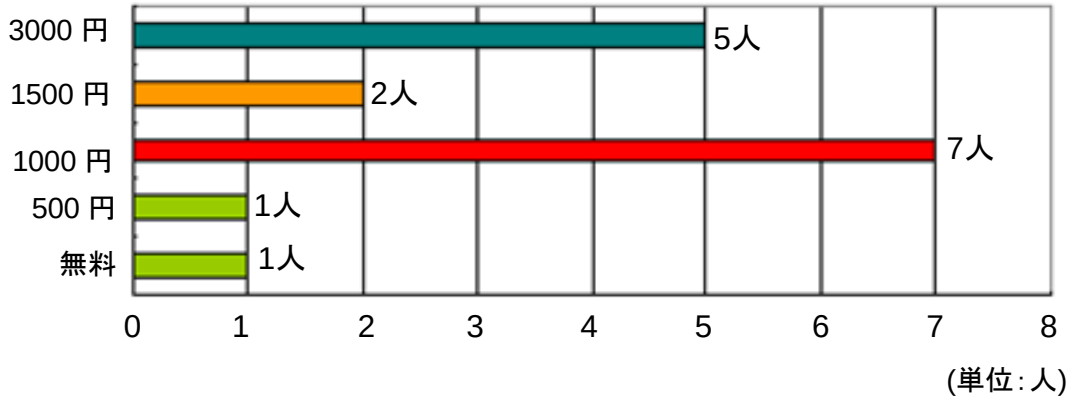


図 3-16 プランターキットサービスの価格価値

以上のアンケート調査結果から、「食育に関心がある」、「意味は知っている」ものの、なかなか実践に踏み出せないことがわかった。

「家族の健康を守る」、「子供の栄養バランス」を考えるなど日々の食事を大事にしたいことも得られた回答からわかるが、食品の安全性などに対する情報収集に関しては、「メディアからの情報をたまに聞く程度」が約半数を占めており、農薬などの扱い方なども含めた安心・安全な食生活の知識を実践の中で得ることも重要であることがわかった。

またサービスを設計するときに必要な要素の1つである、家庭菜園で不便を感じたことについても、「スペースの問題」や、「虫が苦手」、「育て方がわからない」など様々な問題があり、育てているときのサポート体制についても、約 7 割が必要性を感じていることから、サポートの充実が重要な要素となる。

事前アンケートの結果を踏まえ、ターゲットユーザーを、食育に関心が少しあり知識を増やしたいが、何をしたらよいかわからずにいる人に焦点をあてることで、少しでも興味や関心をもつ、またはきっかけ作りになるシステムを構築したいと考える。

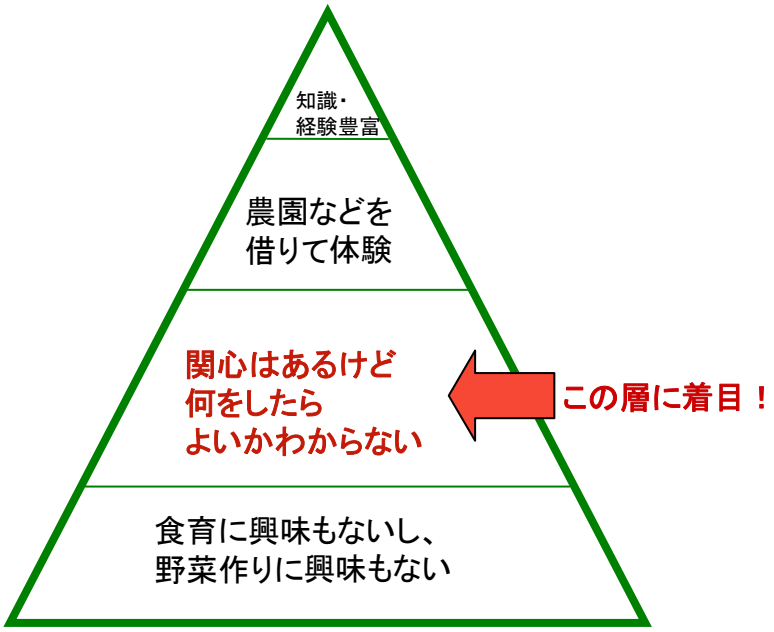


図 3-17　食育関心レベルによる階層構造

また、本研究における「食育の定義」である、「家庭内での食育とは、食材（野菜）を自ら育てることで、安心・安全な食生活の知識を獲得することである」に基づき、野菜を育てることで、「家庭における望ましい食習慣や知識獲得のための実践」ができると考える。

事前アンケートで、「プランターキットサービスをやってみたい」と約６割以上が回答したので、次章で「プランターキットサービス」を実施するためのペルソナ・シナリオを作成し、モニターを選定した。

なお、本研究では、食育サービスシステムの提案であり、ビジネスとしてではないため、金銭計算はしないこととする。

3.6 ペルソナ/シナリオの作成

3.5 章の事前アンケートを基に、代表的なペルソナを 1 名作成した。

ユーザー基本情報	名前	木村　朝子	年齢、性別	38才	
	職業	専業主婦 （子供ができるまでは会社員）	趣味	料理、テニス	
	結婚歴	10年	野菜などを育てた経験	無	
	居住地	東京都渋谷区のマンション（日照条件はよい）			
	家族構成	夫（大手企業）、子供（長女7才、長男4才）の4人暮らし			
	育ててみたい野菜・果物	ビジュアル的に可愛い果物（イチゴ、ブルーベリー、） 野菜：ブロッコリー、ミニトマト、枝豆、ハーブ系、かぼちゃ			
	食育への関心	食育という言葉は聞いたことがあるが、実際に何をしたらよいのかわからない。			
ユーザー特徴		子供ができるまでは、週2回くらいの割合で外食、会社の帰りにデパ地下で調達していることが多かった。子供が生まれてからは、健康のため、なるべく有機野菜を買うようになり自分で料理を作るようになった。週1回、無農薬の「大地宅配」または、「生協」から野菜を取り寄せている。 長女は小学校1年生だが、まだ長男は幼稚園のため自由な時間はそんなに増えず、自分の趣味にあてる時間も少ない。ママ友とは仲がよくお互いの家でよく話しをしたりする。家庭菜園は、興味があるが、余計な手間はかけたくないし、移動したくないので、**身近な場所**で気軽に育てたい。			
日々の生活の中での意識		子供中心の生活になっているので、食事も食べることに興味をもってくれるように**可愛い野菜や好きな野菜**を添えるようにしている。 子供に手がかかるので、**余計な手間は増やしたくない**が、**インテリア**とか、子供が興味をもってくれることはなるべく取り入れたいと思っている。			
野菜を育てることに関して		楽しそうには思うが、育てたことがないので、簡単といわれても、うまく**育つかが不安**。 野菜を育てるための本を買ってまで読まないと思う。困ったときに、**誰か教えてくれる人がいればよい**。 日照条件と野菜がマッチしているかどうか、わからない。			

図 3-18 プランターキットサービスのペルソナ

ペルソナの「利用シーン」を想定し、シナリオを描いた。

「ペルソナ名は、木村朝子さん、年齢は 38 歳。

東京都渋谷区内のマンションに住んでいる、小学校 1 年生の長女と幼稚園に通っている 4 歳の長男の 2 児の母親である。夫は大手企業に勤めている 4 人暮らしである。

子供が生まれるまでは企業で働いていたが、子供が生まれてからは専業主婦をしている。趣味は、料理やテニスであるが、育児が多忙なため趣味に費やす時間はほとんどないのが現状である。

毎日の食材は、子供の幼稚園で知り合った母親同士の友達と情報交換しながら無農薬野菜や、有機野菜などを扱っている宅配で取り寄せている。

子供の食事は、見た目も可愛く食べやすいような味付けや、好きな野菜を添えるよう

に気を遣っている。

このごろ、テレビなどで、食育という言葉を耳にする。意味はなんとなくわかるが何をしたらよいのかわからない。また家庭菜園などもテレビで見て、野菜を育てることは楽しそうに思い、1 度やってみてもよいとは思うが、都心のマンションに住んでいるし、今まで育てた経験もないのでなかなか、きっかけがつかめないでいる。

子供が小さいので、わざわざ体験農園や市民農園といった畑を借りてまで野菜を育てることはしたくないし、ベランダ菜園をしても準備などの余計な手間は増やしたくない。虫がいるのも抵抗を感じる。

また、わからないことがあっても、本やネットで調べることまではしないと感じている。教えてくれる人や、情報交換ができればやってもよいかなと思ってはいる。」

上記のナリオに対してペルソナが、「プランターキットサービス」を使用したと想定して解決シナリオを描く。

「木村朝子さんはそこで、自分もやってみたいとおもったので、手始めに「プランターキットサービス」を使用することにした。あらかじめ子供と一緒に育てたい苗がプランターに土と、肥料がセットされてきた状態で自宅まで運ばれてきた。

毎日水やりなどをして、虫などが発生し困ったらサポートに電話をして直接話しをして適切な農薬をまくことにした。最初は農薬をまくことに抵抗を感じたが、正しい使用方法を聞いたため安心して使用することができた。

子供と一緒に収穫した後、自分達で育てた野菜を食べることができて満足した。」

ペルソナ【木村朝子さん】の利用シーンを想定し、問題解決のために必要な要素を取り入れた仕様を設定し、「プランターキットサービス」の試行を作成した。

3.7 プランターキットサービスの試行

プランター自体は世の中に沢山あるが、プランターを使用して、食育向上につながるようにサービス・サポートが盛り込まれているプランターシステムはまだない。

そこで、食育普及の向上を目的とした「食育普及サービス」を、3.5 節で行った事前アンケートを基に作成した「プランターキットサービスの試行」を作成することとした。

作成した「プランターキットサービス」を使用したモニター調査を実施することで、「プランターキットサービス」がもつコンセプトと、ユーザーの要求が食い違っていないか、ユーザーの要求を満たしているかなど、様々な問題点を発見できる。

また、サービスプロトタイプを作成する利点は、初期の段階でユーザーに評価をしてもらうため、ペルソナが満足できる仕様になっているか、開発工程の早い段階で確認することができるためである。

次に、ザックマンのフレームワークを使用して、運営組織（運営会社）、造園会社、家庭をステークホルダーとし、その関係性と役割を明確にした。

表 3-3 プランターキットサービスの役割

	WHAT データ	HOW 機能	WHERE 位置関係 ネットワーク	WHO 人材	WHEN 期日	WHY 動機
内閣府	意識調査などのデータ管理	食育推進基本計画作成	国 地方公共団体 教育関係者	省庁関係者 地方自治体	5年 （食育推進基本計画）	食育推進のための目標と戦略
運営組織 （NPO.企業）	プランターサービスの普及	宣伝活動 運営資金の調達 補助金の準備 輸送システム設計	苗屋さんとの交渉 農業従事者との交流 ボランティア組織 家庭との交渉	運営会社 （食品会社） （苗会社）	ー	プランターキットサービスの設計・運営 食育推進の向上 地産地消の推進
造園会社 （苗、プランター、土）	プランターキットのセット	プランターを育てている家庭のサポート	運営会社との交流	地域の種屋、苗屋、造園屋	ー	プランターと知識の提供
家庭	食に関する知識習得 健全な食生活の知識習得	野菜を作る生産過程を知る	家族、近隣、農業従事者とのコミュニケーション	家族	ー	望ましい食習慣や知識習得のための実践

運営組織（NPO・会社）は、食育普及のための「プランターキットサービス」を設計・運営する組織である。

- 食育推進の向上、地産地消の推進を目的とした、「プランターキットサービス」を設計・運営する。
- 「プランターキットサービス」の宣伝活動などを行う。

- 「プランターキットサービス」に参加可能な造園会社（苗屋、種屋）などと交渉を行う。
- 参加する家庭との交渉を行う
- 造園会社と家庭との間で問題が起きていないかなどの確認
- 国からの補助金などの交渉を内閣府と行う

造園会社（苗、プランター、土）は、プランターのセットや、知識の提供を目的とする。

- 運営会社との交流
- 育てたい野菜の苗や種を、土、苗、肥料、必要に応じて支柱をプランターにセットし、自宅まで宅配し、収穫後はプランターを引き取る。
- 使用すると思われる肥料もあらかじめセットし、いつ頃肥料を蒔いてもらうか説明を記載する。
- 育てている間の疑問やサポートなど、野菜を育てる上での知識を提供する。

家庭内では、プランターを使用して野菜を自ら育てることにより安心・安全な食生活の知識獲得をすることを目的とする。

- 運ばれてきたプランターに親子で水やりや、必要に応じて肥料を蒔く作業をする。
- わからなくなったら、運営会社や造園会社、農業従事者に質問し解決する。
- 子供と一緒に育てた野菜を収穫し食べ、楽しむ。
- 収穫し終わったプランターは引き取りくるので、もう一度プランター栽培をしたいときは、再度セットされたプランターを運んでもらう。

「プランターキットサービス」のシステム設計イメージは以下の通りである。

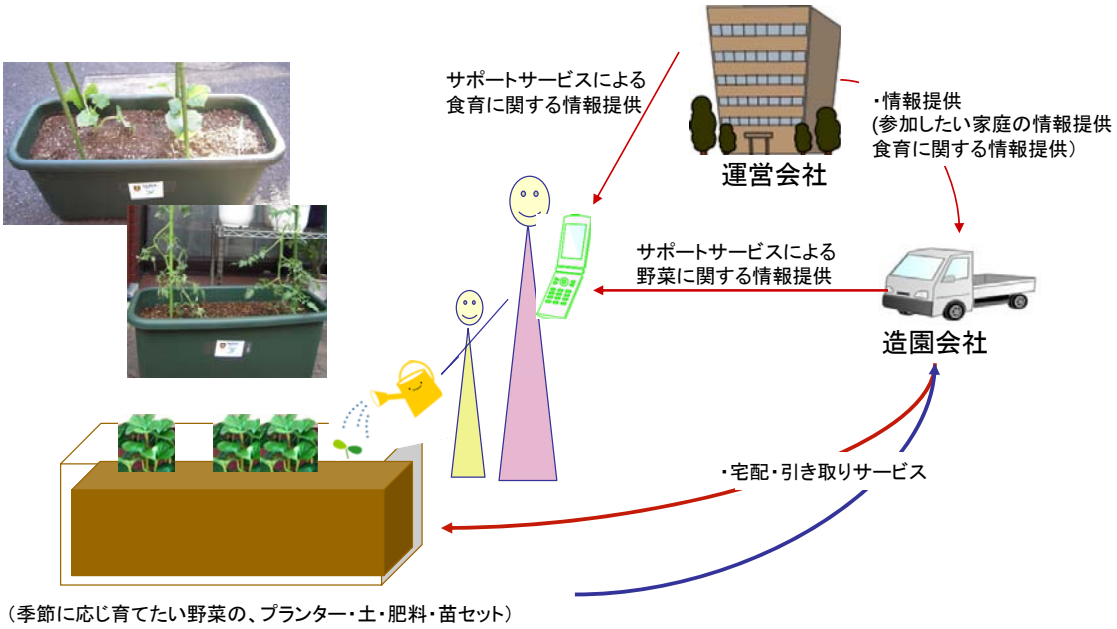


図 3-19 プランターキットサービスのイメージ図

次章で、「プランターキットサービス」のモニター調査・検証するため、内閣府の食育推進担当に「プランターキットサービス」の妥当性について確認したところ、食育基本法第 6 条「食に関する体験活動と食育推進活動の実践」に非常に合致したサービス運営であるとの見解を得られた。

また、運営方法の内容も、専門家に相談することができることは知識を増やせる大事なプロセスであり、収穫後のプランターの引き取りをすることで再利用でき、エコ活動につながると示唆した。

3.8 モニター調査

3.8.1 モニター調査の運営実施方法

「プランターキットサービス」の運営方法であるが、「プランターキットサービス」の試行であるため運営会社は実在しないため、プランターの宅配や引き取りは筆者が代行した。

プランターキットのセットや、サポートに関しては、東京都調布市の造園会社と同市内にある園芸店に以下の作業協力を依頼した。

- 使用するプランター、有機土の選定
- 有機肥料、農薬などの選定
- プランターを選定し、ユーザーが育てたい苗をセットする作業
- モニターから出た質問に関しての回答

プランターキットの仕様書は以下の通りになる。

- プランター(「ファームプランター　深型 700」 サイズ:横 70cm×高さ 30cm×奥行き 30cm、容量 36L、アップルウェアー株式会社)
- 有機培養土 30L （野菜専用培養土「野菜豊作」、株式会社プロトリーフ）
- 有機肥料 （「家庭菜園のたい肥」、株式会社プロトリーフ）
- 追肥用有機肥料 （「家庭菜園のたい肥」、株式会社プロトリーフ）
- 支柱が必要な苗(胡瓜、ナス、ミニトマト)には支柱をセットする

状況によって、上記以外に必要になった材料は適宜配布することにした。

上記の仕様に決定した根拠について述べる。

今回使用したプランター、土、肥料などについては造園会社の方の指導の元、上記の仕様でモニター調査をすることとした。

特に、プランターの大きさについては、ペルソナ【木村朝子さん】は、インテリアになるようなプランターを希望していたので、小さめのプランターを検討したが、専門家と相談した結果、野菜を育てるのには、十分な土とある程度の深さが必要になるとのことか

ら、モニター調査では、大きめのプランターを使用することとし、1つのプランターに2つ苗をセット（必要に応じて支柱をセット）することになった。

有機培養土についても、質のよい土と有機肥料がまざりあっているものを選択した。

モニター調査の実施要項は次の通りである。

モニター調査実施期間

・ 2010 年 5 月中旬から収穫終了まで
（実際は 10 月第 1 週目でプランター引き取り終了）

モニター調査参加者（以下モニター）に対する調査期間の依頼事項

・ モニター参加者には、あらかじめ簡単なアンケート調査を行うとともに、どのような野菜を育てたいか希望も調査する。（ただし、モニター調査であるため、旬の野菜や一定期間で収穫が終了する野菜に限定した）
・ 食育推進の一貫としての調査と伝えてあるため、筆者が配布したプランターセットで野菜を親子で水やりをしながら一定期間育ててもらう。
・ 育てている期間のトラブルやサポートに関しては、筆者に連絡をもらい、造園会社や園芸会社に回答を得てから依頼元に回答する。
・ コミュニケーションの効率化を図るため、なるべくプランターキットに参加している方々と育てている野菜についての意見交換を行う。
・ 不明な点が出た際は、運営管理を行っている筆者にメール又は電話で連絡。
・ できれば育てている過程の写真撮影の協力。
・ 収穫後（プランター引き取り後）アンケートの実施協力。

3.8.2 モニターの選定

「プランターキットサービス」の実験をするにあたり、モニターの選定を行った。

モニター選定は、3.5 章のペルソナ/シナリオで作成した、食育には関心があるが何をしたらわからずにいる、ペルソナに最も近い東京都世田谷区内に住む 8 人（A～H）と、食育には多少関心があり、家庭菜園も全員経験者である横浜市内に住む 5 人（I～M）にお願いし、結果にどのような差異が生じるかを比較検討した。

世田谷区、横浜市のモニターは、それぞれの地区で、子供達が同じ幼稚園に通っている母親同士の知り合いであり、情報交換が可能な環境となっている。

Ａさんから Ｈさんまでのプロフィールを記載した。プロフィールは、モニター調査実行前に行ったアンケートを基に作成したものである。

記載内容は以下の通りである。

- 家族構成
- 住居環境
- 食育への関心
- 家庭菜園の経験の有無
- 家庭菜園の印象について（家庭菜園の経験の有無は問わない）
- 育ててみたい野菜
- モニター調査時に育てた野菜

ペルソナに最も近いモニター【A～H】

【Aさん】

夫婦と子供 2 人（長男 6 歳、次男 2 歳）の 4 人家族で、世田谷区内のルーフバルコニー付きマンションに住んでいる。

食育への関心は、少しある。

プランター栽培を 2 ヶ月経験した。長期で旅行に行ったとき、水やりができず枯れてしまったり、虫がついたり病気になったときに不便を感じた。

育ててみたい野菜は、簡単に育てられる野菜（胡瓜、枝豆、ナス）である。

調査では胡瓜を育てた。

【Bさん】

夫婦、子供 2 人（5 歳、2 歳）の 4 人家族で、世田谷区内のベランダには 3 個プランターを置けるベランダ付きマンションに住んでいる。

食育への関心は少しある。

野菜作りの経験はない。準備や育てている過程で必要な支柱、ネット設置、虫がついたときの対応、収穫後の土の処理など色々大変な印象がある。

育ててみたい野菜は、簡単に育てられる野菜（胡瓜、枝豆、ピーマン）で、子供があまり好きではない野菜を育てることで食べられるようにしたい。

調査では、胡瓜を育てた。

【Cさん】

夫婦、子供 4 歳の 3 人家族で、世田谷区内のマンションに住んでいる。

食育への関心は意味を知っている程度である。

プランター栽培を経験したが、うまく育たなかった。害虫駆除が大変な印象がある。

育ててみたい野菜は、見た目が可愛い野菜、立地条件にあわせた野菜、簡単に育てられる野菜（胡瓜、オクラ、レタス）である。

調査では、胡瓜を育てた。

【Dさん】

夫婦、子供（長男 9 歳、長女 5 歳）の 4 人家族で、世田谷区内のマンションに住んでいる。

食育への関心は意味を知っている程度である。

野菜作りの経験はない。害虫駆除や、病気の手当が大変な印象がある。

育ててみたい野菜は、子供の好きな野菜や簡単な野菜（胡瓜、枝豆、ミニトマト）である。

調査では、胡瓜を育てた。

【Eさん】

夫婦、子供（3 歳）の 3 人家族で、世田谷区内のマンションに住んでいる。

食育への関心は、少しある。

野菜作りの経験はない。

育ててみたい野菜は、簡単に育てられる野菜（トマト、胡瓜、ナス）である。

調査では、ミニトマトを育てた。

【Fさん】

夫婦、子供（長男 10 歳、長女 5 歳）の 4 人家族で、世田谷区内のプランターが 1 個置けるマンションに住んでいる。

食育への関心は、少しある。

家から 15 分離れた市民農園で 1 年ほど野菜作りを経験した。長男が 2 歳の頃で手がかかる時期だったため、なかなか時間がとれず 2 年契約していたが途中で断念した。

害虫駆除や、旅行など長期留守にしたときの水やりなどが気になる。

簡単に育てられる野菜（枝豆、ねぎ、しょうが）や、大葉など庭先にちょっとあると便利な野菜や、生で食べられる野菜などである。

調査では、枝豆を育てた。

【Gさん】

夫婦、子供（長男 4 歳）の 3 人家族で、世田谷区内の戸建てに住んでいる。

食育への関心は、少しある。

プランター栽培を 2 ヶ月経験した。虫が付きにくいと聞いてバジルを育てたが、虫がついた。

また洗濯物にもつきそうだったので、育てるのをやめた。

とにかく虫が嫌いだし、農薬も使用したくない。その矛盾を抱えている人は多いのではないかと思っている。

育てたい野菜は、可愛い野菜（ルッコラ、ベビーリーフ、アスパラガス）である。

調査では、胡瓜を育てた。

【Hさん】

夫婦、子供（長男 7 歳、次男 4 歳）の 4 人家族で、世田谷区内の戸建てに住んでいる。

食育への関心は、少しある。

プランター栽培を 1 年間経験したが、枝豆を育てたが、虫がついて枯れてしまった。

トラブルが起きても相談する場所がない。またプランターや土が重い。

育てたい野菜は、子供の好きな野菜や簡単に育てられる野菜（トマト、小ねぎ、胡瓜）である。

調査では、ナスを育てた。

家庭菜園の経験者【I～M】

【Iさん】

夫婦、子供（長男 7 歳、長女 5 歳）の 4 人家族で、横浜市内のマンションに住んでいる。

食育への関心は、少しある。

家から車で 20 分離れた体験農園で 1 年ほど野菜作りを経験した。車で水やりに行くのが面倒、収穫のタイミングを逃してしまっていた。

水やりや手入れが面倒な印象がある。

育てたい野菜は、子供の好きな野菜や簡単に育てられる野菜（ナス、胡瓜、ミニトマト）である。

調査では、ナスを育てた。

【Jさん】

夫婦、子供 2 人の 4 人家族で、横浜市内の戸建てに住んでいる。

食育への関心は、少しある。

家から車で 5 分離れた体験農園で 2 年ほど野菜作りを経験している。

害虫駆除に手がかかるという印象がある。

育てたい野菜は、可愛い野菜や簡単に育てられる野菜（レタス、ねぎ、イチゴ）である。

調査では、胡瓜を育てた。

【K さん】
夫婦、子供（4 歳、1 歳 5 ヶ月）の 4 人家族で、横浜市内の戸建てに住んでいる。
食育への関心は、かなりある。
家庭菜園や、家から徒歩 10 分離れた幼稚園の畑で 1 年ほど野菜を育てた。幼稚園まで少し距離があり、子供がいるので毎日畑の世話ができない。害虫駆除や、野菜に適した土作り、土を買うこと、草むしり、水やりに手間がかかる印象がある。
育ててみたい野菜は、可愛い野菜や、子供の好きな野菜、インテリアになりそうな野菜（ミニトマト、ブロッコリー、オクラ）である。
調査では、ミニトマトを育てた。

【L さん】
　夫婦、子供（7 歳、4 歳、2 歳、0 歳）の 6 人家族で、横浜市内のマンションに住んでいる。
食育への関心は、かなりある。
車で 10 分離れた体験農園で 4 年ほど野菜を育てている。食べ頃になってから収穫をするときに、畑までの距離が不便に感じた。
害虫駆除や、雑草抜きに手間がかかる印象がある。
育ててみたい野菜は、簡単に育てられる野菜（大葉、レタス、オクラ）である。
実験では、オクラを育てた

【M さん】
　夫婦、子供（4 歳、2 歳）の 4 人家族で、横浜市内の戸建てに住んでいる。
食育への関心は、かなりある。
2 年ほど家庭菜園をしている。良い土の作り方がわからず、そのせいか実の生育がよくない。害虫駆除に手間がかかる印象がある。
育ててみたい野菜は、子供の好きな野菜、簡単に育てられる野菜（胡瓜、ナス、トマト）である。
実験では、ナスを育てた。

3.8.3 モニター調査中の様子

モニター参加者が、子供達が水やりをしている様子を撮影したものである。(図 3-20、図 3-21)

野菜が枯れないように、親子で水やりをしながら、野菜が成長する様子を楽しんでいた。また、野菜の成長を楽しんでいる子供をみて、「植物に対する気持ちがわいてきた」と、同時に子供もまた成長している姿も垣間見ている。

図 3-20　胡瓜(左)、ミニトマト(中央)、胡瓜(右)に水やりをしている様子

図 3-21　胡瓜(左)、ナス(中央)、胡瓜(右)に水やりをしている様子

上記同様、モニター参加者が収穫時の模様を撮影したものである。

図 3-22 胡瓜の収穫の様子

図 3-23　枝豆(左)、ナス(右)を収穫している様子

上記の写真はモニター参加者から送られてきた一部である。モニター参加者からは、子供と一緒に野菜を育てたことで勉強になった、収穫の時は野菜の成長を実感した、間近に野菜の成長を見ることで新鮮だったなど、野菜の生命成長に喜びを感じたコメントが寄せられた。また、胡瓜(図 3-22)は、「採れたての野菜をそのまま冷やして食した」など、自分たちで育てた野菜だからこそ味わって食すなど、野菜に対する意識だけでなく、野菜本来の味覚を知る機会になったことなどもコメントから得ることができた。

3.8.4 モニター調査中の問題点

モニター調査期間中にあたる 2010 年は、全国的に異常気象となり、東京では 7 月、8 月と平均気温が 30 度を超す猛暑となった。気温の影響により野菜栽培も思うように育たなく、モニター参加者にとっても非常に困難に感じたと言える調査となった。

気温の影響だけでなく、野菜を育てていく中での質問や問題など、電話又はメールで寄せられた主な内容と解決策を以下で述べる。

解決方法に関しては、その都度造園会社や園芸店に回答を得たうえで、モニターに回答した。

Q1：追肥したあと、虫（コバエ）が発生してしまったので対象方法を教えてほしい。

A1：有機肥料を使用しているため集まりやすい状況になる。

有機肥料をかためて蒔いてしまった場合は、スコップなどで肥料を広げてみる。

虫が発生し続けている場合は、農薬を使用するか、米酢を 10 倍に希釈したものを散布してみる。

結果：米酢でもコバイが減らなかったモニターは、効能は 2 週間で消えるため収穫時期に入らなければ安全とのことで、モスピラン（粉末殺虫剤）を使用した。

Q2：うどんこ病になっている可能性があるので、対処方法を知りたい

A2：葉っぱをふく、又はうどんこ病専用（カリグリーン）などの殺菌剤を散布する。

Q3:土にカビが発生してしまった

A3:水をやりすぎている可能性がある。

追肥すると、有機土や有機肥料を使用しているため、虫やカビが発生しやすくなる。そのままにしておいても問題はないがあまりにも多いようだったら取り除いてもよいが、取り除き過ぎると、追肥の効能が減ってしまうこともある。

Q4：苗に元気がない、実が大きくならずにそのまま枯れてしまう
A4：水をあげすぎている可能性があるので、土の表面が乾いてから水やりする。プランターが置いてある場所がベランダの壁に近いため風のふきだまりになり、温風がたまってしまっている可能性がある。壁から 30cmくらい離してみる。

Q5：収穫のタイミングを知りたい
A5：オクラの場合は、7～8cm くらいが適当。あまり大きくなると硬くなってしまう。適度な長さになったらその日のうちに収穫する。他の野菜については、ある程度の大きさになったら、収穫する。せっかく自分で育てているので、自分で判断して食べてみるのも経験なのではとの回答もあった。

Q6:胡瓜が曲がってしまう（図 3-24）
A6：本来は光に向かって育つため、曲がって育ってしまう。極端に曲がってしまった場合は、水分や肥料が不足していると考えられる。

Q7:ミニトマトの皮が硬い
A7:トマトには皮の表面に毛細があって、そこから水分を取り入れているので、多少表面は硬くなってしまうこともある。

Q8：支柱より高く苗が伸びてしまった
A8:最初の設定で、ある程度の高さまで伸びたら、横に伸びるようにセットしたが、上の方にいってしまった茎があっても気にしないでそのまま育ててもらうことにした。

特に虫やカビの問題に関しては、モニター参加者からは、有機肥料を使用することも大事だが、適切な農薬の使用方法があれば、農薬を使用して害虫駆除をしたいとの意見が多かった。

図 3-24　土にカビが発生した状態（左）、曲がって成長した胡瓜（右）

造園会社や園芸店、そのほか農家の方からは、野菜を育てるうえで以下のコメントが寄せられた。

- 気候や育てる環境によって野菜の育ち方が違うので、野菜を育てる経験をしていく中で色々学んでいってほしい。
- 何年育てていても、環境の変化などで、収穫量などは変わってくるし味も違う。
- 失敗も野菜作りの1つとして経験してほしい。
- 虫などが寄ってくるのは、安全な野菜を作っている証拠であるので、ある程度は気にしないことも必要。しかし、悪影響を及ぼす害虫や、病気に関しては適切な処置が必要となる。

3.9 区間推定

3.9.1 区間推定

区間推定とは、ある標本より母集団の平均や分散を推定するものである。

母集団の母数が不明であるとき、母集団から無作為に抽出した標本調査から得られた標本統計量をもとに母数を推測する必要があり、推測のことを母数の推定という。

3.9.2 信頼区間と信頼度

信頼区間とは、区間推定において、「一定の確率」で母数が含まれると期待される区間のことであり、下限値と上限値の範囲をもって示す。

信頼度　$1-\alpha=0.95$

0．95 とは、定めた信頼区間に真の値を含む確率が 95%以上である。

100 回行った場合、95 回は信頼区間の中にあてはまり、5 回は区間から外れることを意味する。

3.9.3 精度

精度の定義：信頼区間の（上限値－下限値）÷2

信頼区間が狭いほど精度は高く、母数が区間内に含まれる確率が高いことが、区間推定において、望ましい状態である。

3.9.4 計算手法

(1)～(5)の手順で求める。

(2) 調査結果の確認

標本調査から標本統計量とサンプルサイズを確認する。

(3) 推定公式の選択

信頼度を確認する。

(4) 推定公式による信頼区間の計算

(5) 結論

3.9.5 標準正規分布（z分布）

社会現象や自然現象の中で母集団が正規分布するものが多いため、正規分布の統計学への利用価値は極めて高く、正規分布なくして推測統計学は成り立たないといえる。母集団の分布を正規分布と仮定することにより標本分布は、理論的にも応用でも非常に厳密かつ円滑に展開することができる。

カール・フリードリッヒ・ガウスが考えた誤差理論によれば、確率変数は、（真の値）＋（測定誤差）という2つの要素から成り立ち、各誤差は、$N(0,\ \alpha^2)$の正規分布に従うは

ずとしている。このとき、誤差も 0 が中心の正規分布になるが、これに真の値 μ を加えると、つまり確率分布を μ だけ平行移動すると、μ が中心（平均）の正規分布 N（μ，α^2）になる。

確率変数 X が正規分布に従う時、その密度関数は、以下のようになる。

$$f(x) = \frac{1}{\sigma\sqrt{2\pi}} \exp\left(-\frac{(x-\mu)^2}{2\sigma^2} \right) \quad (-\infty < x < \infty)$$

本研究では、事前アンケートの母数が 30 以上で、比率がわかっていたため Z 分布を使用した。

3.9.6 F分布

F 分布は 2 種類の分散の比から成り立っている。

標本分散 s_A^2 の自由度を $f_A(=n_A-1)$、s_B^2 の自由度を $f_B(=n_B-1)$、E(s_A^2)=σ_A^2、E(s_B^2)=σ_B^2 とするとき、次の値は、自由度 （f_A, f_B）の F 分布になる。

F 分布は、母分散の比の検定や推定に応用される。

$$F = \frac{\dfrac{s_A^2}{\sigma_A^2}}{\dfrac{s_B^2}{\sigma_B^2}}$$

本研究では、モニター調査の母数が 30 以下で、比率がわかっているため F 分布を使用した。

4. 結果と解析

4.1 モニター調査によるアンケート結果

モニター調査終了後のアンケート調査を基に、「プランターキットサービス」を経験する前と後での意識や関心度の変化、ペルソナの目標・ゴールに近づいたサービスになっているかを検証し、「プランターキットサービス」の改善をはかった。

また、ペルソナに最も近い世田谷のモニターを【以下、ペルソナに近いモニター】と示し、同じペルソナの中でも多少食育にも関心があり、家庭菜園を経験している横浜のモニターを【以下、家庭菜園を経験しているモニター】との比較検討を行い、「プランターキットサービス」の必要性（価値）を検証した。

モニター調査結果の総評は以下の通りである。

「食育に対する関心度の推移」は、13 人中「少し増えた」（7 人）、「かなり増えた」（2 人）の合計 9 人と全体の約 70％が「プランターキットサービス」を体験した後に「食育に関する関心」が増えていることがわかった。

また、「食の安全性の意識」に関しては、モニター参加者全員がメディアから情報を得たり、自ら調べるなど、家族の健康面を気遣うことから、意識が高かったが、野菜を育てたことで農薬の使用などに関する知識の向上など、その意識に変化が見られた。

「地産地消に関する意識」、「旬の野菜に関する意識」などは、経験前と後ではほとんど変化は見られなかったが、実際に野菜を育てたことで、「以前より野菜を育てる興味を多いに持った」（8 人）、「少し興味をもった」（3 人）の合計、11 人と全体の約 85％が野菜を育てることへの興味にも変化が見られた。

野菜を育てている間のサポートの必要性に関しては、参加者全員が必要と回答した。

同時に、「プランターキットサービス」を今後もやりたい」と 13 人中 12 人が回答していることから、改善箇所を再検討し、自分たちで野菜を育てることで食に関する知識を獲得できると認識した。

「野菜を育てて楽しかった」と参加者全員が回答した。理由は、「生命成長の喜び」（6

人)、「実体験」(4 人)、「収穫の喜び」(3 人)、「親子での参加」(3 人)など様々な理由が挙げられ、野菜を育てることで満足が得られたと考えられる。

また、身近で簡単にできる「プランターキットサービス」を体験したことを踏まえ、さらに今後は「体験農園や市民農園もやってみたい」と全体の 53%が回答している。

モニター調査から、「プランターキットサービス」を利用し、自ら野菜を育てることに興味をもち、食に対する意識の変化に効果があることが

以下、アンケートの回答を詳述する。

「食育に対する関心度」を、モニターに参加する前と後での比較をした結果を示す。(図 4-1)。経験後のポイントについては、経験前のポイントに以下のポイントを加算することとする。

「かなり増えた」・・・(＋2)

「少し増えた」・・・(＋1)

「以前と変わらない」・・・(±0)

「以前より減った」・・・(－1)

【ペルソナに近いモニター(A～H)】の 8 人は、経験前の「意味を知っていた」(2 人)、「少し関心があった」(6 人)から、実験後は、1 人が「かなり増えた」、6 人が「少し増えた」と 7 人が食育に関する関心が増えている。

【家庭菜園を経験しているモニター(I～M)】では、5 人中 3 人が、食育に「かなり関心があった」と、最初から関心が高いものの、プランターサービスを経験した後、さらに関心が「少し増えた」(1 人)と回答、経験前は「少し関心があった」(1人)も、「かなり増えた」(1 人)と回答しており、モニター参加者全体で約 70%が食育関心への増加を示している。

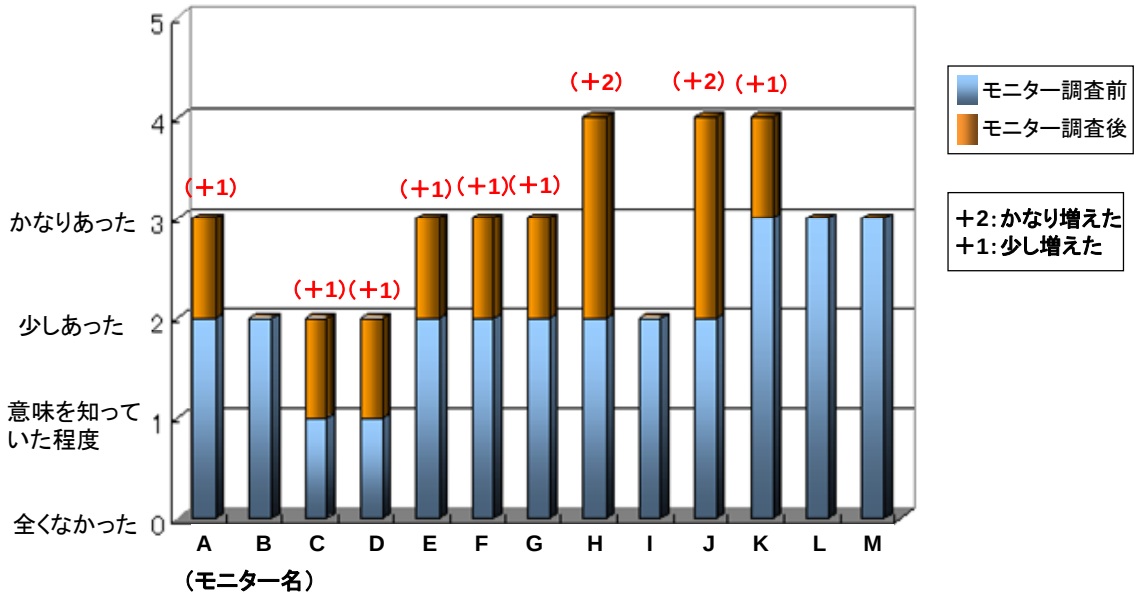


図 4-1　食育に対する関心度の推移

「食の安全性に関する意識の変化」を、モニターに参加する前と後での比較をした結果を示す(図 4-2)。

モニター経験前のポイントにそれぞれポイントを加算した結果となる。

「かなり増えた」・・・(＋2)

「少し増えた」・・・(＋1)

「以前と変わらない」・・・(±0)

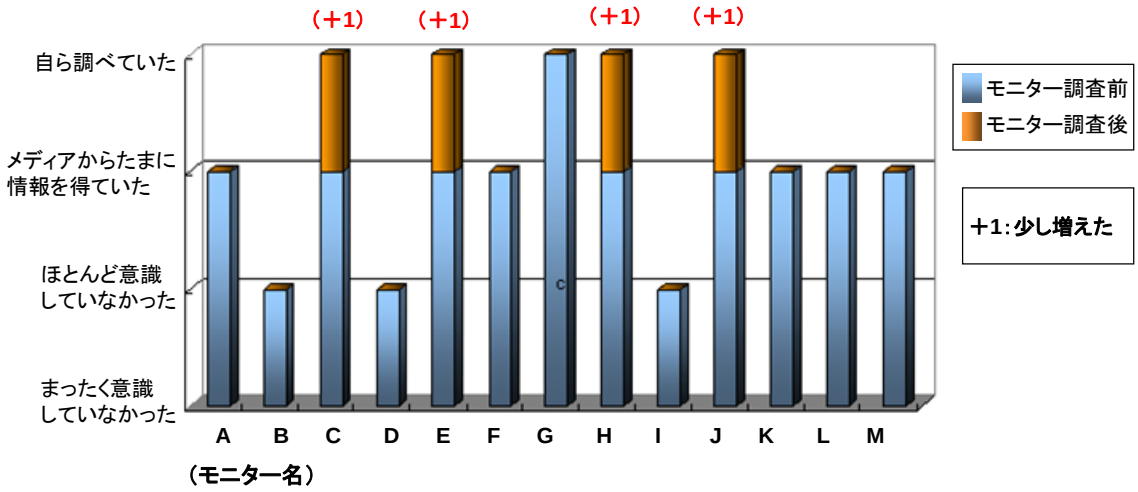
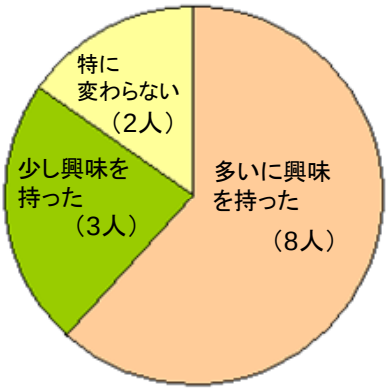


図 4-2　食の安全性に関する意識の変化



野菜を育てることに以前より興味をもったかどうかの問いに対しては、ペルソナに最も近い世田谷のモニター全員が「多いに興味を持った」(8 人)の回答に対し、すでに野菜を育てることを経験している横浜のモニターは、「少し興味を持った」(3 人)、「特に変わらない」(2 人)と野菜を育てることへの興味の変化はほとんどなかった(図 4-3)。

図 4-3 野菜を育てることへの興味

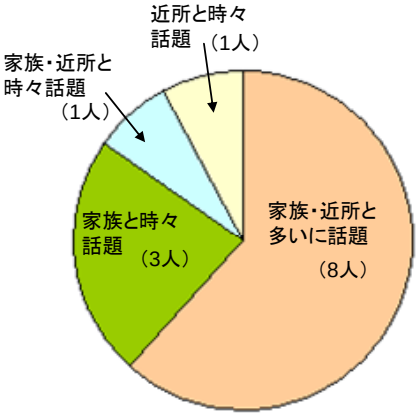


図 4-4 コミュニケーション

野菜を育てている期間のコミュニケーションについての回答は、「家族・近所と多いに話題にした」(8 人)で、今回はモニターの子供の幼稚園が同じだったことから、共通の話題が生まれやすかったと感じた。「家族と時々話題にした」(3 人)となっており、話題にした内容は、野菜の成長や、害虫についての意見交換が多かった(図 4-4)。

「プランターキットサービスを体験してよかったこと」(図 4-5)(自由記述)は、野菜が育つ過程を間近で見られたことや収穫体験、野菜を育てていることを子供が幼稚園の先生にうれしそうに話したなど、親子で野菜を育てられたことがよかったと回答している。

ペルソナに最も近い世田谷のモニターだけでなく、野菜を育てたことがある、横浜のモニターからも収穫の喜びや、実体験ができたこと、生命成長を感じることができたな

ど、双方から同じような回答が得ることができた。

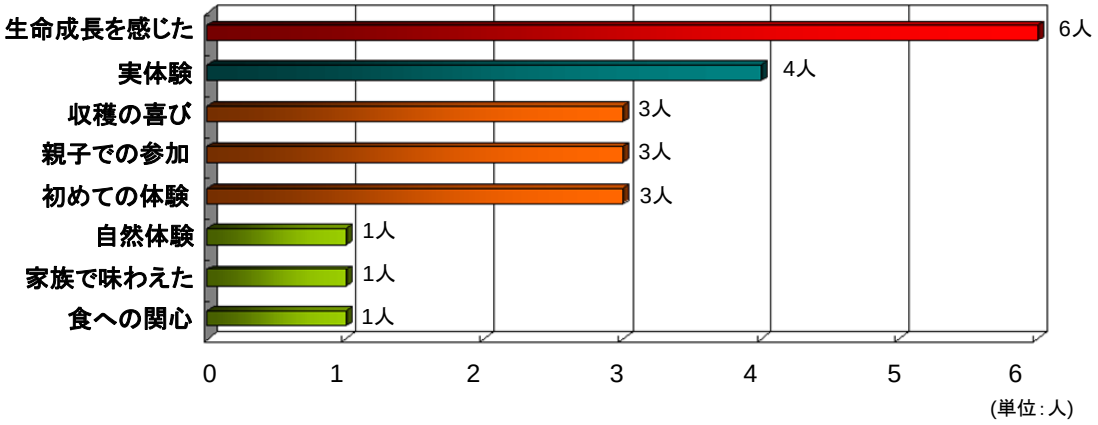


図 4-5 プランターキットサービスを体験してよかったこと

「野菜を育てている期間中のサポートの必要性」(図 4-6)であるが、参加者 13 人が必要としている。ペルソナに近いモニター8 人中「多いに必要」(5 人)、「たまに必要」(3 人)と、家庭菜園を経験しているモニター5 名中「多いに必要」(2 人)、「たまに必要」(3 人)の内訳になっているが、経験の有無に関係なくサポート体制は必要であることがわかった。

農家などの専門家への仲介の必要性(図 4-6)だが、直接専門家と話をしたいかどうかであるが、同じく「多いに必要」(6 人)、「たまに必要」(4 人)、「特に必要ではない」(3 人)との回答であった。「特に必要ではない」と回答した理由については、すでに知り合いがいるためである。

専門家に聞いたり、サポートを受けることで、安心して野菜を育てられる環境作りができることも大事な要素であることがわかり、野菜を作るためのマニュアルや、栽培に対する詳細な情報収集も必要な要素であることがわかった。

「安全な知識を今後も増やしていきたいか」の質問には、モニター参加者 13 人が増やしていきたいとしており、安心・安全な情報を提供することも重要なサポートの1つであることがわかった。

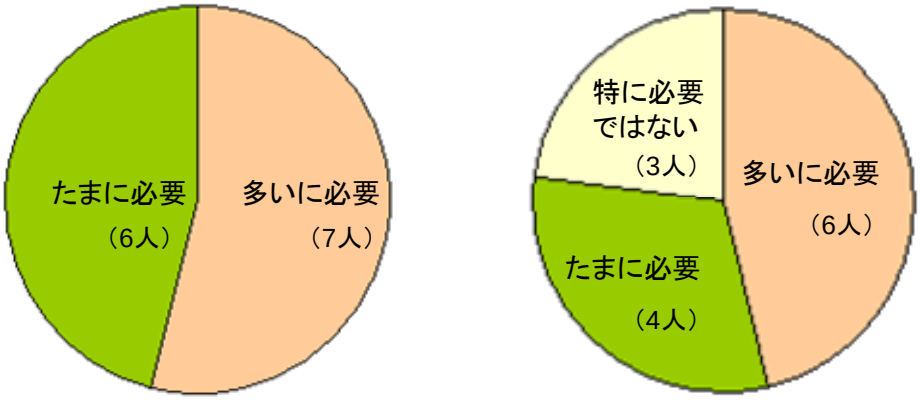


図 4-6 サポートの必要性（左）と、専門家への仲介の必要性（右）

モニター参加者に「プランターキットサービス」の価格での評価について質問したところ、事前アンケートでの回答（図 4-7）は平均価格が 750 円であったが、実際に「プランターキットサービス」を体験した後（図 4-8）は、平均価格が 2000 円強に上回った。

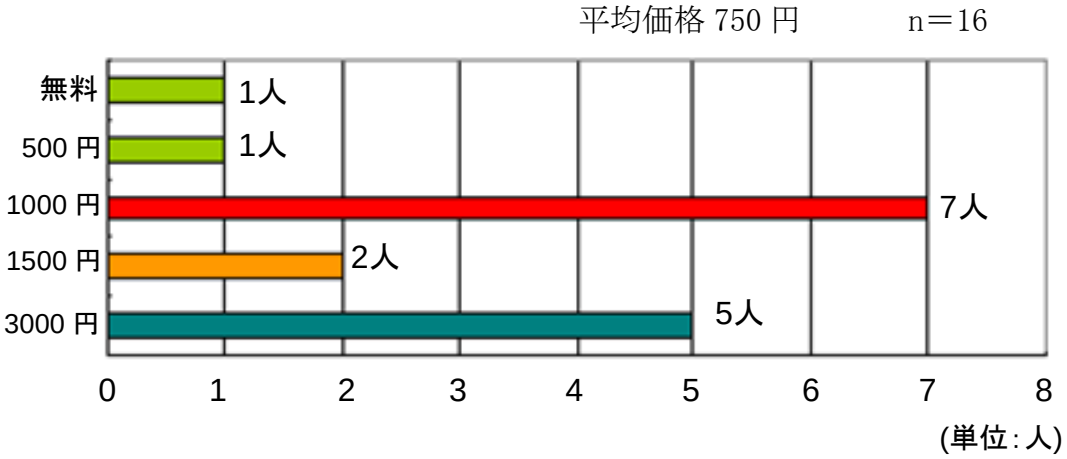


図 4-7 事前アンケートでの価格価値

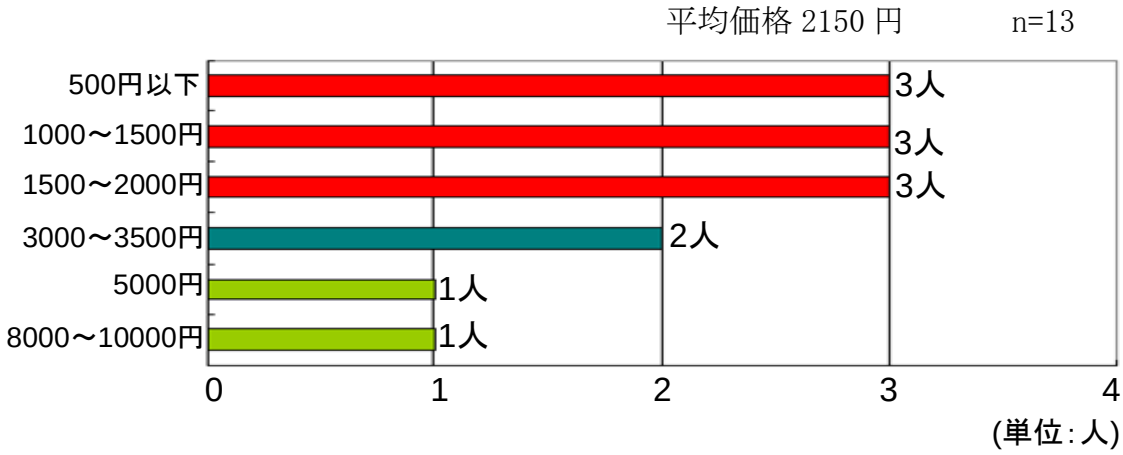


図 4-8 モニター調査後の価格価値

「プランターキットサービス」の改善点（図 4-9）に関する意見も多く寄せられた。「プランターのサイズの選択」では、「プランターが重い」と6 人が回答した。収穫率を高くするために、1つのプランターに 2 つの苗を植えられるプランターにしたため、1つのプランターの重さが約 30Kg 近くなってしまったことが原因である。

これは、ベランダの広さにあわせて、プランターの大きさを選択できるようにすることで、負担は減る。

次に、育てる苗に適した栽培方法・病気・虫などの「トラブル対応の情報・冊子」（6 人）であるが、モニター調査では、質問事項に関してはメール又は電話で対応することにしていた。しかし、多忙な主婦には、事前に把握できる情報は、冊子で対応するほうが効率的であることがわかった。

「サポート対応の強化」（4 人）については、収穫が思ったより少なかったことや、害虫駆除、思ったより作業の難易度が高かったなどの意見が寄せられた。

また、あらかじめ野菜の種類によって難易度を決めておく必要があるなどの回答も得られた。

害虫駆除の問題にも多くの質問が寄せられた。害虫駆除の問題だが、モニター調査期間中は必要に応じて農薬を渡していたが、虫やカビなどの問題が解決すれば、もっと野菜を育てることに愛着がわくので、あらかじめ害虫駆除の農薬をセットしておいてほしいとの要望もあった。

事前アンケートの中でも回答があったが、モニター調査では、夏休み期間が含まれ

たため長期外出中に枯れてしまったなどの意見もあった。

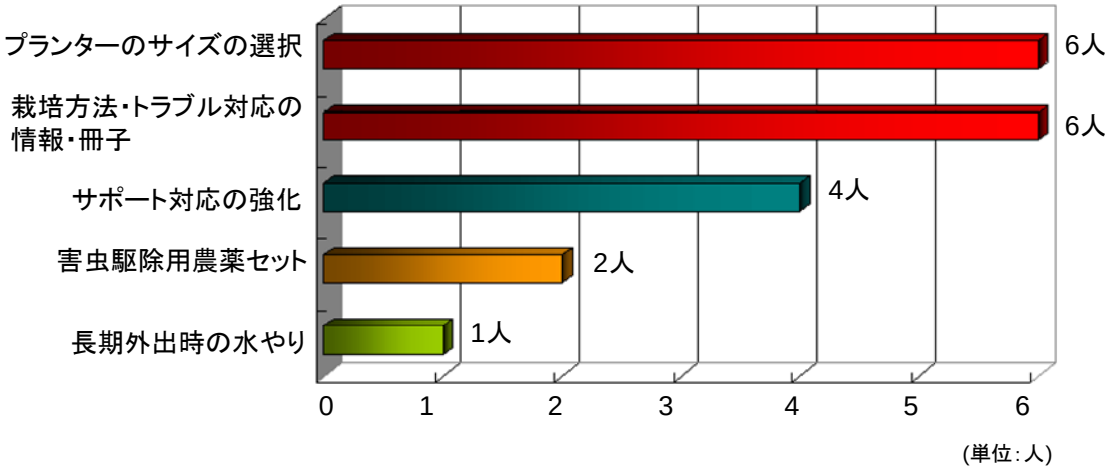
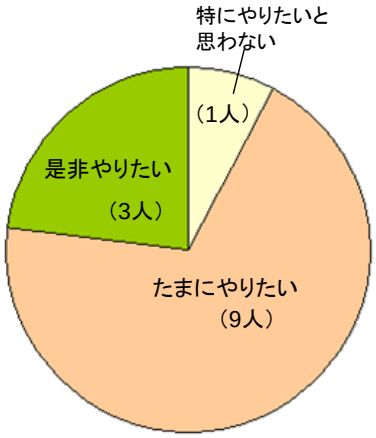


図 4-9 プランターキットサービスの改善点



様々な改善点などが挙げられたが、「プランターキットサービスを今後もやりたいか」との問いに対しては、「是非またやりたい」(3 人)、「たまにやりたい」(9 人)、「特にやりたいと思わない」(1 人)と 13 人中 12 人が「やりたい」と回答した。(図 4-10)

図 4-10 プランターキットの継続性

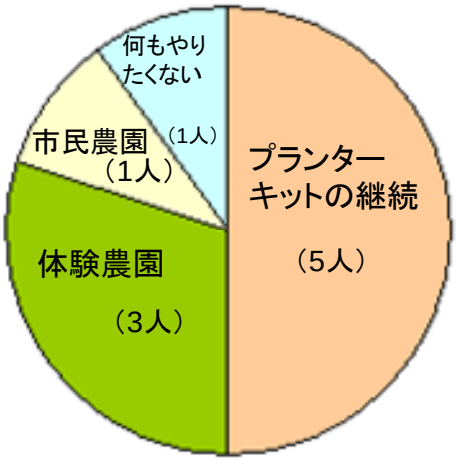
続いて、「プランターキットサービス」で野菜を育てたことで、プランターより少し進んだ体験農園や、市民農園で野菜を育ててみたいか複数回答で質問してみたところ、ペルソナに近いモニターは、「プランターキットサービスを継続したい」(5 人)、「体験農園」(3 人)、「市民農園」(1 人)、「何もやりたくない」(1 人)と回答があり、簡易的なプランターキット栽培から、さらに野菜を育てる意識が向上していると考えられる。

一方「野菜作りを経験しているモニター」は「体験農園」(2 人)、「市民農園」(2 人)、

「プランターキットサービス」(1 人)、「何もやりたくない」(1 人)との回答とあった。また、「もう少し色々なレベルがあってもよい」など、経験者には簡易的なシステムであることもわかった。

「何もやりたくない」と回答した人の理由は、苦労した割には収穫率が低かったり、途中で枯れてしまい収穫ができなかったことが原因である。そのような面からも、安定した収穫も継続の要因の1つになることがわかった。(図 4-11)

【ペルソナに近いモニター】



【野菜作りを経験しているモニター】

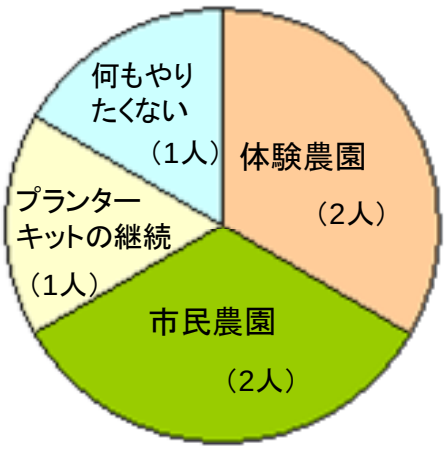


図 4-11　プランターキットサービスの継続

4.2 統計による評価

3．9 節「区間推定」の手法により、「食育に対する関心度の推移」、「プランターキットサービスを今後も体験したいか」について、区間推定を行い、妥当性を検討した。

4.2.1 F 分布における推定公式

$$P_1 \leq P \leq P_2$$

下限値 $$P_1 = \frac{n_2}{n_1 F(n_1, n_2; \alpha/2) + n_2}$$

上限値 $$P_2 = \frac{m_1 F(m_1, m_2; \alpha/2)}{n_1 F(m_1, m_2; \alpha/2) + m_2}$$

$$n1 = 2n(1-p)+2, n_2 = 2np$$
$$m1 = 2np+2, m_2 = 2n(1-p)$$
(n, m は自由度)

4.2.2 Z 分布における推定公式

$$\mathrm{P} \sim p \pm z(\alpha/2)\sqrt{\frac{p(1-P)}{n}}$$

4.2.3 食育に対する関心度の推移

「プランターキットサービス」を体験して、13 人中 11 人が食育に対する関心が増えたと回答している（図 4－1）。信頼度を 95％で区間推定すると以下の通りとなる。
母集団が 30 人以下のため F 検定を使用して区間推定を行った。

①調査結果
n=13, P=11/13=0.8462

②推定公式
上記の F 分布における推定公式を使用

③信頼度（95%）で自由度を求める

$n_1 = 2 \times 13 \times (1 - 0.85) + 2 = 6$
$n_2 = 2 \times 13 \times 0.85 = 22$
$m_1 = 2 \times 13 \times 0.85 + 2 = 24$
$m_2 = 2 \times 13 \times (1 - 0.85) = 4$
よってＦ値は、
$F(n_1, n2; \alpha / 2) = F(6,22 : 0.025) = 3.05$
$F(m_1, m_2; \alpha / 2) = F(24,4;0.025) = 8.51$

④信頼区間

下限値 $P_1 = \dfrac{22}{6 \times 3.05 + 22} = 0.55$

上限値 $P_2 = \dfrac{24 \times 8.51}{24 \times 8.51 + 4} = 0.98$

よって、$0.55 \leq P \leq 0.98$

⑤結論
信頼度 95％で検定を行った結果、食育に対する関心度は、モニター調査前と後では、13 人中 11 人（85％）が「食育に関心をもった」と回答したことから、母集団においては、55％～98％の間にあるといえる。

4.2.4 プランターキットサービスを体験の継続

プランターキットサービスを体験したいかどうかを事前アンケートとモニター体験後のアンケート調査（図 4-11）から区間推定を行った結果は以下の通りの結果となった。

表 4-1 調査結果による区間推定

	調査結果	区間推定 （信頼度95%）
プランターキットサービスを体験したい （事前アンケート）	35人中22人（62%）	47%～79% （Z分布）
今後もプランターキットサービスを体験したい （モニター調査後）	13人中12人（92%）	64%～100% (F分布)

(1)　事前アンケートでは、「プランターキットサービスを体験したいかどうか」では、35 人中 22 人(62%)が「体験したい」と回答した。信頼度 95%で区間推定を行った。
母集団が 30 人以上であるため、標準正規分布(z分布)を使用して行った。

①調査結果

$$n = 35, P = \frac{22}{35} = 0.629$$

②推定公式
上記の z 分布における推定公式を使用

③信頼度(95%)で自由度を求める
$z = (\alpha / 2) = z(0.025) = 1.96$

④信頼区間

$$P = 0.629 + 1.96 \times \sqrt{\frac{0.629 \times (1 - 0.629)}{35}} = 0.629 + 0.0816734 = 0.7887$$

$$P = 0.629 - 1.96 \times \sqrt{\frac{0.629 \times (1 - 0.629)}{35}} = 0.629 - 0.0816734 = 0.4685$$

⑤結論
信頼度 95%で検定を行った結果、事前アンケート結果では「プランターキットサービス」を体験したい人は 35 人中 22 人(63%)が回答したことから、母集団においては、47%から 79%の間にあるといえる。

(2)　次にモニター調査後による、実際に「プランターキットサービス」を体験した後、今後も体験したいかどうかでは 13 人中 12 人が「体験したい」と回答した。信頼度 95%で区間推定を行った。
母集団が 30 人以下であるため F 分布を使用して区間推定を行った。

①調査結果
n=13, P=12/13=0.9231

②推定公式
上記の F 分布における推定公式を使用

③信頼度（95%）で自由度を求める

$n_1 = 2 \times 13 \times (1 - 0.85) + 2 = 4$

$n_2 = 2 \times 13 \times 0.85 = 24$

$m_1 = 2 \times 13 \times 0.85 + 2 = 26$

$m_2 = 2 \times 13 \times (1 - 0.85) = 2$

よってＦ値は、

$F(n_1, n2; \alpha / 2) = F(4,24 : 0.025) = 3.38$

$F(m_1, m_2; \alpha / 2) = F(26,2;0.025) = 39.46$

④信頼区間

下限値 $P_1 = \dfrac{24}{4 \times 3.38 + 24} = 0.64$

上限値 $P_2 = \dfrac{26 \times 39.46}{26 \times 39.46 + 2} = 1.00$

よって、$0.64 \leq P \leq 1.00$

⑤結論

信頼度 95％で検定を行った結果、モニター調査結果では「今後もプランターキットサービス」を体験したい人は13人中12人（92％）が回答したことから、母集団においては、64％から100％の間にあるといえる。

4.3 考察

「プランターキットサービス」は、「食育普及」に効果を得られるシステムであることが、「4．1 モニター調査のアンケート結果」から確認できた。

ユーザーにとって、家庭菜園の経験の有無に関係なく、「食育への関心」より、「収穫の楽しみや、収穫物を食すこと」がプランター利用の目的となることがわかった。そして、収穫ができるのなら続けていきたいという要求から、野菜栽培を始め、その結果「食育への関心」につながっていくということがモニター調査から得られた。

つまり、食育普及システムの向上を目的とした「プランターキットサービス」を持続可能なシステムを目指すなら、「ある一定量の収穫」を実現することは重要な要素となる。

その際、身近な環境で野菜を育てる経験をしつつ、一定量の収穫を実現するには、専門家の知識やサポート体制が必要不可欠であることもわかった。

すなわち、食育普及という国民運動としての理想的な面と、現実的な収穫や育てることの喜びという現実的な面の追求とのバランスを取ることこそがもっとも重要であることがわかった。

また、「プランターキットサービス」で食育普及を目指すときユーザーは、身近な環境（家庭）で野菜を育てることで成長過程を見て楽しむことができ、また、自分で育てたものを食し、そこから野菜に関しての興味が一層わき結果として、食に関しての知識を向上させていくことができる。さらには、そこから地域の新たなコミュニケーションが生まれることで、結果「食習慣」にも影響を与えるなどの相互関係があることが明確になった。

つまり、プランターを通して個人－家庭－地域の一貫したコミュニケーション作りが可能となるということであり、単なる「食育」を超えた効果をもつこととなる。

今後は、小中学校との連携によるサービスの展開についても構想してゆくところによるものである。

また、複雑に絡み合う食育の要素を主要な要素に以下（1）～（4）分類した。

「プランターキットサービス」を使用することで、「食育」を家庭でも身近に経験することができることが、アンケートからも評価が得られたので、以下に示す。

（1） 五感（視覚、聴覚、触覚、味覚、嗅覚）を養う

(2)　食に関する興味や関心の向上

(3)　安全な食材の知識獲得

(4)　家族や地域とのコミュニケーションを図る

(1)　五感（視覚、聴覚、触覚、味覚、嗅覚）を養う

・　野菜を自分で育てることで、成長過程を見て楽しむことができた。
・　成長していく野菜を見て愛おしいと思えるようになった。
・　自分たちで収穫した野菜は、購買した野菜より貴重なものとなり一層味わい深いものと感じ、大事に食すようになった。

(2)　食に関する興味や関心の向上

・　実体験を通し、自分が野菜を育てているという認識が強くなった。
・　野菜を育てることへの興味・関心がもてるようになった。
・　一定量の収穫に対する期待

(3)　安全な食材の知識獲得

・　害虫駆除するための正しい農薬の使用方法についても知ることができた。
・　野菜を育てることで、以前より食材についての安心・安全に興味がもて、自ら情報探索をするようになった。

(4)　家族や地域とのコミュニケーションを図る

・　家族と野菜の成長について話しをするようになっている。
・　野菜を育てている友人と、害虫駆除や、野菜の成長過程についての共通の話題をもつことができた。
・　子供が野菜の苗を見て「お水をあげないと枯れてしまう」と思い、水やりをしている姿を見て、我が子の成長を実感した。
・

今後の課題としての「プランターキットサービス」の改善点を以下に示す。

(1)プランターの大きさ、形状、重量

- ベランダの広さにあわせたプランターの大きさの選択。
- 日当たりの影響で収穫量が変わるため、置き方タイプ又は、壁掛けタイプなどのタイプ別の選択。
- プランターの重量が約 30Kgあったため、プランターを動かすのが大変との意見もあった。適度な重さについての検討。

(2)農薬の使用

- モニター調査では有機土や、有機肥料を使用したが、害虫が発生した場合は、害虫駆除をすることが優先であるため、農薬を散布することもある。
  あらかじめ農薬の正しい使用方法についての説明の必要性。

(3)情報提供(サポート)

- 育てたい野菜を提供するのではなく、日当たりなど育てる環境により育てられる野菜の情報提供。
- あらかじめ育てる野菜に関する情報提供。
- 長期留守にした場合の水やりに関して、モニター調査では対象外としていたが、留守中に枯れてしまうこともあるため、水やり方法の検討。

5. 結論

本研究では、内閣府が行っている食育普及の一貫である、家庭での食に対する意識向上のためのシステム設計を提案した。

家庭内での安心・安全な食材への意識を高め、知識を深めるために食育推進システム「プランターキットサービス」を構築するために、事前アンケートを行い、ユーザー代表であるペルソナを１人作成した。

複雑な要因が絡み合う「食育」を、主要な要因に分解、ペルソナを作成することで、ターゲットユーザーの詳細を明確にするとともに、ユーザーの要求を明確化でき、ペルソナのための食育サービスシステム「プランターキットサービス」の設計構築を実現した。

ペルソナにもっとも近いモニターを選出し、実験を行った結果から、「プランターキットサービス」が、食育推進に有効であるシステムであることがわかった。また、プランターキットサービスに求められているサービスの必要性や、サポートの重要性なども、モニター調査で明かとなった。

一方で、ユーザーが「プランターキットサービス」に求めていることは、食育向上ではなく、一定量の収穫ができることである。プランターキットサービスをサスティナブルなシステムにするためには、専門家の知識やサポート体制が必要であることもわかった。

小規模ながら新たにペルソナ手法をサービスシステムに適用させ、食育システム構築の実験的研究は、所期の目的を十分に達成した。

野菜を育てる過程に興味を持ち、収穫を家族で楽しみながら食すことで、その結果、食に対する意識向上への効果があり、所期の目的を十分に達成する効果が得られた。

「プランターキットサービス」をサスティナブルな食育システムとしていくためには、一定量の収穫や、プランターのセット、野菜栽培不明な点を解決するための専門家の知識やサポートの強化が重要であると考える。

6. 謝辞

本論文は筆者が慶應義塾大学大学院システムデザイン・マネジメント研究科修士課程に在籍中の研究成果をまとめたものである。同研究科の佐々木正一教授には本論文の研究実施の機会を与えて頂き、懇切なご指導を賜り心より感謝、御礼申し上げます。また、日比谷孟俊教授、高野研一教授、白坂成功准教授にはご精読、ご助言を頂くとともに細部にわたりご指導を頂きましたこと感謝いたします。

アグリゼミでの北海道現地調査などで、ご指導を頂きました林美香子特別研究教授、前野隆司教授に感謝いたします。

本研究での調査実験には、造園会社である株式会社深光園　瀧柳伸央様、園芸店である有限会社グリーンホビー様、オフィスリンク　橋本浩二様のご厚意により準備から調査終了に至るまで多大なるご尽力、ご指導を賜り無事に遂行することができましたこと心より感謝、御礼申し上げます。

また、調査実験のため、突然のお願いにもかかわらず、約半年という長期にわたりモニターとして参加を快く引き受けご協力くださいましたモニター参加者とそのご家族の皆様、またアンケートにご協力くださいました皆様方に深く御礼を申し上げます。

本研究にあたり、福井県あわら市、坂井市、福井市の関係者の皆様方をはじめ、その他様々な面でご協力くださいました関係者の皆様方に深く感謝、御礼を申し上げます。

最後に、2 年間の大学院生活の中で、佐々木研究室のゼミの皆様やアグリゼミの皆様、その他多くの知り合えた皆様方から頂いたアドバイスや議論させて頂いた事は、私にとって大きな財産となり、充実した学生生活となりましたこと、深く感謝致し、謝辞とさせていただきます。

7. 引用文献

[1]厚生労働省，男女共同参画白書，平成 21 年度版，第 1－特-17 図「共働き等世帯数の推移」
http://www.gender.go.jp/whitepaper/h21/zentai/html/zuhyo/zuhyo017.html

[2] 内閣府，食育推進施策（食育白書）平成 22 年度版，P2

[3] 内閣府，食育推進施策（食育白書）平成 22 年度版，食育周知度，P8

[4] 内閣府，食育推進施策（食育白書）平成 22 年度版，食育への関心度，P27

[5] 石塚左玄，食物養生法，博文館，明治 31 年，P178

[6] 内閣府，食育推進施策（食育白書）平成 22 年度版,農林水産省「食料需給表」食料自給率の動向，P73

[7] 農林水産省，参考資料（食料自給率目標の考え方及び食料安全保障について），平成 22 年 1 月
http://www.maff.go.jp/j/council/seisaku/kikaku/bukai/18/pdf/data1-2.pdf

[8]企業の食育サイト:
http://www.shokuiku-pro.com/modules/weblinks/viewcat.php?cid=61&sortid=3&page=1

[9] 内閣府，食育推進施策，食育基本法の概要〔目的〕，平成 22 年度版，P2

[10] 内閣府，食育推進施策，食育推進基本計画の概要，平成 22 年度版，P3

[11] 内閣府，食育推進施策，食育推進体制，平成 22 年度版，P3

[12] 日経コンピュータ（2003 年 9 月 8 日号）,EA 大全 企業情報システムの救世主，日経 BP 社，P81

[13] 内閣府， 食育推進施策，食育推進基本計画の目標と現状値，平成 22 年度版，P26

[14] 食品安全委員会，「食品安全確保総合調査」，平成 21 年度版，P31

[15] 内閣府，食育推進施策，食育に関する意識調査，よく利用する食物（料理）の入手先，平成 21 年度版サイト
http://www8.cao.go.jp/syokuiku/data/whitepaper/2009/digest/html/sd01.html

[16] （財）外食産業総合調査研究センターによる推計

[17] Harvard Business Review 2007 年 7 月号,ペルソナ顧客経験のデザイン P69

参考文献

［18］　中田典子，第11章人間と地域の未来につながる食育－小浜市の食のまちづくりを通して－

［19］　ジョン S.プルーイット / タマラ・アドリン，秋本芳伸，ペルソナ戦略，東京，ダイヤモンド社

［20］　棚橋弘季，(2008)，ペルソナ作ってそれからどうするの？ユーザー中心デザインで作るWebサイト，東京，ソフトバンククリエイティブ

［21］　Harvard Business Review 2007 年 7 月号,ペルソナ顧客経験のデザイン P66-79

［22］　日経情報ストラテジー 2007 年 10 月号，究極の顧客像を構築せよ「ペルソナ」マーケティング P39-48

［23］　Alan Cooper / 山形 浩生，コンピュータはむずかしくて使えない，　東京，翔泳社

［24］　神田範明(2004)，顧客価値創造ハンドブック，東京，日科技連出版社

［25］　バーンド H.シュミット / 嶋村和恵・広瀬盛一，経験価値マーケティング-消費者が「何か」を感じるプラスαの魅力-，東京，ダイヤモンド社

［26］　上田拓治(2010)，44 の例題で学ぶ統計的検定と推定の解き方，東京，オーム社

8. APPENDIX

8.1 事前アンケート結果データ

「3.5 事前アンケート」(P25)で使用した 35 人(No.1～No.35)のアンケート回答データである。1 人につき 3 枚(①～③)のアンケート内容である。

【No1】

①

食育普及サービスに関してのアンケート

質問 1: 年代を選択してください
年齢 21 歳～29 歳 30 歳～39 歳 40 歳～49 歳 50 歳～59 歳

質問 2: ご職業をご記入ください
主婦

質問 3: ご家族構成を教えてください。お子様の年齢もご記入ください。
夫・長男6才の3人家族

質問 4: 「食育」と言う言葉に関心はありますか?
① かなりある ② 少しある ③ 意味を知っている程度 ④ まったくない

質問 5:「食育」とは、どのようなことだと思われますか?また、実践されていることがありましたらご記入ください。
・食は体を作る大切な物なので、知識を深めて、どんな食物がよいかを知っていく事。
・実践は、出来るだけ旬のものを食べるようにしている事と、ベランダ菜園。

質問 6: ご家庭で野菜を作られた経験はありますか?
① 体験農園 ②市民農園 ③家庭菜園 ④経験なし

質問 7:ご家庭で野菜を作られたことがある方へ質問です。
・始められたきっかけがありましたらお書きください
楽しそうだったから

・不便を感じられたことなどありましたらお書きください。
・ベランダなので、あまり種類が出来ない事。

質問 8: 食品の安全性(農薬・肥料)に関する情報収集などされたことはありますか?
① 自ら調べている ② メディアからの情報をたまに聞く程度 ③ ほとんどしていない
④ まったく興味がない

2

②

質問 9: 地産地消(地元の野菜を食べる)に対する意識はありますか?
① 多いに意識しているし購入している ② たまに意識して購入している
③ 意識はしても購入はしない ④ まったくない

質問 10: 今まで野菜を購入するときに、季節の旬の野菜を意識して購入されていますか?
① 多いに意識している ② たまに意識している ③ ほとんどしない ④まったくない

質問 11: 上記の理由を自由にご記入ください。
・旬の物が一番栄養価が高いと思うので 出来るだけ買うようにしているが、値段で、その時安い季節外のものも買ってしまう。

質問 12: もし、ご自分で野菜を育てるときに、サポート対応(相談相手)は必要だと思いますか?
① 多いに必要 ② たまに必要 ③ 特に必要ではない ④ まったく必要ない

質問 13: もし、ご自分で野菜を育てる過程で、相談相手になってもらえる農家の人(プロ)への仲介は必要だとおもいますか?
① 多いに必要 ② たまに必要 ③ 特に必要ではない ④ まったく必要ない

質問 14: 質問 13 で、「必要ではない」と回答した方へ。理由を教えてください。
① すでに知り合いがいる ② 十分な知識がある ③ 自力で調査できる ④ 興味がない

質問 15: 「食育」の一環であるプランターキットサービス(プランターに土、苗、育てたい野菜が準備された状態で、玄関まで宅配、収穫終了したら、引き取る一環サービス)があったとしたらやってみたいと思いますか?
① 是非やってみたい ② たまにやってみたい ③ 特にやりたいと思わない
④ まったくやりたくない

3

③

質問 16: もし、このようなサービスがあったら、いくらくらいの価格でしたらやってみたいですか?
ご自由にご記入ください。
1000円位

上記の価格にした理由をご記入ください。
これ以上高いと、手を出しにくいかな…と。

質問 17: お子さんやご家族のために安心、安全な食材を食べるための知識を今後も増やしていきたいとおもいますか?
① 是非増やしたい ② 機会があれば増やしたい
③ どちらでもない ④ 特に増やしたくない

以上になります。
ご多忙のところ、ご協力いただき誠にありがとうございました。
本アンケートは、大学の研究以外には使用いたしません。

慶應義塾大学大学院システムデザイン・マネジメント研究科
糸川 永利子

4

【No2】

①

食育普及サービスに関してのアンケート

質問 1: 年代を選択してください
年齢 21 歳～29 歳 30 歳～39 歳 40 歳～49 歳 50 歳～59 歳

質問 2: ご職業をご記入ください
主婦

質問 3: ご家族構成を教えてください。お子様の年齢もご記入ください。
夫 子 2人 長女4才 長男2才

質問 4: 「食育」と言う言葉に関心はありますか？
① かなりある ② 少しある ③ 意味を知っている程度 ④ まったくない

質問 5:「食育」とは、どのようなことだと思われますか？もし、実践されていることもありましたらご記入ください。
・食べ物の素材の説明をしながら子供たちと食事を作ったりすること。
・料理の野菜 構成内容を説明したりしている。

質問 6: ご家庭で野菜を作られた経験はありますか？
① 体験農園 ②市民農園 ③家庭菜園 ④経験なし

質問 7: 質問5で①～③を選択された方へ質問です。
・始められたきっかけがありましたらお書きください

・不便を感じられたことなどありましたらお書きください。

質問 8: 食品の安全性(農薬・肥料)に関する情報収集などされたことはありますか？
① 自ら調べている ② メディアからの情報をたまに聞く程度 ③ ほとんどしていない
④ まったく興味がない

2

③

質問 16: もし、このようなサービスがあったら、いくらくらいの価格設定でしたら受けたいですか？
ご自由にご記入ください。
¥3,000 −

上記の価格にした理由をご記入ください。
~~¥3,000~~ 高いと手軽さがなくなるから

質問 17: プランターサービスを経験したうえで、市民農園(指導なし)や体験農園(指導あり)をやってみたいとおもいますか？
① 体験農園をやってみたい ② 市民をやってみたい
③ プランターサービスを継続したい ④ 何もやりたくない

質問 18: お子さんやご家族のために安心、安全な食材を食べるための知識を今後も増やしていきたいとおもいますか？
① 是非増やしたい ② 機会があれば増やしたい
③ どちらでもない ④ 特に増やしたくない

以上になります。
ご多忙のところ、ご協力いただき誠にありがとうございました。
本アンケートは、大学の研究以外には使用いたしません。

慶應義塾大学大学院システムデザインマネジメント研究科
糸川 永利子

4

②

質問 9: 地産地消(地元の野菜を食べる)に対する意識はありますか？
① 多いに意識しているし購入している ② たまに意識して購入している
③ 意識はしても購入はしない ④ まったくない

質問 10: 今まで野菜を購入するときに、季節の旬の野菜を意識して購入されていますか？
① 多いに意識している ② たまに意識している ③ ほとんどしない ④まったくない

質問 11: 上記の理由を自由にご記入ください。
・旬の野菜は、栄養素が豊富な気がする。
・夏には体を冷やす野菜、冬には体を温める野菜が とれるから。
出来る

質問 12: もし、ご自分で野菜を育てるときに、サポート対応(相談相手)は必要だと思いますか？
① 多いに必要 ② たまに必要 ③ 特に必要ではない ④ まったく必要ない

質問 13: もし、ご自分で野菜を育てる過程で、相談相手になってもらえる農家の人(プロ)への仲介は必要だとおもいますか？
① 多いに必要 ② たまに必要 ③ 特に必要ではない ④ まったく必要ない

質問 14: 質問 13 で、「必要ではない」と回答した方へ。理由を教えてください。
① すでに知り合いがいる ② 十分な知識がある ③ 自力で調査できる ④ 興味がない

質問 15: 「食育」の一環であるプランターキットサービス(プランターに土、苗、育てたい野菜が準備された状態で、玄関まで宅配、収穫終了したら、引き取る一環サービス)があったとしたらやってみたいと思いますか？
① 是非やってみたい ② たまにやってみたい ③ 特にやりたいと思わない
④ まったくやりたくない

3

【No3】

①

食育普及サービスに関してのアンケート

質問 1: 年代を選択してください
年齢 21 歳～29 歳 30 歳～39 歳 40 歳～49 歳 50 歳～59 歳

質問 2: ご職業をご記入ください
会社員

質問 3: ご家族構成を教えてください。お子様の年齢もご記入ください。
父 子長男 8才 弟 4才
母 次男 6才

質問 4: 「食育」と言う言葉に関心はありますか？
① かなりある ② 少しある ③ 意味を知っている程度 ④ まったくない

質問 5:「食育」とは、どのようなことだと思われますか？また、実践されていることがありましたらご記入ください。
食べ物に興味を持って、生活すること。
・この食べものどこから来たの？
・だれが作ってるの？
・どうやってつくるの？
・大変なことって？
・いつが旬なの？
・どういう栄養があるんだろう
など、食べ物で意識して生活すること。

質問 6: ご家庭で野菜を作られた経験はありますか？
① 体験農園 ②市民農園 ③家庭菜園 ④経験なし

質問 7:ご家庭で野菜を作られたことがある方へ質問です。
・始められたきっかけがありましたらお書きください
自分で自分のたべるものを作れたら素晴しいと思って。
またまいじりも好きなので、
すくすく育つ野菜がかわいらしくもありました。
・不便を感じられたことなどありましたらお書きください。
特になし

質問 8: 食品の安全性(農薬・肥料)に関する情報収集などされたことはありますか？
① 自ら調べている ② メディアからの情報をたまに聞く程度 ③ ほとんどしていない
④ まったく興味がない
生協には、配達するたべもの様の情報を
きちんとだしてくれるのです。

2

②

質問 9: 地産地消(地元の野菜を食べる)に対する意識はありますか？
① 多いに意識しているし購入している ② たまに意識して購入している
③ 意識はしても購入はしない④ まったくない

質問 10: 今まで野菜を購入するときに、季節の旬の野菜を意識して購入されていますか？
① 多いに意識している ② たまに意識している ③ ほとんどしない ④まったくない

質問 11: 上記の理由を自由にご記入ください。
旬ものの方がおいしく栄養価も高く、安価であるため

質問 12: もし、ご自分で野菜を育てるときに、サポート対応(相談相手)は必要だと思いますか？
① 多いに必要 ② たまに必要 ③ 特に必要ではない ④ まったく必要ない

質問 13: もし、ご自分で野菜を育てる過程で、相談相手になってもらえる農家の人(プロ)への仲介は必要だとおもいますか？
① 多いに必要 ② たまに必要 ③ 特に必要ではない ④ まったく必要ない

質問 14: 質問 13 で、「必要ではない」と回答した方へ。理由を教えてください。
① すでに知り合いがいる ② 十分な知識がある ③ 自力で調査できる ④ 興味がない

質問 15:「食育」の一環であるプランターキットサービス(プランターに土、苗、育てたい野菜が準備された状態で、玄関まで宅配、収穫終了したら、引き取る一環サービス)があったとしたらやってみたいと思いますか？
① 是非やってみたい ② たまにやってみたい ③ 特にやりたいと思わない
④ まったくやりたくない
今もハーブやおねぎ、しそなどは育ててます。
たべて

3

③

質問 16: もし、このようなサービスがあったら、いくらくらいの価格でしたらやってみたいですか？ご自由にご記入ください。

上記の価格にした理由をご記入ください。
規模と種類に依りますが
プランター1つで 2～3,000円とか。

質問 17: お子さんやご家族のために安心、安全な食材を食べるための知識を今後も増やしていきたいとおもいますか？
① 是非増やしたい ② 機会があれば増やしたい
③ どちらでもない ④ 特に増やしたくない

以上になります。
ご多忙のところ、ご協力いただき誠にありがとうございました。
本アンケートは、大学の研究以外には使用いたしません。

慶應義塾大学大学院システムデザイン・マネジメント研究科
糸川 永利子

4

【No4】

①

食育普及サービスに関してのアンケート

質問 1: 年代を選択してください
年齢 21 歳～29 歳 (30 歳～39 歳) 40 歳～49 歳 50 歳～59 歳

質問 2: ご職業をご記入ください
専業主婦

質問 3: ご家族構成を教えてください。お子様の年齢もご記入ください。
長女 11歳 次女 9歳

質問 4: 「食育」と言う言葉に関心はありますか？
① かなりある (② 少しある) ③ 意味を知っている程度 ④ まったくない

質問 5:「食育」とは、どのようなことだと思われますか？また、実践されていることがありましたらご記入ください。
作られたものをただ食べるだけではなく、買うから「調理」するまでの行程を一緒にして、自分が食べているものには何が使われていたかなどを知ることができるようにしています。

質問 6: ご家庭で野菜を作られた経験はありますか？
① 体験農園 ②市民農園 (③家庭菜園) ④経験なし

質問 7:ご家庭で野菜を作られたことがある方へ質問です。
・始められたきっかけがありましたらお書きください
体験センターで苗をみて、育てて収穫を楽しみたいと思ったから。
・不便を感じられたことなどありましたらお書きください。
ベランダでのプランター栽培でしたので、あまり大きくならず収穫も少なめでした。

質問 8: 食品の安全性(農薬・肥料)に関する情報収集などされたことはありますか？
① 自ら調べている (② メディアからの情報をたまに聞く程度) ③ ほとんどしていない
④ まったく興味がない

2

②

質問 9: 地産地消(地元の野菜を食べる)に対する意識はありますか？
(① 多いに意識しているし購入している) ② たまに意識して購入している
③ 意識はしても購入はしない ④ まったくない

質問 10: 今まで野菜を購入するときに、季節の旬の野菜を意識して購入されていますか？
(① 多いに意識している) ② たまに意識している ③ ほとんどしない ④まったくない

質問 11: 上記の理由を自由にご記入ください。
価格も手頃で、新鮮で美味しく、旬その季節にあった献立ができるから。

質問 12: もし、ご自分で野菜を育てるときに、サポート対応(相談相手)は必要だと思いますか？
① 多いに必要 (② たまに必要) ③ 特に必要ではない ④ まったく必要ない

質問 13: もし、ご自分で野菜を育てる過程で、相談相手になってもらえる農家の人(プロ)への仲介は必要だとおもいますか？
① 多いに必要 (② たまに必要) ③ 特に必要ではない ④ まったく必要ない

質問 14: 質問 13 で、「必要ではない」と回答した方へ。理由を教えてください。
① すでに知り合いがいる ② 十分な知識がある ③ 自力で調査できる ④ 興味がない

質問 15: 「食育」の一環であるプランターキットサービス(プランターに土、苗、育てたい野菜が準備された状態で、玄関まで宅配、収穫終了したら、引き取る一環サービス)があったとしたらやってみたいと思いますか？
① 是非やってみたい (② たまにやってみたい) ③ 特にやりたいと思わない
④ まったくやりたくない

3

③

質問 16: もし、このようなサービスがあったら、いくらくらいの価格でしたらやってみたいですか？
ご自由にご記入ください。
1回に 700円～1000円 程度

上記の価格にした理由をご記入ください。
宅配などのサービス面が高価になっていると思う方が、スーパーで買う価格よりあまりに高くなってしまうと、利用するのを考えてしまう。

質問 17: お子さんやご家族のために安心、安全な食材を食べるための知識を今後も増やしていきたいとおもいますか？
① 是非増やしたい (② 機会があれば増やしたい)
③ どちらでもない ④ 特に増やしたくない

以上になります。
ご多忙のところ、ご協力いただき誠にありがとうございました。
本アンケートは、大学の研究以外には使用いたしません。

慶應義塾大学大学院システムデザイン・マネジメント研究科
糸川 永利子

4

【No5】

①

食育普及サービスに関してのアンケート

質問 1: 年代を選択してください
年齢 21 歳～29 歳 30 歳～39 歳 40 歳～49 歳 50 歳～59 歳

質問 2: ご職業をご記入ください
主婦

質問 3: ご家族構成を教えてください。お子様の年齢もご記入ください。
夫、子ども 2人 (7才、3才)

質問 4: 「食育」と言う言葉に関心はありますか？
① かなりある ② 少しある ③ 意味を知っている程度 ④ まったくない

質問 5:「食育」とは、どのようなことだと思われますか？また、実践されていることがありましたらご記入ください。
食べ物、食べることを通して、様々なことを考え学ぶこと。

質問 6: ご家庭で野菜を作られた経験はありますか？
① 体験農園 ②市民農園 ③家庭菜園 ④経験なし

質問 7:ご家庭で野菜を作られたことがある方へ質問です。
・始められたきっかけがありましたらお書きください

・不便を感じられたことなどありましたらお書きください。

質問 8: 食品の安全性(農薬・肥料)に関する情報収集などされたことはありますか？
① 自ら調べている ② メディアからの情報をたまに聞く程度 ③ ほとんどしていない
④ まったく興味がない

2

②

質問 9: 地産地消(地元の野菜を食べる)に対する意識はありますか？
① 多いに意識しているし購入している ② たまに意識して購入している
③ 意識はしても購入はしない ④ まったくない

質問 10: 今まで野菜を購入するときに、季節の旬の野菜を意識して購入されていますか？
① 多いに意識している ② たまに意識している ③ ほとんどしない ④まったくない

質問 11: 上記の理由を自由にご記入ください。
・鮮度がわかる。
・旬のものはおいしい。

質問 12: もし、ご自分で野菜を育てるときに、サポート対応(相談相手)は必要だと思いますか？
① 多いに必要 ② たまに必要 ③ 特に必要ではない ④ まったく必要ない

質問 13: もし、ご自分で野菜を育てる過程で、相談相手になってもらえる農家の人(プロ)への仲介は必要だとおもいますか？
① 多いに必要 ② たまに必要 ③ 特に必要ではない ④ まったく必要ない

質問 14: 質問 13 で、「必要ではない」と回答した方へ。理由を教えてください。
① すでに知り合いがいる ② 十分な知識がある ③ 自力で調査できる ④ 興味がない

質問 15: 「食育」の一環であるプランターキットサービス(プランターに土、苗、育てたい野菜が準備された状態で、玄関まで宅配、収穫終了したら、引き取る一環サービス)があったとしたらやってみたいと思いますか？
① 是非やってみたい ② たまにやってみたい ③ 特にやりたいと思わない
④ まったくやりたくない

3

③

質問 16: もし、このようなサービスがあったら、いくらくらいの価格でしたらやってみたいですか？
ご自由にご記入ください。
3000円前後。
上記の価格にした理由をご記入ください。
家計に無理のない程度で。

質問 17: お子さんやご家族のために安心、安全な食材を食べるための知識を今後も増やしていきたいとおもいますか？
① 是非増やしたい ② 機会があれば増やしたい
③ どちらでもない ④ 特に増やしたくない

以上になります。
ご多忙のところ、ご協力いただき誠にありがとうございました。
本アンケートは、大学の研究以外には使用いたしません。

慶應義塾大学大学院システムデザイン・マネジメント研究科
糸川 永利子

4

【No6】

①

食育普及サービスに関してのアンケート

質問 1: 年代を選択してください
年齢 21 歳～29 歳 30 歳～39 歳 (40 歳～49 歳) 50 歳～59 歳

質問 2: ご職業をご記入ください
主婦

質問 3: ご家族構成を教えてください。お子様の年齢もご記入ください。
夫・娘(6歳)

質問 4: 「食育」と言う言葉に関心はありますか?
① かなりある ② 少しある (③) 意味を知っている程度 ④ まったくない

質問 5:「食育」とは、どのようなことだと思われますか? また、実践されていることがありましたらご記入ください。
子供に ~~安全な~~ 健康について 考えさせること。
食べ物で

質問 6: ご家庭で野菜を作られた経験はありますか?
① 体験農園 ②市民農園 (③)家庭菜園 ④経験なし

質問 7:ご家庭で野菜を作られたことがある方へ質問です。
・始められたきっかけがありましたらお書きください
安全な物を安心して すぐに食べれる。
新鮮
・不便を感じられたことなどありましたらお書きください。
留守の間 枯れる。

質問 8: 食品の安全性(農薬・肥料)に関する情報収集などされたことはありますか?
① 自ら調べている (②) メディアからの情報をたまに聞く程度 ③ ほとんどしていない
④ まったく興味がない

2

②

質問 9: 地産地消(地元の野菜を食べる)に対する意識はありますか?
① 多いに意識しているし購入している (②) たまに意識して購入している
③ 意識はしても購入はしない ④ まったくない

質問 10: 今まで野菜を購入するときに、季節の旬の野菜を意識して購入されていますか?
① 多いに意識している (②) たまに意識している ③ ほとんどしない ④まったくない

質問 11: 上記の理由を自由にご記入ください。
その季節に 美味しい物を食べたいから。

質問 12: もし、ご自分で野菜を育てるときに、サポート対応(相談相手)は必要だと思いますか?
① 多いに必要 ② たまに必要 (③) 特に必要ではない ④ まったく必要ない

質問 13: もし、ご自分で野菜を育てる過程で、相談相手になってもらえる農家の人(プロ)への仲介は必要だとおもいますか?
① 多いに必要 ② たまに必要 (③) 特に必要ではない ④ まったく必要ない

質問 14: 質問 13 で、「必要ではない」と回答した方へ。理由を教えてください。
① すでに知り合いがいる ② 十分な知識がある (③) 自力で調査できる ④ 興味がない

質問 15: 「食育」の一環であるプランターキットサービス(プランターに土、苗、育てたい野菜が準備された状態で、玄関まで宅配、収穫終了したら、引き取る一環サービス)があったとしたらやってみたいと思いますか?
① 是非やってみたい (②) たまにやってみたい ③ 特にやりたいと思わない
④ まったくやりたくない

3

③

質問 16: もし、このようなサービスがあったら、いくらくらいの価格でしたらやってみたいですか?
ご自由にご記入ください。
200～1,000円
上記の価格にした理由をご記入ください。
あまり高いと買う方が安くつくから

質問 17: お子さんやご家族のために安心、安全な食材を食べるための知識を今後も増やしていきたいとおもいますか?
① 是非増やしたい (②) 機会があれば増やしたい
③ どちらでもない ④ 特に増やしたくない

以上になります。
ご多忙のところ、ご協力いただき誠にありがとうございました。
本アンケートは、大学の研究以外には使用いたしません。

慶應義塾大学大学院システムデザイン・マネジメント研究科
糸川 永利子

4

【No7】

①

食育普及サービスに関してのアンケート

質問 1: 年代を選択してください
年齢 21 歳～29 歳 (30 歳～39 歳) 40 歳～49 歳 50 歳～59 歳

質問 2: ご職業をご記入ください
経理事務

質問 3: ご家族構成を教えてください。お子様の年齢もご記入ください。
母＋子供2人（7才と6才）

質問 4: 「食育」と言う言葉に関心はありますか？
① かなりある (② 少しある) ③ 意味を知っている程度 ④ まったくない

質問 5:「食育」とは、どのようなことだと思われますか？また、実践されていることがありましたらご記入ください。
健康に
食べるという事を通して心も体も育っていく事だと思っています。
毎日3食きちんと食べ、なるべく野菜を多めに取るようにしています。

質問 6: ご家庭で野菜を作られた経験はありますか？
① 体験農園 (②市民農園) ③家庭菜園 ④経験なし

質問 7:ご家庭で野菜を作られたことがある方へ質問です。
・始められたきっかけがありましたらお書きください
私の祖父が区から畑を借りて野菜を作っていたので
その手伝いをしていました。
・不便を感じられたことなどありましたらお書きください。
天気が悪い日でも野菜の状態を見に行っていたり
していたので、それが辛かったです。

質問 8: 食品の安全性(農薬・肥料)に関する情報収集などされたことはありますか？
① 自ら調べている ② メディアからの情報をたまに聞く程度 (③ ほとんどしていない)
④ まったく興味がない

2

②

質問 9: 地産地消(地元の野菜を食べる)に対する意識はありますか？
① 多いに意識しているし購入している (② たまに意識して購入している)
③ 意識はしても購入はしない ④ まったくない

質問 10: 今まで野菜を購入するときに、季節の旬の野菜を意識して購入されていますか？
① 多いに意識している (② たまに意識している) ③ ほとんどしない ④まったくない

質問 11: 上記の理由を自由にご記入ください。
一番美味しい時期を旬というので、安くて美味しいものを
食べさせてあげたいからです。
また食べ物で季節を感じてもらいたいという思いもあります

質問 12: もし、ご自分で野菜を育てるときに、サポート対応(相談相手)は必要だと思いますか？
(① 多いに必要) ② たまに必要 ③ 特に必要ではない ④ まったく必要ない

質問 13: もし、ご自分で野菜を育てる過程で、相談相手になってもらえる農家の人(プロ)への仲介は必要だとおもいますか？
① 多いに必要 (② たまに必要) ③ 特に必要ではない ④ まったく必要ない

質問 14: 質問 13 で、「必要ではない」と回答した方へ。理由を教えてください。
① すでに知り合いがいる ② 十分な知識がある ③ 自力で調査できる ④ 興味がない

質問 15: 「食育」の一環であるプランターキットサービス(プランターに土、苗、育てたい野菜が準備された状態で、玄関まで宅配、収穫終了したら、引き取る一環サービス)があったとしたらやってみたいと思いますか？
① 是非やってみたい ② たまにやってみたい (③ 特にやりたいと思わない)
④ まったくやりたくない

3

③

質問 16: もし、このようなサービスがあったら、いくらくらいの価格でしたらやってみたいですか？
ご自由にご記入ください。
お試し価格 1,000円　2回目以降は野菜の種類に応じて1,500～2500円

上記の価格にした理由をご記入ください。
プランターで育てる野菜はどんなものなのか最初はわからないため
お手軽な金額がいいと思います。
育ててみて納得できれば多少高くても買うのではないでしょうか。

質問 17: お子さんやご家族のために安心、安全な食材を食べるための知識を今後も増やしていきたいとおもいますか？
① 是非増やしたい (② 機会があれば増やしたい)
③ どちらでもない ④ 特に増やしたくない

以上になります。
ご多忙のところ、ご協力いただき誠にありがとうございました。
本アンケートは、大学の研究以外には使用いたしません。

慶應義塾大学大学院システムデザイン・マネジメント研究科
糸川 永利子

4

【No8】

①

食育普及サービスに関してのアンケート

質問 1: 年代を選択してください
年齢 21 歳～29 歳 30 歳～39 歳 40 歳～49 歳 50 歳～59 歳

質問 2: ご職業をご記入ください
主婦

質問 3: ご家族構成を教えてください。お子様の年齢もご記入ください。
夫，子供 2人（9才，7才）
長男 次男

質問 4: 「食育」と言う言葉に関心はありますか？
① かなりある ② 少しある ③ 意味を知っている程度 ④ まったくない

質問 5:「食育」とは、どのようなことだと思われますか？また、実践されていることがありましたらご記入ください。
家庭菜園のこと？

質問 6: ご家庭で野菜を作られた経験はありますか？
① 体験農園 ②市民農園 ③家庭菜園 ④経験なし

質問 7:ご家庭で野菜を作られたことがある方へ質問です。
・始められたきっかけがありましたらお書きください

・不便を感じられたことなどありましたらお書きください。

質問 8: 食品の安全性(農薬・肥料)に関する情報収集などされたことはありますか？
① 自ら調べている ② メディアからの情報をたまに聞く程度 ③ ほとんどしていない
④ まったく興味がない

②

質問 9: 地産地消(地元の野菜を食べる)に対する意識はありますか？
① 多いに意識しているし購入している ② たまに意識して購入している
③ 意識はしても購入はしない ④ まったくない

質問 10: 今まで野菜を購入するときに、季節の旬の野菜を意識して購入されていますか？
① 多いに意識している ② たまに意識している ③ ほとんどしない ④まったくない

質問 11: 上記の理由を自由にご記入ください。
子供達に季節感をもってほしいから。

質問 12: もし、ご自分で野菜を育てるときに、サポート対応(相談相手)は必要だと思いますか？
① 多いに必要 ② たまに必要 ③ 特に必要ではない ④ まったく必要ない

質問 13: もし、ご自分で野菜を育てる過程で、相談相手になってもらえる農家の人(プロ)への仲介は必要だとおもいますか？
① 多いに必要 ② たまに必要 ③ 特に必要ではない ④ まったく必要ない

質問 14: 質問 13 で、「必要ではない」と回答した方へ。理由を教えてください。
① すでに知り合いがいる ② 十分な知識がある ③ 自力で調査できる ④ 興味がない

質問 15:「食育」の一環であるプランターキットサービス(プランターに土、苗、育てたい野菜が準備された状態で、玄関まで宅配、収穫終了したら、引き取る一環サービス)があったとしたらやってみたいと思いますか？
① 是非やってみたい ② たまにやってみたい ③ 特にやりたいと思わない
④ まったくやりたくない

3

③

質問 16: もし、このようなサービスがあったら、いくらくらいの価格でしたらやってみたいですか？
ご自由にご記入ください。
500 円

上記の価格にした理由をご記入ください。
この価格なら手頃．
興味があったとき．すぐ取りかかれる。

質問 17: お子さんやご家族のために安心、安全な食材を食べるための知識を今後も増やしていきたいとおもいますか？
① 是非増やしたい ② 機会があれば増やしたい
③ どちらでもない ④ 特に増やしたくない

以上になります。
ご多忙のところ、ご協力いただき誠にありがとうございました。
本アンケートは、大学の研究以外には使用いたしません。

慶應義塾大学大学院システムデザイン・マネジメント研究科
糸川 永利子

4

【No9】

①

食育普及サービスに関してのアンケート

質問 1: 年代を選択してください
年齢 21 歳～29 歳 30 歳～39 歳 40 歳～49 歳 50 歳～59 歳

質問 2: ご職業をご記入ください

主婦

質問 3: ご家族構成を教えてください。お子様の年齢もご記入ください。

夫 長男(12才) 長女(10才)

質問 4: 「食育」と言う言葉に関心はありますか？
① かなりある ② 少しある ③ 意味を知っている程度 ④ まったくない

質問 5:「食育」とは、どのようなことだと思われますか？また、実践されていることがありましたらご記入ください。

・バランスの良い食事を摂り 心も身体も健康になること。
・朝食は必ず食べ 食材には旬の物(野菜や果物)を取り入れるようにする。

質問 6: ご家庭で野菜を作られた経験はありますか？
① 体験農園 ②市民農園 ③家庭菜園 ④経験なし

質問 7:ご家庭で野菜を作られたことがある方へ質問です。
・始められたきっかけがありましたらお書きください

・不便を感じられたことなどありましたらお書きください。

質問 8: 食品の安全性(農薬・肥料)に関する情報収集などされたことはありますか？
① 自ら調べている ② メディアからの情報をたまに聞く程度 ③ ほとんどしていない
④ まったく興味がない

2

②

質問 9: 地産地消(地元の野菜を食べる)に対する意識はありますか？
① 多いに意識しているし購入している ② たまに意識して購入している
③ 意識はしても購入はしない ④ まったくない

質問 10: 今まで野菜を購入するときに、季節の旬の野菜を意識して購入されていますか？
① 多いに意識している ② たまに意識している ③ ほとんどしない ④まったくない

質問 11: 上記の理由を自由にご記入ください。

今はいつでも欲しい野菜が購入でき どの野菜が旬なのか
分からないですが(特に子ども達)その季節にできる野菜を食べる
事は人の身体にも良い(栄養がある)物と思っているので子どもに教える事も考えて購入しています。

質問 12: もし、ご自分で野菜を育てるときに、サポート対応(相談相手)は必要だと思いますか？
① 多いに必要 ② たまに必要 ③ 特に必要ではない ④ まったく必要ない

質問 13: もし、ご自分で野菜を育てる過程で、相談相手になってもらえる農家の人(プロ)への仲介は必要だとおもいますか？
① 多いに必要 ② たまに必要 ③ 特に必要ではない ④ まったく必要ない

質問 14: 質問 13 で、「必要ではない」と回答した方へ。理由を教えてください。
① すでに知り合いがいる ② 十分な知識がある ③ 自力で調査できる ④ 興味がない

質問 15:「食育」の一環であるプランターキットサービス(プランターに土、苗、育てたい野菜が準備された状態で、玄関まで宅配、収穫終了したら、引き取る一環サービス)があったとしたらやってみたいと思いますか？
① 是非やってみたい ② たまにやってみたい ③ 特にやりたいと思わない
④ まったくやりたくない

3

③

質問 16: もし、このようなサービスがあったら、いくらくらいの価格でしたらやってみたいですか？
ご自由にご記入ください。

1種類の野菜(1つのプランター)のセットで千円位まで。

上記の価格にした理由をご記入ください。

初めて体験するので あまり高額な(良い物だと分かっていても)
金額は支払えないが 収穫までできれば 設定される金額でも
利用できるかも。 お試し価格的な意味での価格設定。

質問 17: お子さんやご家族のために安心、安全な食材を食べるための知識を今後も増やしていきたいとおもいますか？
① 是非増やしたい ② 機会があれば増やしたい
③ どちらでもない ④ 特に増やしたくない

以上になります。
ご多忙のところ、ご協力いただき誠にありがとうございました。
本アンケートは、大学の研究以外には使用いたしません。

慶應義塾大学大学院システムデザイン・マネジメント研究科
糸川 永利子

4

【No10】

①

食育普及サービスに関してのアンケート

質問 1: 年代を選択してください
年齢 21 歳～29 歳 30 歳～39 歳 40 歳～49 歳 50 歳～59 歳

質問 2: ご職業をご記入ください
専業主婦

質問 3: ご家族構成を教えてください。お子様の年齢もご記入ください。
夫，子供二人（14才，8才）

質問 4: 「食育」と言う言葉に関心はありますか？
① かなりある ② 少しある ③ 意味を知っている程度 ④ まったくない

質問 5:「食育」とは、どのようなことだと思われますか？また、実践されていることがありましたらご記入ください。
食に関する教育。
子供と一緒に料理をする。
買い物や食事の時に今は何が旬なのかを教える。

質問 6: ご家庭で野菜を作られた経験はありますか？
① 体験農園 ②市民農園 ③家庭菜園 ④経験なし

質問 7:ご家庭で野菜を作られたことがある方へ質問です。
・始められたきっかけがありましたらお書きください

・不便を感じられたことなどありましたらお書きください。

質問 8: 食品の安全性(農薬・肥料)に関する情報収集などされたことはありますか？
① 自ら調べている ② メディアからの情報をたまに聞く程度 ③ ほとんどしていない
④ まったく興味がない

2

②

質問 9: 地産地消(地元の野菜を食べる)に対する意識はありますか？
① 多いに意識しているし購入している ② たまに意識して購入している
③ 意識はしても購入はしない ④ まったくない

質問 10: 今まで野菜を購入するときに、季節の旬の野菜を意識して購入されていますか？
① 多いに意識している ② たまに意識している ③ ほとんどしない ④まったくない

質問 11: 上記の理由を自由にご記入ください。
旬のものはおいしく、安いから。
季節を感じられるから。

質問 12: もし、ご自分で野菜を育てるときに、サポート対応(相談相手)は必要だと思いますか？
① 多いに必要 ② たまに必要 ③ 特に必要ではない ④ まったく必要ない

質問 13: もし、ご自分で野菜を育てる過程で、相談相手になってもらえる農家の人(プロ)への仲介は必要だとおもいますか？
① 多いに必要 ② たまに必要 ③ 特に必要ではない ④ まったく必要ない

質問 14: 質問 13 で、「必要ではない」と回答した方へ。理由を教えてください。
① すでに知り合いがいる ② 十分な知識がある ③ 自力で調査できる ④ 興味がない

質問 15:「食育」の一環であるプランターキットサービス(プランターに土、苗、育てたい野菜が準備された状態で、玄関まで宅配、収穫終了したら、引き取る一環サービス)があったとしたらやってみたいと思いますか？
① 是非やってみたい ② たまにやってみたい ③ 特にやりたいと思わない
④ まったくやりたくない

3

③

質問 16: もし、このようなサービスがあったら、いくらくらいの価格でしたらやってみたいですか？
ご自由にご記入ください。
3000円以下（いろいろな野菜がセットで）

上記の価格にした理由をご記入ください。
あまり高いと試してみにくい。

質問 17: お子さんやご家族のために安心、安全な食材を食べるための知識を今後も増やしていきたいとおもいますか？
① 是非増やしたい ② 機会があれば増やしたい
③ どちらでもない ④ 特に増やしたくない

以上になります。
ご多忙のところ、ご協力いただき誠にありがとうございました。
本アンケートは、大学の研究以外には使用いたしません。

慶應義塾大学大学院システムデザイン・マネジメント研究科
糸川 永利子

4

【No11】

①

食育普及サービスに関してのアンケート

質問1: 年代を選択してください
年齢 21歳～29歳 30歳～39歳 40歳～49歳 50歳～59歳

質問2: ご職業をご記入ください
大学院生

質問3: ご家族構成を教えてください。お子様の年齢もご記入ください。
親子三人。4才6才

質問4: 「食育」と言う言葉に関心はありますか？
① かなりある ② 少しある ③ 意味を知っている程度 ④ まったくない

質問5:「食育」とは、どのようなことだと思われますか？また、実践されていることがありましたらご記入ください。
健康で、栄養バランスをとれた食事で子どもを育てることと思っております。
実践をしてません。

質問6: ご家庭で野菜を作られた経験はありますか？
① 体験農園 ②市民農園 ③家庭菜園 ④経験なし
自給自足でしたから。

質問7:ご家庭で野菜を作られたことがある方へ質問です。
・始められたきっかけがありましたらお書きください
小さい頃から経験がありますので、
家庭菜園が大好きです。
・不便を感じられたことなどありましたらお書きください。
菜園場所がありません。

質問8: 食品の安全性(農薬・肥料)に関する情報収集などされたことはありますか？
① 自ら調べている ② メディアからの情報をたまに聞く程度 ③ ほとんどしていない
④ まったく興味がない

2

②

9: 地産地消(地元の野菜を食べる)に対する意識はありますか？
① 多いに意識しているし購入している ② たまに意識して購入している
③ 意識はしても購入はしない ④ まったくない

10: 今まで野菜を購入するときに、季節の旬の野菜を意識して購入されていますか？
① 多いに意識している ② たまに意識している ③ ほとんどしない ④まったくない

11: 上記の理由を自由にご記入ください。
旬の野菜がだんだん分かりにくくなってきているため(1年中野菜が手に入りやすいため)

12: もし、ご自分で野菜を育てるときに、サポート対応(相談相手)は必要だと思いますか？
① 多いに必要 ② たまに必要 ③ 特に必要ではない ④ まったく必要ない

13: もし、ご自分で野菜を育てる過程で、相談相手になってもらえる農家の人(プロ)への仲介は必要だとおもいますか？
① 多いに必要 ② たまに必要 ③ 特に必要ではない ④ まったく必要ない

14: 質問13で、「必要ではない」と回答した方へ。理由を教えてください。
① すでに知り合いがいる ② 十分な知識がある ③ 自力で調査できる ④ 興味がない

15:「食育」の一環であるプランターキットサービス(プランターに土、苗、育てたい野菜が準備された状態で、玄関まで宅配、収穫終了したら、引き取る一環サービス)があったとしたらやってみたいと思いますか？
① 是非やってみたい ② たまにやってみたい ③ 特にやりたいと思わない
④ まったくやりたくない

3

③

質問16: もし、このようなサービスがあったら、いくらくらいの価格でしたらやってみたいですか？
ご自由にご記入ください。
1はち1000円

上記の価格にした理由をご記入ください。
手軽にとりくめるうだから

質問17: お子さんやご家族のために安心、安全な食材を食べるための知識を今後も増やしていきたいとおもいますか？
① 是非増やしたい ② 機会があれば増やしたい
③ どちらでもない ④ 特に増やしたくない

以上になります。
ご多忙のところ、ご協力いただき誠にありがとうございました。
本アンケートは、大学の研究以外には使用いたしません。

慶應義塾大学大学院システムデザイン・マネジメント研究科
糸川 永利子

4

【No12】

①

食育普及サービスに関してのアンケート

質問 1: 年代を選択してください
年齢 21 歳～29 歳 30 歳～39 歳 40 歳～49 歳 50 歳～59 歳

質問 2: ご職業をご記入ください
大学院生

質問 3: ご家族構成を教えてください。お子様の年齢もご記入ください。
親子 三人。 小学 6才

質問 4: 「食育」と言う言葉に関心はありますか？
① かなりある ② 少しある ③ 意味を知っている程度 ④ まったくない

質問 5:「食育」とは、どのようなことだと思われますか？また、実践されていることがありましたらご記入ください。
健康で、栄養バランスをとれた食事で子どもを育てることと思っております
実践をしてません。

質問 6: ご家庭で野菜を作られた経験はありますか？
① 体験農園 ②市民農園 ③家庭菜園 ④経験なし
自給自足でしたから.

質問 7:ご家庭で野菜を作られたことがある方へ質問です。
・始められたきっかけがありましたらお書きください
小さい頃から経験がありますので.
家庭菜園が大好きです。
・不便を感じられたことなどありましたらお書きください。
菜園場所がありません。

質問 8: 食品の安全性(農薬・肥料)に関する情報収集などされたことはありますか？
① 自ら調べている ② メディアからの情報をたまに聞く程度 ③ ほとんどしていない
④ まったく興味がない

2

②

質問 9: 地産地消(地元の野菜を食べる)に対する意識はありますか？
① 多いに意識しているし購入している ② たまに意識して購入している
③ 意識はしても購入はしない ④ まったくない
自給自足ですから

質問 10: 今まで野菜を購入するときに、季節の旬の野菜を意識して購入されていますか？
① 多いに意識している ② たまに意識している ③ ほとんどしない ④まったくない

質問 11: 上記の理由を自由にご記入ください。
できれば安全性の高いものをかいたいけど、高いので、
あきらめることが多い。

質問 12: もし、ご自分で野菜を育てるときに、サポート対応(相談相手)は必要だと思いますか？
① 多いに必要 ② たまに必要 ③ 特に必要ではない ④ まったく必要ない

質問 13: もし、ご自分で野菜を育てる過程で、相談相手になってもらえる農家の人(プロ)への仲介は必要だとおもいますか？
① 多いに必要 ② たまに必要 ③ 特に必要ではない ④ まったく必要ない

質問 14: 質問 13 で、「必要ではない」と回答した方へ。理由を教えてください。
① すでに知り合いがいる ② 十分な知識がある ③ 自力で調査できる ④ 興味がない

質問 15:「食育」の一環であるプランターキットサービス(プランターに土、苗、育てたい野菜が準備された状態で、玄関まで宅配、収穫終了したら、引き取る一環サービス)があったとしたらやってみたいと思いますか？
① 是非やってみたい ② たまにやってみたい ③ 特にやりたいと思わない
④ まったくやりたくない

③

質問 16: もし、このようなサービスがあったら、いくらくらいの価格でしたらやってみたいですか？
ご自由にご記入ください。
できれば安い方がうれしいです。(市販より安い方が)
上記の価格にした理由をご記入ください。
育てるのは自分ですから.

質問 17: お子さんやご家族のために安心、安全な食材を食べるための知識を今後も増やしていきたいとおもいますか？
① 是非増やしたい ② 機会があれば増やしたい
③ どちらでもない ④ 特に増やしたくない

以上になります。
ご多忙のところ、ご協力いただき誠にありがとうございました。
本アンケートは、大学の研究以外には使用いたしません。

慶應義塾大学大学院システムデザイン・マネジメント研究科
糸川 永利子

4

【No13】

①

食育普及サービスに関してのアンケート

質問 1: 年代を選択してください
年齢 21 歳～29 歳 30 歳～39 歳 40 歳～49 歳 50 歳～59 歳

質問 2: ご職業をご記入ください
会社員

質問 3: ご家族構成を教えてください。お子様の年齢もご記入ください。
主人. 息子 1人 (7歳)

質問 4: 「食育」と言う言葉に関心はありますか？
① かなりある ② 少しある ③ 意味を知っている程度 ④ まったくない

質問 5:「食育」とは、どのようなことだと思われますか？また、実践されていることがありましたらご記入ください。
食事を通しはぐり色々と学ぶ (楽しく食事を残さず色々な物を食べる)
庭で野菜を作ったりしています.

質問 6: ご家庭で野菜を作られた経験はありますか？
① 体験農園 ②市民農園 ③家庭菜園 ④経験なし
庭で自己流.

質問 7:ご家庭で野菜を作られたことがある方へ質問です。
・始められたきっかけがありましたらお書きください
祖父母の影響.

・不便を感じられたことなどありましたらお書きください。

質問 8: 食品の安全性(農薬・肥料)に関する情報収集などされたことはありますか？
① 自ら調べている ② メディアからの情報をたまに聞く程度 ③ ほとんどしていない
④ まったく興味がない

2

②

質問 9: 地産地消(地元の野菜を食べる)に対する意識はありますか？
① 多いに意識しているし購入している ② たまに意識して購入している
③ 意識はしても購入はしない ④ まったくない

質問 10: 今まで野菜を購入するときに、季節の旬の野菜を意識して購入されていますか？
① 多いに意識している ② たまに意識している ③ ほとんどしない ④まったくない

質問 11: 上記の理由を自由にご記入ください。
おいしい

質問 12: もし、ご自分で野菜を育てるときに、サポート対応(相談相手)は必要だと思いますか？
① 多いに必要 ② たまに必要 ③ 特に必要ではない ④ まったく必要ない

質問 13: もし、ご自分で野菜を育てる過程で、相談相手になってもらえる農家の人(プロ)への仲介は必要だとおもいますか？
① 多いに必要 ② たまに必要 ③ 特に必要ではない ④ まったく必要ない

質問 14: 質問 13 で、「必要ではない」と回答した方へ。理由を教えてください。
① すでに知り合いがいる ② 十分な知識がある ③ 自力で調査できる ④ 興味がない

質問 15:「食育」の一環であるプランターキットサービス(プランターに土、苗、育てたい野菜が準備された状態で、玄関まで宅配、収穫終了したら、引き取る一環サービス)があったとしたらやってみたいと思いますか？
① 是非やってみたい ② たまにやってみたい ③ 特にやりたいと思わない
④ まったくやりたくない

3

③

質問 16: もし、このようなサービスがあったら、いくらくらいの価格でしたらやってみたいですか？
ご自由にご記入ください。
無料

上記の価格にした理由をご記入ください。

質問 17: お子さんやご家族のために安心、安全な食材を食べるための知識を今後も増やしていきたいとおもいますか？
① 是非増やしたい ② 機会があれば増やしたい
③ どちらでもない ④ 特に増やしたくない

以上になります。
ご多忙のところ、ご協力いただき誠にありがとうございました。
本アンケートは、大学の研究以外には使用いたしません。

慶應義塾大学大学院システムデザイン・マネジメント研究科
糸川 永利子

4

【No14】

①

食育普及サービスに関してのアンケート

質問 1: 年代を選択してください
年齢 21 歳～29 歳 30 歳～39 歳 40 歳～49 歳 50 歳～59 歳

質問 2: ご職業をご記入ください
主婦

質問 3: ご家族構成を教えてください。お子様の年齢もご記入ください。
父 母 娘2人（6才、3才）

質問 4: 「食育」と言う言葉に関心はありますか？
① かなりある ② 少しある ③ 意味を知っている程度 ④ まったくない

質問 5:「食育」とは、どのようなことだと思われますか？また、実践されていることがありましたらご記入ください。

質問 6: ご家庭で野菜を作られた経験はありますか？
① 体験農園 ②市民農園 ③家庭菜園 ④経験なし

質問 7:ご家庭で野菜を作られたことがある方へ質問です。
・始められたきっかけがありましたらお書きください
夫が植えて行こうとした…

・不便を感じられたことなどありましたらお書きください。
日当りが悪く育たない。

質問 8: 食品の安全性(農薬・肥料)に関する情報収集などされたことはありますか？
① 自ら調べている ② メディアからの情報をたまに聞く程度 ③ ほとんどしていない
④ まったく興味がない

2

②

質問 9: 地産地消(地元の野菜を食べる)に対する意識はありますか？
① 多いに意識しているし購入している ② たまに意識して購入している
③ 意識はしても購入はしない ④ まったくない

質問 10: 今まで野菜を購入するときに、季節の旬の野菜を意識して購入されていますか？
① 多いに意識している ② たまに意識している ③ ほとんどしない ④まったくない

質問 11: 上記の理由を自由にご記入ください。
隣の野菜の方がおいしいかと思って…

質問 12: もし、ご自分で野菜を育てるときに、サポート対応(相談相手)は必要だと思いますか？
① 多いに必要 ② たまに必要 ③ 特に必要ではない ④ まったく必要ない

質問 13: もし、ご自分で野菜を育てる過程で、相談相手になってもらえる農家の人(プロ)への仲介は必要だとお思いますか？
① 多いに必要 ② たまに必要 ③ 特に必要ではない ④ まったく必要ない

質問 14: 質問 13 で、「必要ではない」と回答した方へ。理由を教えてください。
① すでに知り合いがいる ② 十分な知識がある ③ 自力で調査できる ④ 興味がない

質問 15:「食育」の一環であるプランターキットサービス(プランターに土、苗、育てたい野菜が準備された状態で、玄関まで宅配、収穫終了したら、引き取る一環サービス)があったとしたらやってみたいと思いますか？
① 是非やってみたい ② たまにやってみたい ③ 特にやりたいと思わない
④ まったくやりたくない

3

③

質問 16: もし、このようなサービスがあったら、いくらくらいの価格でしたらやってみたいですか？
ご自由にご記入ください。
¥1000～2000程度

上記の価格にした理由をご記入ください。
家計にひびかない

質問 17: お子さんやご家族のために安心、安全な食材を食べるための知識を今後も増やしていきたいとおもいますか？
① 是非増やしたい ② 機会があれば増やしたい
③ どちらでもない ④ 特に増やしたくない

以上になります。
ご多忙のところ、ご協力いただき誠にありがとうございました。
本アンケートは、大学の研究以外には使用いたしません。

慶應義塾大学大学院システムデザイン・マネジメント研究科
糸川 永利子

4

【No15】

①

食育普及サービスに関してのアンケート

質問 1: 年代を選択してください
年齢 21 歳～29 歳 30 歳～39 歳 40 歳～49 歳 50 歳～59 歳

質問 2: ご職業をご記入ください
専業主婦

質問 3: ご家族構成を教えてください。お子様の年齢もご記入ください。
長男 12才 長女 7才
次男 9才 三男 5才

質問 4: 「食育」と言う言葉に関心はありますか？
① かなりある ② 少しある ③ 意味を知っている程度 ④ まったくない

質問 5:「食育」とは、どのようなことだと思われますか？また、実践されていることがありましたらご記入ください。

質問 6: ご家庭で野菜を作られた経験はありますか？
① 体験農園 ②市民農園 ③家庭菜園 ④経験なし

質問 7:ご家庭で野菜を作られたことがある方へ質問です。
・始められたきっかけがありましたらお書きください

・不便を感じられたことなどありましたらお書きください。

質問 8: 食品の安全性(農薬・肥料)に関する情報収集などされたことはありますか？
① 自ら調べている ② メディアからの情報をたまに聞く程度 ③ ほとんどしていない
④ まったく興味がない

2

②

質問 9: 地産地消(地元の野菜を食べる)に対する意識はありますか？
① 多いに意識しているし購入している ② たまに意識して購入している
③ 意識はしても購入はしない④ まったくない

質問 10: 今まで野菜を購入するときに、季節の旬の野菜を意識して購入されていますか？
① 多いに意識している ② たまに意識している ③ ほとんどしない ④まったくない

質問 11: 上記の理由を自由にご記入ください。
旬のものは おいしいを思うので

質問 12: もし、ご自分で野菜を育てるときに、サポート対応(相談相手)は必要だと思いますか？
① 多いに必要 ② たまに必要 ③ 特に必要ではない ④ まったく必要ない

質問 13: もし、ご自分で野菜を育てる過程で、相談相手になってもらえる農家の人(プロ)への仲介は必要だとおもいますか？
① 多いに必要 ② たまに必要 ③ 特に必要ではない ④ まったく必要ない

質問 14: 質問 13 で、「必要ではない」と回答した方へ。理由を教えてください。
① すでに知り合いがいる ② 十分な知識がある ③ 自力で調査できる ④ 興味がない

質問 15:「食育」の一環であるプランターキットサービス(プランターに土、苗、育てたい野菜が準備された状態で、玄関まで宅配、収穫終了したら、引き取る一環サービス)があったとしたらやってみたいと思いますか？
① 是非やってみたい ② たまにやってみたい ③ 特にやりたいと思わない
④ まったくやりたくない

③

質問 16: もし、このようなサービスがあったら、いくらくらいの価格でしたらやってみたいですか？
ご自由にご記入ください。
¥3,000 ～

上記の価格にした理由をご記入ください。
これくらいだったら

質問 17: お子さんやご家族のために安心、安全な食材を食べるための知識を今後も増やしていきたいとおもいますか？
① 是非増やしたい ② 機会があれば増やしたい
③ どちらでもない ④ 特に増やしたくない

以上になります。
ご多忙のところ、ご協力いただき誠にありがとうございました。
本アンケートは、大学の研究以外には使用いたしません。

慶應義塾大学大学院システムデザイン・マネジメント研究科
糸川 永利子

4

【No16】 ①

食育普及サービスに関してのアンケート

質問 1: 年代を選択してください
年齢 21 歳～29 歳 30 歳～39 歳 40 歳～49 歳 50 歳～59 歳

質問 2: ご職業をご記入ください
主婦

質問 3: ご家族構成を教えてください。お子様の年齢もご記入ください。
自分、夫、長男（6才）次男（3才）長女（2才）

質問 4: 「食育」と言う言葉に関心はありますか？
① かなりある ② 少しある ③ 意味を知っている程度 ④ まったくない

質問 5:「食育」とは、どのようなことだと思われますか？また、実践されていることがありましたらご記入ください。
食を通して、生命を養ったり、食事（食物）の背景を知る事で学ぶことが多いので、教育の1つと思う

質問 6: ご家庭で野菜を作られた経験はありますか？
① 体験農園 ②市民農園 ③家庭菜園 ④経験なし

質問 7:ご家庭で野菜を作られたことがある方へ質問です。
・始められたきっかけがありましたらお書きください

・不便を感じられたことなどありましたらお書きください。

質問 8: 食品の安全性(農薬・肥料)に関する情報収集などされたことはありますか？
① 自ら調べている ② メディアからの情報をたまに聞く程度 ③ ほとんどしていない
④ まったく興味がない

2

②

質問 9: 地産地消(地元の野菜を食べる)に対する意識はありますか？
① 多いに意識しているし購入している ② たまに意識して購入している
③ 意識はしても購入はしない ④ まったくない

質問 10: 今まで野菜を購入するときに、季節の旬の野菜を意識して購入されていますか？
① 多いに意識している ② たまに意識している ③ ほとんどしない ④まったくない

質問 11: 上記の理由を自由にご記入ください。

質問 12: もし、ご自分で野菜を育てるときに、サポート対応(相談相手)は必要だと思いますか？
① 多いに必要 ② たまに必要 ③ 特に必要ではない ④ まったく必要ない

質問 13: もし、ご自分で野菜を育てる過程で、相談相手になってもらえる農家の人(プロ)への仲介は必要だとおもいますか？
① 多いに必要 ② たまに必要 ③ 特に必要ではない ④ まったく必要ない

質問 14: 質問 13 で、「必要ではない」と回答した方へ。理由を教えてください。
① すでに知り合いがいる ② 十分な知識がある ③ 自力で調査できる ④ 興味がない

質問 15:「食育」の一環であるプランターキットサービス(プランターに土、苗、育てたい野菜が準備された状態で、玄関まで宅配、収穫終了したら、引き取る一環サービス)があったとしたらやってみたいと思いますか？
① 是非やってみたい ② たまにやってみたい ③ 特にやりたいと思わない
④ まったくやりたくない

3

③

質問 16: もし、このようなサービスがあったら、いくらくらいの価格でしたらやってみたいですか？
ご自由にご記入ください。
1000円位

上記の価格にした理由をご記入ください。
特にナシ

質問 17: お子さんやご家族のために安心、安全な食材を食べるための知識を今後も増やしていきたいとおもいますか？
① 是非増やしたい ② 機会があれば増やしたい
③ どちらでもない ④ 特に増やしたくない

以上になります。
ご多忙のところ、ご協力いただき誠にありがとうございました。
本アンケートは、大学の研究以外には使用いたしません。

慶應義塾大学大学院システムデザイン・マネジメント研究科
糸川 永利子

4

【No17】

①

食育普及サービスに関してのアンケート

質問 1: 年代を選択してください
年齢 21 歳～29 歳 30 歳～39 歳 40 歳～49 歳 50 歳～59 歳

質問 2: ご職業をご記入ください
主婦

質問 3: ご家族構成を教えてください。お子様の年齢もご記入ください。
夫婦2人と娘一人(16才・小1)

質問 4: 「食育」と言う言葉に関心はありますか？
① かなりある ② 少しある ③ 意味を知っている程度 ④ まったくない

質問 5:「食育」とは、どのようなことだと思われますか？また、実践されていることがありましたらご記入ください。
食事というのは、単に子供に必要な栄養を与えることではなく、
食に関するあらゆることを通して、子供の体の成長のみならず、精神的な成長に
関わっていくという考え方。
お弁当もなるべく冷凍食品は使わずに手作りするようにしたり、季節の野菜を使ったり
肉類、炭水化物バランスよくを意識し
子供に料理を手伝ったり
買い物に一緒に行ったり

質問 6: ご家庭で野菜を作られた経験はありますか？
① 体験農園 ②市民農園 ③家庭菜園 ④経験なし

質問 7:ご家庭で野菜を作られたことがある方へ質問です。
・始められたきっかけがありましたらお書きください

・不便を感じられたことなどありましたらお書きください。

質問 8: 食品の安全性(農薬・肥料)に関する情報収集などされたことはありますか？
① 自ら調べている ② メディアからの情報をたまに聞く程度 ③ ほとんどしていない
④ まったく興味がない

③

質問 16: もし、このようなサービスがあったら、いくらくらいの価格でしたらやってみたいですか？
ご自由にご記入ください。

上記の価格にした理由をご記入ください。

質問 17: お子さんやご家族のために安心、安全な食材を食べるための知識を今後も増やしていきたいとおもいますか？
① 是非増やしたい ② 機会があれば増やしたい
③ どちらでもない ④ 特に増やしたくない

以上になります。
ご多忙のところ、ご協力いただき誠にありがとうございました。
本アンケートは、大学の研究以外には使用いたしません。

慶應義塾大学大学院システムデザイン・マネジメント研究科
糸川 永利子

4

②

質問 9: 地産地消(地元の野菜を食べる)に対する意識はありますか？
① 多いに意識しているし購入している ② たまに意識して購入している
③ 意識はしても購入はしない ④ まったくない

質問 10: 今まで野菜を購入するときに、季節の旬の野菜を意識して購入されていますか？
① 多いに意識している ② たまに意識している ③ ほとんどしない ④まったくない

質問 11: 上記の理由を自由にご記入ください。
旬の野菜は美味しく 値段も安い 食卓に季節感が出る
自宅の近くにJAの経営する野菜売り場があり 地元の農家さんとの
新鮮野菜が並ぶので時々利用します。

質問 12: もし、ご自分で野菜を育てるときに、サポート対応(相談相手)は必要だと思いますか？
① 多いに必要 ② たまに必要 ③ 特に必要ではない ④ まったく必要ない

質問 13: もし、ご自分で野菜を育てる過程で、相談相手になってもらえる農家の人(プロ)への仲介は必要だとおもいますか？
① 多いに必要 ② たまに必要 ③ 特に必要ではない ④ まったく必要ない

質問 14: 質問 13 で、「必要ではない」と回答した方へ。理由を教えてください。
① すでに知り合いがいる ② 十分な知識がある ③ 自力で調査できる ④ 興味がない

質問 15: 「食育」の一環であるプランターキットサービス(プランターに土、苗、育てたい野菜が準備された状態で、玄関まで宅配、収穫終了したら、引き取る一環サービス)があったとしたらやってみたいと思いますか？
① 是非やってみたい ② たまにやってみたい ③ 特にやりたいと思わない
④ まったくやりたくない

3

【No18】

①

食育普及サービスに関してのアンケート

質問1: 年代を選択してください
年齢 21歳～29歳 30歳～39歳 40歳～49歳 50歳～59歳

質問2: ご職業をご記入ください
主婦

質問3: ご家族構成を教えてください。お子様の年齢もご記入ください。
父、母、子 6才(クオ)

質問4: 「食育」と言う言葉に関心はありますか？
① かなりある ② 少しある ③ 意味を知っている程度 ④ まったくない

質問5:「食育」とは、どのようなことだと思われますか？また、実践されていることがありましたらご記入ください。
心の教育

質問6: ご家庭で野菜を作られた経験はありますか？
① 体験農園 ②市民農園 ③家庭菜園 ④経験なし

質問7:ご家庭で野菜を作られたことがある方へ質問です。
・始められたきっかけがありましたらお書きください
・近所の人みんなやっている。
・お庭があるので子供と遊べる。

・不便を感じられたことなどありましたらお書きください。
・臭がくさくて

質問8: 食品の安全性(農薬・肥料)に関する情報収集などされたことはありますか？
① 自ら調べている ② メディアからの情報をたまに聞く程度 ③ ほとんどしていない
④ まったく興味がない

②

質問9: 地産地消(地元の野菜を食べる)に対する意識はありますか？
① 多いに意識しているし購入している ② たまに意識して購入している
③ 意識はしても購入はしない ④ まったくない

質問10: 今まで野菜を購入するときに、季節の旬の野菜を意識して購入されていますか？
① 多いに意識している ② たまに意識している ③ ほとんどしない ④まったくない

質問11: 上記の理由を自由にご記入ください。
・体にいい

質問12: もし、ご自分で野菜を育てるときに、サポート対応(相談相手)は必要だと思いますか？
① 多いに必要 ② たまに必要 ③ 特に必要ではない ④ まったく必要ない

質問13: もし、ご自分で野菜を育てる過程で、相談相手になってもらえる農家の人(プロ)への仲介は必要だとおもいますか？
① 多いに必要 ② たまに必要 ③ 特に必要ではない ④ まったく必要ない

質問14: 質問13で、「必要ではない」と回答した方へ。理由を教えてください。
① すでに知り合いがいる ② 十分な知識がある ③ 自力で調査できる ④ 興味がない

質問15: 「食育」の一環であるプランターキットサービス(プランターに土、苗、育てたい野菜が準備された状態で、玄関まで宅配、収穫終了したら、引き取る一環サービス)があったとしたらやってみたいと思いますか？
① 是非やってみたい ② たまにやってみたい ③ 特にやりたいと思わない
④ まったくやりたくない

3

③

質問16: もし、このようなサービスがあったら、いくらくらいの価格でしたらやってみたいですか？
ご自由にご記入ください。

上記の価格にした理由をご記入ください。

質問17: お子さんやご家族のために安心、安全な食材を食べるための知識を今後も増やしていきたいとおもいますか？
① 是非増やしたい ② 機会があれば増やしたい
③ どちらでもない ④ 特に増やしたくない

以上になります。
ご多忙のところ、ご協力いただき誠にありがとうございました。
本アンケートは、大学の研究以外には使用いたしません。

慶應義塾大学大学院システムデザイン・マネジメント研究科
糸川 永利子

4

【No19】

①

食育普及サービスに関してのアンケート

質問 1: 年代を選択してください
年齢 21 歳～29 歳 30 歳～39 歳 40 歳～49 歳 50 歳～59 歳

質問 2: ご職業をご記入ください
パート

質問 3: ご家族構成を教えてください。お子様の年齢もご記入ください。
夫 子供 8才、6才

質問 4: 「食育」と言う言葉に関心はありますか？
① かなりある ② 少しある ③ 意味を知っている程度 ④ まったくない

質問 5:「食育」とは、どのようなことだと思われますか？また、実践されていることがありましたらご記入ください。
自然のもの 旬のもの・安全なもの を

質問 6: ご家庭で野菜を作られた経験はありますか？
① 体験農園 ②市民農園 ③家庭菜園 ④経験なし

質問 7:ご家庭で野菜を作られたことがある方へ質問です。
・始められたきっかけがありましたらお書きください

・不便を感じられたことなどありましたらお書きください。

質問 8: 食品の安全性(農薬・肥料)に関する情報収集などされたことはありますか？
① 自ら調べている ② メディアからの情報をたまに聞く程度 ③ ほとんどしていない
④ まったく興味がない

②

質問 9: 地産地消(地元の野菜を食べる)に対する意識はありますか？
① 多いに意識しているし購入している ② たまに意識して購入している
③ 意識はしても購入はしない ④ まったくない

質問 10: 今まで野菜を購入するときに、季節の旬の野菜を意識して購入されていますか？
① 多いに意識している ② たまに意識している ③ ほとんどしない ④まったくない

質問 11: 上記の理由を自由にご記入ください。
季節感 を大事にしたい

質問 12: もし、ご自分で野菜を育てるときに、サポート対応(相談相手)は必要だと思いますか？
① 多いに必要 ② たまに必要 ③ 特に必要ではない ④ まったく必要ない

質問 13: もし、ご自分で野菜を育てる過程で、相談相手になってもらえる農家の人(プロ)への仲介は必要だとおもいますか？
① 多いに必要 ② たまに必要 ③ 特に必要ではない ④ まったく必要ない

質問 14: 質問 13 で、「必要ではない」と回答した方へ。理由を教えてください。
① すでに知り合いがいる ② 十分な知識がある ③ 自力で調査できる ④ 興味がない

質問 15: 「食育」の一環であるプランターキットサービス(プランターに土、苗、育てたい野菜が準備された状態で、玄関まで宅配、収穫終了したら、引き取る一環サービス)があったとしたらやってみたいと思いますか？
① 是非やってみたい ② たまにやってみたい ③ 特にやりたいと思わない
④ まったくやりたくない

3

③

質問 16: もし、このようなサービスがあったら、いくらくらいの価格でしたらやってみたいですか？
ご自由にご記入ください。

上記の価格にした理由をご記入ください。

質問 17: お子さんやご家族のために安心、安全な食材を食べるための知識を今後も増やしていきたいとおもいますか？
① 是非増やしたい ② 機会があれば増やしたい
③ どちらでもない ④ 特に増やしたくない

以上になります。
ご多忙のところ、ご協力いただき誠にありがとうございました。
本アンケートは、大学の研究以外には使用いたしません。

慶應義塾大学大学院システムデザイン・マネジメント研究科
糸川 永利子

4

【No20】

①

食育普及サービスに関してのアンケート

質問 1: 年代を選択してください
年齢 21 歳～29 歳 30 歳～39 歳 40 歳～49 歳 50 歳～59 歳

質問 2: ご職業をご記入ください

主婦

質問 3: ご家族構成を教えてください。お子様の年齢もご記入ください。

3名 五男 7才

質問 4: 「食育」と言う言葉に関心はありますか？
① かなりある ② 少しある ③ 意味を知っている程度 ④ まったくない

質問 5:「食育」とは、どのようなことだと思われますか？また、実践されていることがありましたらご記入ください。

できるだけ、素材を生かして、工夫して たべさせ
親子共に 一緒に育っていくことだと思います

質問 6: ご家庭で野菜を作られた経験はありますか？
① 体験農園 ②市民農園 ③家庭菜園 ④経験なし

質問 7:ご家庭で野菜を作られたことがある方へ質問です。
・始められたきっかけがありましたらお書きください

なし

・不便を感じられたことなどありましたらお書きください。

スペースがあまりない

質問 8: 食品の安全性(農薬・肥料)に関する情報収集などされたことはありますか？
① 自ら調べている ② メディアからの情報をたまに聞く程度 ③ ほとんどしていない
④ まったく興味がない

2

②

質問 9: 地産地消(地元の野菜を食べる)に対する意識はありますか？
① 多いに意識しているし購入している ② たまに意識して購入している
③ 意識はしても購入はしない④ まったくない

質問 10: 今まで野菜を購入するときに、季節の旬の野菜を意識して購入されていますか？
① 多いに意識している ② たまに意識している ③ ほとんどしない ④まったくない

質問 11: 上記の理由を自由にご記入ください。

日本人だから

質問 12: もし、ご自分で野菜を育てるときに、サポート対応(相談相手)は必要だと思いますか？
① 多いに必要 ② たまに必要 ③ 特に必要ではない ④ まったく必要ない

質問 13: もし、ご自分で野菜を育てる過程で、相談相手になってもらえる農家の人(プロ)への仲介は必要だとおもいますか？
① 多いに必要 ② たまに必要 ③ 特に必要ではない ④ まったく必要ない

質問 14: 質問 13 で、「必要ではない」と回答した方へ。理由を教えてください。
① すでに知り合いがいる ② 十分な知識がある ③ 自力で調査できる ④ 興味がない

質問 15:「食育」の一環であるプランターキットサービス(プランターに土、苗、育てたい野菜が準備された状態で、玄関まで宅配、収穫終了したら、引き取る一環サービス)があったとしたらやってみたいと思いますか？
① 是非やってみたい ② たまにやってみたい ③ 特にやりたいと思わない
④ まったくやりたくない

3

③

質問 16: もし、このようなサービスがあったら、いくらくらいの価格でしたらやってみたいですか？
ご自由にご記入ください。

上記の価格にした理由をご記入ください。

質問 17: お子さんやご家族のために安心、安全な食材を食べるための知識を今後も増やしていきたいとおもいますか？
① 是非増やしたい ② 機会があれば増やしたい
③ どちらでもない ④ 特に増やしたくない

以上になります。
ご多忙のところ、ご協力いただき誠にありがとうございました。
本アンケートは、大学の研究以外には使用いたしません。

慶應義塾大学大学院システムデザイン・マネジメント研究科
糸川 永利子

4

【No21】

①

食育普及サービスに関してのアンケート

質問 1: 年代を選択してください
年齢 21 歳～29 歳 30 歳～39 歳 40 歳～49 歳 50 歳～59 歳

質問 2: ご職業をご記入ください
主婦

質問 3: ご家族構成を教えてください。お子様の年齢もご記入ください。
4人（主人、私、男子（7才）男子（3才）

質問 4: 「食育」と言う言葉に関心はありますか？
① かなりある ② 少しある ③ 意味を知っている程度 ④ まったくない

質問 5:「食育」とは、どのようなことだと思われますか？また、実践されていることがありましたらご記入ください。
バランスよく何でも食べるようにしている

質問 6: ご家庭で野菜を作られた経験はありますか？
① 体験農園 ②市民農園 ③家庭菜園 ④経験なし

質問 7:ご家庭で野菜を作られたことがある方へ質問です。
・始められたきっかけがありましたらお書きください
ミニトマトなど食べられる野菜を作ってみたかった

・不便を感じられたことなどありましたらお書きください。

質問 8: 食品の安全性(農薬・肥料)に関する情報収集などされたことはありますか？
① 自ら調べている ② メディアからの情報をたまに聞く程度 ③ ほとんどしていない
④ まったく興味がない

②

質問 9: 地産地消(地元の野菜を食べる)に対する意識はありますか？
① 多いに意識しているし購入している ② たまに意識して購入している
③ 意識はしても購入はしない ④ まったくない

質問 10: 今まで野菜を購入するときに、季節の旬の野菜を意識して購入されていますか？
① 多いに意識している ② たまに意識している ③ ほとんどしない ④まったくない

質問 11: 上記の理由を自由にご記入ください。
子供に季節のものを食べさせたい

質問 12: もし、ご自分で野菜を育てるときに、サポート対応(相談相手)は必要だと思いますか？
① 多いに必要 ② たまに必要 ③ 特に必要ではない ④ まったく必要ない

質問 13: もし、ご自分で野菜を育てる過程で、相談相手になってもらえる農家の人(プロ)への仲介は必要だとおもいますか？
① 多いに必要 ② たまに必要 ③ 特に必要ではない ④ まったく必要ない

質問 14: 質問 13 で、「必要ではない」と回答した方へ。理由を教えてください。
① すでに知り合いがいる ② 十分な知識がある ③ 自力で調査できる ④ 興味がない

質問 15: 「食育」の一環であるプランターキットサービス(プランターに土、苗、育てたい野菜が準備された状態で、玄関まで宅配、収穫終了したら、引き取る一環サービス)があったとしたらやってみたいと思いますか？
① 是非やってみたい ② たまにやってみたい ③ 特にやりたいと思わない
④ まったくやりたくない

3

③

質問 16: もし、このようなサービスがあったら、いくらくらいの価格でしたらやってみたいですか？
ご自由にご記入ください。
?

上記の価格にした理由をご記入ください。

質問 17: お子さんやご家族のために安心、安全な食材を食べるための知識を今後も増やしていきたいとおもいますか？
① 是非増やしたい ② 機会があれば増やしたい
③ どちらでもない ④ 特に増やしたくない

以上になります。
ご多忙のところ、ご協力いただき誠にありがとうございました。
本アンケートは、大学の研究以外には使用いたしません。

慶應義塾大学大学院システムデザイン・マネジメント研究科
糸川 永利子

4

【No22】

①

食育普及サービスに関してのアンケート

質問 1: 年代を選択してください
年齢 21 歳～29 歳 30 歳～39 歳 40 歳～49 歳 50 歳～59 歳

質問 2: ご職業をご記入ください
パート

質問 3: ご家族構成を教えてください。お子様の年齢もご記入ください。
7才・12才

質問 4: 「食育」と言う言葉に関心はありますか？
① かなりある ② 少しある ③ 意味を知っている程度 ④ まったくない

質問 5:「食育」とは、どのようなことだと思われますか？また、実践されていることがありましたらご記入ください。

質問 6: ご家庭で野菜を作られた経験はありますか？
① 体験農園 ②市民農園 ③家庭菜園 ④経験なし

質問 7:ご家庭で野菜を作られたことがある方へ質問です。
・始められたきっかけがありましたらお書きください

・不便を感じられたことなどありましたらお書きください。

質問 8: 食品の安全性(農薬・肥料)に関する情報収集などされたことはありますか？
① 自ら調べている ② メディアからの情報をたまに聞く程度 ③ ほとんどしていない
④ まったく興味がない

2

②

質問 9: 地産地消(地元の野菜を食べる)に対する意識はありますか？
① 多いに意識しているし購入している ② たまに意識して購入している
③ 意識はしても購入はしない ④ まったくない

質問 10: 今まで野菜を購入するときに、季節の旬の野菜を意識して購入されていますか？
① 多いに意識している ② たまに意識している ③ ほとんどしない ④まったくない

質問 11: 上記の理由を自由にご記入ください。

質問 12: もし、ご自分で野菜を育てるときに、サポート対応(相談相手)は必要だと思いますか？
① 多いに必要 ② たまに必要 ③ 特に必要ではない ④ まったく必要ない

質問 13: もし、ご自分で野菜を育てる過程で、相談相手になってもらえる農家の人(プロ)への仲介は必要だとおもいますか？
① 多いに必要 ② たまに必要 ③ 特に必要ではない ④ まったく必要ない

質問 14: 質問 13 で、「必要ではない」と回答した方へ。理由を教えてください。
① すでに知り合いがいる ② 十分な知識がある ③ 自力で調査できる ④ 興味がない

質問 15:「食育」の一環であるプランターキットサービス(プランターに土、苗、育てたい野菜が準備された状態で、玄関まで宅配、収穫終了したら、引き取る一環サービス)があったとしたらやってみたいと思いますか？
① 是非やってみたい ② たまにやってみたい ③ 特にやりたいと思わない
④ まったくやりたくない

3

③

質問 16: もし、このようなサービスがあったら、いくらくらいの価格でしたらやってみたいですか？
ご自由にご記入ください。

上記の価格にした理由をご記入ください。

質問 17: お子さんやご家族のために安心、安全な食材を食べるための知識を今後も増やしていきたいとおもいますか？
① 是非増やしたい ② 機会があれば増やしたい
③ どちらでもない ④ 特に増やしたくない

以上になります。
ご多忙のところ、ご協力いただき誠にありがとうございました。
本アンケートは、大学の研究以外には使用いたしません。

慶應義塾大学大学院システムデザイン・マネジメント研究科
糸川 永利子

4

【No23】

①

食育普及サービスに関してのアンケート

質問 1: 年代を選択してください
年齢 21 歳～29 歳 30 歳～39 歳 40 歳～49 歳 50 歳～59 歳

質問 2: ご職業をご記入ください
主婦

質問 3: ご家族構成を教えてください。お子様の年齢もご記入ください。
夫. 長女. 次女. 三女

質問 4: 「食育」と言う言葉に関心はありますか？
① かなりある ② 少しある ③ 意味を知っている程度 ④ まったくない

質問 5:「食育」とは、どのようなことだと思われますか？また、実践されていることがありましたらご記入ください。

質問 6: ご家庭で野菜を作られた経験はありますか？
① 体験農園 ②市民農園 ③家庭菜園 ④経験なし

質問 7:ご家庭で野菜を作られたことがある方へ質問です。
・始められたきっかけがありましたらお書きください

・不便を感じられたことなどありましたらお書きください。

質問 8: 食品の安全性(農薬・肥料)に関する情報収集などされたことはありますか？
① 自ら調べている ② メディアからの情報をたまに聞く程度 ③ ほとんどしていない
④ まったく興味がない

2

②

質問 9: 地産地消(地元の野菜を食べる)に対する意識はありますか？
① 多いに意識しているし購入している ② たまに意識して購入している
③ 意識はしても購入はしない④ まったくない

質問 10: 今まで野菜を購入するときに、季節の旬の野菜を意識して購入されていますか？
① 多いに意識している ② たまに意識している ③ ほとんどしない ④まったくない

質問 11: 上記の理由を自由にご記入ください。

質問 12: もし、ご自分で野菜を育てるときに、サポート対応(相談相手)は必要だと思いますか？
① 多いに必要 ② たまに必要 ③ 特に必要ではない ④ まったく必要ない

質問 13: もし、ご自分で野菜を育てる過程で、相談相手になってもらえる農家の人(プロ)への仲介は必要だとおもいますか？
① 多いに必要 ② たまに必要 ③ 特に必要ではない ④ まったく必要ない

質問 14: 質問 13 で、「必要ではない」と回答した方へ。理由を教えてください。
① すでに知り合いがいる ② 十分な知識がある ③ 自力で調査できる ④ 興味がない

質問 15:「食育」の一環であるプランターキットサービス(プランターに土、苗、育てたい野菜が準備された状態で、玄関まで宅配、収穫終了したら、引き取る一環サービス)があったとしたらやってみたいと思いますか？
① 是非やってみたい ② たまにやってみたい ③ 特にやりたいと思わない
④ まったくやりたくない

③

質問 16: もし、このようなサービスがあったら、いくらくらいの価格でしたらやってみたいですか？
ご自由にご記入ください。

上記の価格にした理由をご記入ください。

質問 17: お子さんやご家族のために安心、安全な食材を食べるための知識を今後も増やしていきたいとおもいますか？
① 是非増やしたい ② 機会があれば増やしたい
③ どちらでもない ④ 特に増やしたくない

以上になります。
ご多忙のところ、ご協力いただき誠にありがとうございました。
本アンケートは、大学の研究以外には使用いたしません。

慶應義塾大学大学院システムデザイン・マネジメント研究科
糸川 永利子

4

【No24】

①

食育普及サービスに関してのアンケート

質問 1: 年代を選択してください
年齢 21 歳～29 歳 30 歳～39 歳 40 歳～49 歳 50 歳～59 歳

質問 2: ご職業をご記入ください
無職（専業主婦）

質問 3: ご家族構成を教えてください。お子様の年齢もご記入ください。
夫 自分 女児 7才

質問 4: 「食育」と言う言葉に関心はありますか？
① かなりある ② 少しある ③ 意味を知っている程度 ④ まったくない

質問 5:「食育」とは、どのようなことだと思われますか？また、実践されていることがありましたらご記入ください。
食を通して、個人の生活を意識し改善してゆく。
（7才の女の子では当り前とも言えますが）買物・調理のお手伝
田舎では、野菜の世話・収穫。 大切に食べること。

質問 6: ご家庭で野菜を作られた経験はありますか？
① 体験農園 ②市民農園 ③家庭菜園 ④経験なし

質問 7:ご家庭で野菜を作られたことがある方へ質問です。
・始められたきっかけがありましたらお書きください

・不便を感じられたことなどありましたらお書きください。

質問 8: 食品の安全性(農薬・肥料)に関する情報収集などされたことはありますか？
① 自ら調べている ② メディアからの情報をたまに聞く程度 ③ ほとんどしていない
④ まったく興味がない
出荷前に使われる農薬の基準を大学で知った後は、
調べたりしていない。

③

質問 16: もし、このようなサービスがあったら、いくらくらいの価格でしたらやってみたいですか？
ご自由にご記入ください。

上記の価格にした理由をご記入ください。

質問 17: お子さんやご家族のために安心、安全な食材を食べるための知識を今後も増やしていきたいとおもいますか？
① 是非増やしたい ② 機会があれば増やしたい
③ どちらでもない ④ 特に増やしたくない

以上になります。
ご多忙のところ、ご協力いただき誠にありがとうございました。
本アンケートは、大学の研究以外には使用いたしません。

慶應義塾大学大学院システムデザイン・マネジメント研究科
糸川 永利子

興味は大切で必要と思いますが、
自分で食べものを作るという形だけでなく、
作った方とCommunicationを取ったり、
作っている方を信頼する…ということも大切だと思っています。

食べる時、なす胡瓜も皮を剥いています。

4

②

質問 9: 地産地消（地元の野菜を食べる）に対する意識はありますか？
① 多いに意識しているし購入している ② たまに意識して購入している
③ 意識はしても購入はしない ④ まったくない

質問 10: 今まで野菜を購入するときに、季節の旬の野菜を意識して購入されていますか？
① 多いに意識している ② たまに意識している ③ ほとんどしない ④まったくない

質問 11: 上記の理由を自由にご記入ください。
栄養価が高いと思うから

質問 12: もし、ご自分で野菜を育てるときに、サポート対応（相談相手）は必要だと思いますか？
① 多いに必要 ② たまに必要 ③ 特に必要ではない ④ まったく必要ない

質問 13: もし、ご自分で野菜を育てる過程で、相談相手になってもらえる農家の人（プロ）への仲介は必要だとおもいますか？
① 多いに必要 ② たまに必要 ③ 特に必要ではない ④ まったく必要ない

質問 14: 質問 13 で、「必要ではない」と回答した方へ。理由を教えてください。
① すでに知り合いがいる ② 十分な知識がある ③ 自力で調査できる ④ 興味がない
農家の仲介に限定する必要を感じない。

質問 15: 「食育」の一環であるプランターキットサービス（プランターに土、苗、育てたい野菜が準備された状態で、玄関まで宅配、収穫終了したら、引き取る一環サービス）があったとしたらやってみたいと思いますか？
① 是非やってみたい ② たまにやってみたい ③ 特にやりたいと思わない
④ まったくやりたくない

ごめんなさい
個人的事情で、お世話が苦手で
子どもで精一杯

3

【No25】

①

食育普及サービスに関してのアンケート

質問 1: 年代を選択してください
年齢 21 歳～29 歳 30 歳～39 歳 40 歳～49 歳 50 歳～59 歳

質問 2: ご職業をご記入ください
主婦

質問 3: ご家族構成を教えてください。お子様の年齢もご記入ください。
9才・6才

質問 4: 「食育」と言う言葉に関心はありますか？
① かなりある ② 少しある ③ 意味を知っている程度 ④ まったくない

質問 5:「食育」とは、どのようなことだと思われますか？また、実践されていることがありましたらご記入ください。
特に実践していないが
メニューを気にして、バランスを考えている。

質問 6: ご家庭で野菜を作られた経験はありますか？
① 体験農園 ②市民農園 ③家庭菜園 ④経験なし

質問 7:ご家庭で野菜を作られたことがある方へ質問です。
・始められたきっかけがありましたらお書きください
実家で畑があり野菜を作っていたので

・不便を感じられたことなどありましたらお書きください。

質問 8: 食品の安全性(農薬・肥料)に関する情報収集などされたことはありますか？
① 自ら調べている ② メディアからの情報をたまに聞く程度 ③ ほとんどしていない
④ まったく興味がない

2

②

質問 9: 地産地消(地元の野菜を食べる)に対する意識はありますか？
① 多いに意識しているし購入している ② たまに意識して購入している
③ 意識はしても購入はしない ④ まったくない

質問 10: 今まで野菜を購入するときに、季節の旬の野菜を意識して購入されていますか？
① 多いに意識している ② たまに意識している ③ ほとんどしない ④まったくない

質問 11: 上記の理由を自由にご記入ください。
子供に旬の物をお教えるため

質問 12: もし、ご自分で野菜を育てるときに、サポート対応(相談相手)は必要だと思いますか？
① 多いに必要 ② たまに必要 ③ 特に必要ではない ④ まったく必要ない

質問 13: もし、ご自分で野菜を育てる過程で、相談相手になってもらえる農家の人(プロ)への仲介は必要だとおもいますか？
① 多いに必要 ② たまに必要 ③ 特に必要ではない ④ まったく必要ない

質問 14: 質問 13 で、「必要ではない」と回答した方へ、理由を教えてください。
① すでに知り合いがいる ② 十分な知識がある ③ 自力で調査できる ④ 興味がない

質問 15: 「食育」の一環であるプランターキットサービス(プランターに土、苗、育てたい野菜が準備された状態で、玄関までご宅配、収穫終了したら、引き取る一環サービス)があったとしたらやってみたいと思いますか？
① 是非やってみたい ② たまにやってみたい ③ 特にやりたいと思わない
④ まったくやりたくない

3

③

質問 16: もし、このようなサービスがあったら、いくらくらいの価格でしたらやってみたいですか？
ご自由にご記入ください。

上記の価格にした理由をご記入ください。

質問 17: お子さんやご家族のために安心、安全な食材を食べるための知識を今後も増やしていきたいとおもいますか？
① 是非増やしたい ② 機会があれば増やしたい
③ どちらでもない ④ 特に増やしたくない

以上になります。
ご多忙のところ、ご協力いただき誠にありがとうございました。
本アンケートは、大学の研究以外には使用いたしません。

慶應義塾大学大学院システムデザイン・マネジメント研究科
糸川 永利子

4

【No26】

①

食育普及サービスに関してのアンケート

質問 1: 年代を選択してください
年齢 21 歳～29 歳 30 歳～39 歳 40 歳～49 歳 50 歳～59 歳

質問 2: ご職業をご記入ください
主婦

質問 3: ご家族構成を教えてください。お子様の年齢もご記入ください。
夫婦＋子供2人（10才、7才）

質問 4: 「食育」と言う言葉に関心はありますか？
① かなりある ② 少しある ③ 意味を知っている程度 ④ まったくない

質問 5:「食育」とは、どのようなことだと思われますか？また、実践されていることがありましたらご記入ください。
食べ物のにまつわるいろいろなことに興味を持たせること

質問 6: ご家庭で野菜を作られた経験はありますか？
① 体験農園 ②市民農園 ③家庭菜園 ④経験なし

質問 7:ご家庭で野菜を作られたことがある方へ質問です。
・始められたきっかけがありましたらお書きください

・不便を感じられたことなどありましたらお書きください。

質問 8: 食品の安全性(農薬・肥料)に関する情報収集などされたことはありますか？
① 自ら調べている ② メディアからの情報をたまに聞く程度 ③ ほとんどしていない
④ まったく興味がない

②

質問 9: 地産地消(地元の野菜を食べる)に対する意識はありますか？
① 多いに意識しているし購入している ② たまに意識して購入している
③ 意識はしても購入はしない ④ まったくない

質問 10: 今まで野菜を購入するときに、季節の旬の野菜を意識して購入されていますか？
① 多いに意識している ② たまに意識している ③ ほとんどしない ④まったくない

質問 11: 上記の理由を自由にご記入ください。

質問 12: もし、ご自分で野菜を育てるときに、サポート対応(相談相手)は必要だと思いますか？
① 多いに必要 ② たまに必要 ③ 特に必要ではない ④ まったく必要ない

質問 13: もし、ご自分で野菜を育てる過程で、相談相手になってもらえる農家の人(プロ)への仲介は必要だとおもいますか？
① 多いに必要 ② たまに必要 ③ 特に必要ではない ④ まったく必要ない

質問 14: 質問 13 で、「必要ではない」と回答した方へ、理由を教えてください。
① すでに知り合いがいる ② 十分な知識がある ③ 自力で調査できる ④ 興味がない

質問 15: 「食育」の一環であるプランターキットサービス(プランターに土、苗、育てたい野菜が準備された状態で、玄関まで宅配、収穫終了したら、引き取る一環サービス)があったとしたらやってみたいと思いますか？
① 是非やってみたい ② たまにやってみたい ③ 特にやりたいと思わない
④ まったくやりたくない

3

③

質問 16: もし、このようなサービスがあったら、いくらくらいの価格でしたらやってみたいですか？
ご自由にご記入ください。

上記の価格にした理由をご記入ください。

質問 17: お子さんやご家族のために安心、安全な食材を食べるための知識を今後も増やしていきたいとおもいますか？
① 是非増やしたい ② 機会があれば増やしたい
③ どちらでもない ④ 特に増やしたくない

以上になります。
ご多忙のところ、ご協力いただき誠にありがとうございました。
本アンケートは、大学の研究以外には使用いたしません。

慶應義塾大学大学院システムデザイン・マネジメント研究科
糸川 永利子

4

【No27】

①

食育普及サービスに関してのアンケート

質問 1: 年代を選択してください
年齢 21 歳～29 歳 30 歳～39 歳 40 歳～49 歳 50 歳～59 歳

質問 2: ご職業をご記入ください
主婦

質問 3: ご家族構成を教えてください。お子様の年齢もご記入ください。
父・母・長男(11才)・次男(8才)

質問 4: 「食育」と言う言葉に関心はありますか？
① かなりある ② 少しある ③ 意味を知っている程度 ④ まったくない

質問 5:「食育」とは、どのようなことだと思われますか？また、実践されていることがありましたらご記入ください。
安心で安全な食べ物を理解し、そのような食事で育てち　ということ？

質問 6: ご家庭で野菜を作られた経験はありますか？
① 体験農園 ②市民農園 ③家庭菜園 ④経験なし

質問 7:ご家庭で野菜を作られたことがある方へ質問です。
・始められたきっかけがありましたらお書きください

・不便を感じられたことなどありましたらお書きください。

質問 8: 食品の安全性(農薬・肥料)に関する情報収集などされたことはありますか？
① 自ら調べている ② メディアからの情報をたまに聞く程度 ③ ほとんどしていない
④ まったく興味がない

②

質問 9: 地産地消(地元の野菜を食べる)に対する意識はありますか？
① 多いに意識しているし購入している ② たまに意識して購入している
③ 意識はしても購入はしない④ まったくない

質問 10: 今まで野菜を購入するときに、季節の旬の野菜を意識して購入されていますか？
① 多いに意識している ② たまに意識している ③ ほとんどしない ④まったくない

質問 11: 上記の理由を自由にご記入ください。
旬の野菜が一番おいしく、体にも良いから。

質問 12: もし、ご自分で野菜を育てるときに、サポート対応(相談相手)は必要だと思いますか？
① 多いに必要 ② たまに必要 ③ 特に必要ではない ④ まったく必要ない

質問 13: もし、ご自分で野菜を育てる過程で、相談相手になってもらえる農家の人(プロ)への仲介は必要だとおもいますか？
① 多いに必要 ② たまに必要 ③ 特に必要ではない ④ まったく必要ない

質問 14: 質問 13 で、「必要ではない」と回答した方へ。理由を教えてください。
① すでに知り合いがいる ② 十分な知識がある ③ 自力で調査できる ④ 興味がない

質問 15: 「食育」の一環であるプランターキットサービス(プランターに土、苗、育てたい野菜が準備された状態で、玄関まで宅配、収穫終了したら、引き取る一環サービス)があったとしたらやってみたいと思いますか？
① 是非やってみたい ② たまにやってみたい ③ 特にやりたいと思わない
④ まったくやりたくない

3

③

質問 16: もし、このようなサービスがあったら、いくらくらいの価格でしたらやってみたいですか？
ご自由にご記入ください。

上記の価格にした理由をご記入ください。

質問 17: お子さんやご家族のために安心、安全な食材を食べるための知識を今後も増やしていきたいとおもいますか？
① 是非増やしたい ② 機会があれば増やしたい
③ どちらでもない ④ 特に増やしたくない

以上になります。
ご多忙のところ、ご協力いただき誠にありがとうございました。
本アンケートは、大学の研究以外には使用いたしません。

慶應義塾大学大学院システムデザイン・マネジメント研究科
糸川 永利子

4

【No28】

①

食育普及サービスに関してのアンケート

質問 1: 年代を選択してください
年齢 21 歳～29 歳 30 歳～39 歳 40 歳～49 歳 50 歳～59 歳

質問 2: ご職業をご記入ください

主婦

質問 3: ご家族構成を教えてください。お子様の年齢もご記入ください。

父親 子(女)10才
母親・ 子(男)7才

質問 4: 「食育」と言う言葉に関心はありますか？
① かなりある ② 少しある ③ 意味を知っている程度 ④ まったくない

質問 5:「食育」とは、どのようなことだと思われますか？また、実践されていることがありましたらご記入ください。

親の手作りで
味、色 など 考えて 楽しい 食事をつくる

質問 6: ご家庭で野菜を作られた経験はありますか？
① 体験農園 ②市民農園 ③家庭菜園 ④経験なし

質問 7:ご家庭で野菜を作られたことがある方へ質問です。
・始められたきっかけがありましたらお書きください

子どもが 好きだから。

・不便を感じられたことなどありましたらお書きください。

質問 8: 食品の安全性(農薬・肥料)に関する情報収集などされたことはありますか？
① 自ら調べている ② メディアからの情報をたまに聞く程度 ③ ほとんどしていない
④ まったく興味がない

2

②

質問 9: 地産地消(地元の野菜を食べる)に対する意識はありますか？
① 多いに意識しているし購入している ② たまに意識して購入している
③ 意識はしても購入はしない ④ まったくない

質問 10: 今まで野菜を購入するときに、季節の旬の野菜を意識して購入されていますか？
① 多いに意識している ② たまに意識している ③ ほとんどしない ④まったくない

質問 11: 上記の理由を自由にご記入ください。

旬の お野菜は おいしいから。
季節を 感じるから。

質問 12: もし、ご自分で野菜を育てるときに、サポート対応(相談相手)は必要だと思いますか？
① 多いに必要 ② たまに必要 ③ 特に必要ではない ④ まったく必要ない

質問 13: もし、ご自分で野菜を育てる過程で、相談相手になってもらえる農家の人(プロ)への仲介は必要だとおもいますか？
① 多いに必要 ② たまに必要 ③ 特に必要ではない ④ まったく必要ない

質問 14: 質問 13 で、「必要ではない」と回答した方へ。理由を教えてください。
① すでに知り合いがいる ② 十分な知識がある ③ 自力で調査できる ④ 興味がない

質問 15:「食育」の一環であるプランターキットサービス(プランターに土、苗、育てたい野菜が準備された状態で、玄関まで宅配、収穫終了したら、引き取る一環サービス)があったとしたらやってみたいと思いますか？
① 是非やってみたい ② たまにやってみたい ③ 特にやりたいと思わない
④ まったくやりたくない

3

③

質問 16: もし、このようなサービスがあったら、いくらくらいの価格でしたらやってみたいですか？
ご自由にご記入ください。

上記の価格にした理由をご記入ください。

質問 17: お子さんやご家族のために安心、安全な食材を食べるための知識を今後も増やしていきたいとおもいますか？
① 是非増やしたい ② 機会があれば増やしたい
③ どちらでもない ④ 特に増やしたくない

以上になります。
ご多忙のところ、ご協力いただき誠にありがとうございました。
本アンケートは、大学の研究以外には使用いたしません。

慶應義塾大学大学院システムデザイン・マネジメント研究科
糸川 永利子

4

【No29】

①

食育普及サービスに関してのアンケート

質問 1: 年代を選択してください
年齢 21 歳～29 歳 30 歳～39 歳 40 歳～49 歳 50 歳～59 歳

質問 2: ご職業をご記入ください

主婦

質問 3: ご家族構成を教えてください。お子様の年齢もご記入ください。

[illegible]

質問 4: 「食育」と言う言葉に関心はありますか？
① かなりある ② 少しある ③ 意味を知っている程度 ④ まったくない

質問 5:「食育」とは、どのようなことだと思われますか？また、実践されていることがありましたらご記入ください。

質問 6: ご家庭で野菜を作られた経験はありますか？
① 体験農園 ②市民農園 ③家庭菜園 ④経験なし

質問 7:ご家庭で野菜を作られたことがある方へ質問です。
・始められたきっかけがありましたらお書きください

・不便を感じられたことなどありましたらお書きください。

質問 8: 食品の安全性(農薬・肥料)に関する情報収集などされたことはありますか？
① 自ら調べている ② メディアからの情報をたまに聞く程度 ③ ほとんどしていない
④ まったく興味がない

2

②

質問 9: 地産地消(地元の野菜を食べる)に対する意識はありますか？
① 多いに意識しているし購入している ② たまに意識して購入している
③ 意識はしても購入はしない④ まったくない

質問 10: 今まで野菜を購入するときに、季節の旬の野菜を意識して購入されていますか？
① 多いに意識している ② たまに意識している ③ ほとんどしない ④まったくない

質問 11: 上記の理由を自由にご記入ください。

質問 12: もし、ご自分で野菜を育てるときに、サポート対応(相談相手)は必要だと思いますか？
① 多いに必要 ② たまに必要 ③ 特に必要ではない ④ まったく必要ない

質問 13: もし、ご自分で野菜を育てる過程で、相談相手になってもらえる農家の人(プロ)への仲介は必要だとおもいますか？
① 多いに必要 ② たまに必要 ③ 特に必要ではない ④ まったく必要ない

質問 14: 質問 13 で、「必要ではない」と回答した方へ。理由を教えてください。
① すでに知り合いがいる ② 十分な知識がある ③ 自力で調査できる ④ 興味がない

質問 15:「食育」の一環であるプランターキットサービス(プランターに土、苗、育てたい野菜が準備された状態で、玄関まで宅配、収穫終了したら、引き取る一環サービス)があったとしたらやってみたいと思いますか？
① 是非やってみたい ② たまにやってみたい ③ 特にやりたいと思わない
④ まったくやりたくない

3

③

質問 16: もし、このようなサービスがあったら、いくらくらいの価格でしたらやってみたいですか？
ご自由にご記入ください。

上記の価格にした理由をご記入ください。

質問 17: お子さんやご家族のために安心、安全な食材を食べるための知識を今後も増やしていきたいとおもいますか？
① 是非増やしたい ② 機会があれば増やしたい
③ どちらでもない ④ 特に増やしたくない

以上になります。
ご多忙のところ、ご協力いただき誠にありがとうございました。
本アンケートは、大学の研究以外には使用いたしません。

慶應義塾大学大学院システムデザイン・マネジメント研究科
糸川 永利子

4

【No30】

①

食育普及サービスに関してのアンケート

質問 1: 年代を選択してください
年齢 21 歳～29 歳 30 歳～39 歳 40 歳～49 歳 50 歳～59 歳

質問 2: ご職業をご記入ください

主婦

質問 3: ご家族構成を教えてください。お子様の年齢もご記入ください。

夫、長男(17才) 次男(11才)

質問 4: 「食育」と言う言葉に関心はありますか？
① かなりある ② 少しある ③ 意味を知っている程度 ④ まったくない

質問 5:「食育」とは、どのようなことだと思われますか？また、実践されていることがありましたらご記入ください。

栄養バランスに気を配る
自分の食べているものの、安心、安全に気を配ること

質問 6: ご家庭で野菜を作られた経験はありますか？
① 体験農園 ②市民農園 ③家庭菜園 ④経験なし

質問 7:ご家庭で野菜を作られたことがある方へ質問です。
・始められたきっかけがありましたらお書きください

知人からミニトマトの苗をもらった。

・不便を感じられたことなどありましたらお書きください。

育て方がよくわからない。
夏休みなど長期不在時に枯れる

質問 8: 食品の安全性(農薬・肥料)に関する情報収集などされたことはありますか？
① 自ら調べている ② メディアからの情報をたまに聞く程度 ③ ほとんどしていない
④ まったく興味がない

②

質問 9: 地産地消(地元の野菜を食べる)に対する意識はありますか？
① 多いに意識しているし購入している ② たまに意識して購入している
③ 意識はしても購入はしない ④ まったくない

質問 10: 今まで野菜を購入するときに、季節の旬の野菜を意識して購入されていますか？
① 多いに意識している ② たまに意識している ③ ほとんどしない ④まったくない

質問 11: 上記の理由を自由にご記入ください。

栄養が一番含まれている時期だから

質問 12: もし、ご自分で野菜を育てるときに、サポート対応(相談相手)は必要だと思いますか？
① 多いに必要 ② たまに必要 ③ 特に必要ではない ④ まったく必要ない

質問 13: もし、ご自分で野菜を育てる過程で、相談相手になってもらえる農家の人(プロ)への仲介は必要だとおもいますか？
① 多いに必要 ② たまに必要 ③ 特に必要ではない ④ まったく必要ない

質問 14: 質問 13 で、「必要ではない」と回答した方へ。理由を教えてください。
① すでに知り合いがいる ② 十分な知識がある ③ 自力で調査できる ④ 興味がない

質問 15: 「食育」の一環であるプランターキットサービス(プランターに土、苗、育てたい野菜が準備された状態で、玄関まで宅配、収穫終了したら、引き取る一環サービス)があったとしたらやってみたいと思いますか？
① 是非やってみたい ② たまにやってみたい ③ 特にやりたいと思わない
④ まったくやりたくない

3

③

質問 16: もし、このようなサービスがあったら、いくらくらいの価格でしたらやってみたいですか？
ご自由にご記入ください。

100円で種、苗が販売されているので
上記の価格にした理由をご記入ください。 とくにしたいと思わない

質問 17: お子さんやご家族のために安心、安全な食材を食べるための知識を今後も増やしていきたいとおもいますか？
① 是非増やしたい ② 機会があれば増やしたい
③ どちらでもない ④ 特に増やしたくない

以上になります。
ご多忙のところ、ご協力いただき誠にありがとうございました。
本アンケートは、大学の研究以外には使用いたしません。

慶應義塾大学大学院システムデザイン・マネジメント研究科
糸川 永利子

4

【No31】

①

食育普及サービスに関してのアンケート

質問 1: 年代を選択してください
年齢 21 歳～29 歳 30 歳～39 歳 40 歳～49 歳 50 歳～59 歳

質問 2: ご職業をご記入ください
主婦

質問 3: ご家族構成を教えてください。お子様の年齢もご記入ください。
夫婦 むすめ 7才

質問 4: 「食育」と言う言葉に関心はありますか？
① かなりある ② 少しある ③ 意味を知っている程度 ④ まったくない

質問 5:「食育」とは、どのようなことだと思われますか？また、実践されていることがありましたらご記入ください。
バランス良く食べる

質問 6: ご家庭で野菜を作られた経験はありますか？
① 体験農園 ②市民農園 ③家庭菜園 ④経験なし

質問 7:ご家庭で野菜を作られたことがある方へ質問です。
・始められたきっかけがありましたらお書きください

・不便を感じられたことなどありましたらお書きください。

質問 8: 食品の安全性(農薬・肥料)に関する情報収集などされたことはありますか？
① 自ら調べている ② メディアからの情報をたまに聞く程度 ③ ほとんどしていない
④ まったく興味がない

2

②

質問 9: 地産地消(地元の野菜を食べる)に対する意識はありますか？
① 多いに意識しているし購入している ② たまに意識して購入している
③ 意識はしても購入はしない④ まったくない

質問 10: 今まで野菜を購入するときに、季節の旬の野菜を意識して購入されていますか？
① 多いに意識している ② たまに意識している ③ ほとんどしない ④まったくない

質問 11: 上記の理由を自由にご記入ください。

質問 12: もし、ご自分で野菜を育てるときに、サポート対応(相談相手)は必要だと思いますか？
① 多いに必要 ② たまに必要 ③ 特に必要ではない ④ まったく必要ない

質問 13: もし、ご自分で野菜を育てる過程で、相談相手になってもらえる農家の人(プロ)への仲介は必要だとおもいますか？
① 多いに必要 ② たまに必要 ③ 特に必要ではない ④ まったく必要ない

質問 14: 質問 13 で、「必要ではない」と回答した方へ。理由を教えてください。
① すでに知り合いがいる ② 十分な知識がある ③ 自力で調査できる ④ 興味がない

質問 15: 「食育」の一環であるプランターキットサービス(プランターに土、苗、育てたい野菜が準備された状態で、玄関まで宅配、収穫終了したら、引き取る一環サービス)があったとしたらやってみたいと思いますか？
① 是非やってみたい ② たまにやってみたい ③ 特にやりたいと思わない
④ まったくやりたくない

3

③

質問 16: もし、このようなサービスがあったら、いくらくらいの価格でしたらやってみたいですか？
ご自由にご記入ください。

上記の価格にした理由をご記入ください。

質問 17: お子さんやご家族のために安心、安全な食材を食べるための知識を今後も増やしていきたいとおもいますか？
① 是非増やしたい ② 機会があれば増やしたい
③ どちらでもない ④ 特に増やしたくない

以上になります。
ご多忙のところ、ご協力いただき誠にありがとうございました。
本アンケートは、大学の研究以外には使用いたしません。

慶應義塾大学大学院システムデザイン・マネジメント研究科
糸川 永利子

【No32】

①

食育普及サービスに関してのアンケート

質問 1: 年代を選択してください
年齢 21 歳～29 歳 30 歳～39 歳 40 歳～49 歳 50 歳～59 歳

質問 2: ご職業をご記入ください
主婦

質問 3: ご家族構成を教えてください。お子様の年齢もご記入ください。
父・母・長男(10)・次男(7)

質問 4: 「食育」と言う言葉に関心はありますか？
① かなりある ② 少しある ③ 意味を知っている程度 ④ まったくない

質問 5:「食育」とは、どのようなことだと思われますか？また、実践されていることがありましたらご記入ください。
いろいろよく食べる

質問 6: ご家庭で野菜を作られた経験はありますか？
① 体験農園 ②市民農園 ③家庭菜園 ④経験なし

質問 7:ご家庭で野菜を作られたことがある方へ質問です。
・始められたきっかけがありましたらお書きください

・不便を感じられたことなどありましたらお書きください。

質問 8: 食品の安全性(農薬・肥料)に関する情報収集などされたことはありますか？
① 自ら調べている ② メディアからの情報をたまに聞く程度 ③ ほとんどしていない
④ まったく興味がない

②

質問 9: 地産地消(地元の野菜を食べる)に対する意識はありますか？
① 多いに意識しているし購入している ② たまに意識して購入している
③ 意識はしても購入はしない④ まったくない

質問 10: 今まで野菜を購入するときに、季節の旬の野菜を意識して購入されていますか？
① 多いに意識している ② たまに意識している ③ ほとんどしない ④まったくない

質問 11: 上記の理由を自由にご記入ください。
安くておいしいから

質問 12: もし、ご自分で野菜を育てるときに、サポート対応(相談相手)は必要だと思いますか？
① 多いに必要 ② たまに必要 ③ 特に必要ではない ④ まったく必要ない

質問 13: もし、ご自分で野菜を育てる過程で、相談相手になってもらえる農家の人(プロ)への仲介は必要だとおもいますか？
① 多いに必要 ② たまに必要 ③ 特に必要ではない ④ まったく必要ない

質問 14: 質問 13 で、「必要ではない」と回答した方へ、理由を教えてください。
① すでに知り合いがいる ② 十分な知識がある ③ 自力で調査できる ④ 興味がない

質問 15: 「食育」の一環であるプランターキットサービス(プランターに土、苗、育てたい野菜が準備された状態で、玄関まで宅配、収穫終了したら、引き取る一環サービス)があったとしたらやってみたいと思いますか？
① 是非やってみたい ② たまにやってみたい ③ 特にやりたいと思わない
④ まったくやりたくない

3

③

質問 16: もし、このようなサービスがあったら、いくらくらいの価格でしたらやってみたいですか？
ご自由にご記入ください。

上記の価格にした理由をご記入ください。

質問 17: お子さんやご家族のために安心、安全な食材を食べるための知識を今後も増やしていきたいとおもいますか？
① 是非増やしたい ② 機会があれば増やしたい
③ どちらでもない ④ 特に増やしたくない

以上になります。
ご多忙のところ、ご協力いただき誠にありがとうございました。
本アンケートは、大学の研究以外には使用いたしません。

慶應義塾大学大学院システムデザイン・マネジメント研究科
糸川 永利子

4

【No33】

①

食育普及サービスに関してのアンケート

質問 1: 年代を選択してください
年齢 21 歳～29 歳 30 歳～39 歳 40 歳～49 歳 50 歳～59 歳

質問 2: ご職業をご記入ください
主婦

質問 3: ご家族構成を教えてください。お子様の年齢もご記入ください。
夫・長男 10才，長女 6才

質問 4: 「食育」と言う言葉に関心はありますか？
① かなりある ② 少しある ③ 意味を知っている程度 ④ まったくない

質問 5:「食育」とは、どのようなことだと思われますか？また、実践されていることがありましたらご記入ください。
特になし

質問 6: ご家庭で野菜を作られた経験はありますか？
① 体験農園 ②市民農園 ③家庭菜園 ④経験なし

質問 7:ご家庭で野菜を作られたことがある方へ質問です。
・始められたきっかけがありましたらお書きください

・不便を感じられたことなどありましたらお書きください。

質問 8: 食品の安全性(農薬・肥料)に関する情報収集などされたことはありますか？
① 自ら調べている ② メディアからの情報をたまに聞く程度 ③ ほとんどしていない
④ まったく興味がない

2

②

質問 9: 地産地消(地元の野菜を食べる)に対する意識はありますか？
① 多いに意識しているし購入している ② たまに意識して購入している
③ 意識はしても購入はしない ④ まったくない

質問 10: 今まで野菜を購入するときに、季節の旬の野菜を意識して購入されていますか？
① 多いに意識している ② たまに意識している ③ ほとんどしない ④まったくない

質問 11: 上記の理由を自由にご記入ください。
旬の野菜の方が栄養価が高い。子供に季節も感じてほしいから

質問 12: もし、ご自分で野菜を育てるときに、サポート対応(相談相手)は必要だと思いますか？
① 多いに必要 ② たまに必要 ③ 特に必要ではない ④ まったく必要ない

質問 13: もし、ご自分で野菜を育てる過程で、相談相手になってもらえる農家の人(プロ)への仲介は必要だとおもいますか？
① 多いに必要 ② たまに必要 ③ 特に必要ではない ④ まったく必要ない

質問 14: 質問 13 で、「必要ではない」と回答した方へ。理由を教えてください。
① すでに知り合いがいる ② 十分な知識がある ③ 自力で調査できる ④ 興味がない

質問 15:「食育」の一環であるプランターキットサービス(プランターに土、苗、育てたい野菜が準備された状態で、玄関まで宅配、収穫終了したら、引き取る一環サービス)があったとしたらやってみたいと思いますか？
① 是非やってみたい ② たまにやってみたい ③ 特にやりたいと思わない
④ まったくやりたくない

3

③

質問 16: もし、このようなサービスがあったら、いくらくらいの価格でしたらやってみたいですか？
ご自由にご記入ください。

上記の価格にした理由をご記入ください。

質問 17: お子さんやご家族のために安心、安全な食材を食べるための知識を今後も増やしていきたいとおもいますか？
① 是非増やしたい ② 機会があれば増やしたい
③ どちらでもない ④ 特に増やしたくない

以上になります。
ご多忙のところ、ご協力いただき誠にありがとうございました。
本アンケートは、大学の研究以外には使用いたしません。

慶應義塾大学大学院システムデザイン・マネジメント研究科
糸川 永利子

4

【No34】

①

食育普及サービスに関してのアンケート

質問 1: 年代を選択してください
年齢 21 歳～29 歳 (30 歳～39 歳) 40 歳～49 歳 50 歳～59 歳

質問 2: ご職業をご記入ください
主婦

質問 3: ご家族構成を教えてください。お子様の年齢もご記入ください。
夫32才 長女 5才 次女 1才10ヶ月

質問 4: 「食育」と言う言葉に関心はありますか？
(①) かなりある ② 少しある ③ 意味を知っている程度 ④ まったくない

質問 5:「食育」とは、どのようなことだと思われますか？もし、実践されていることもありましたらご記入ください。
普段、食べているものが どのように作られ、食卓に並ぶまでの経緯を知ること、体験すること。

質問 6: ご家庭で野菜を作られた経験はありますか？
① 体験農園 ②市民農園 (③家庭菜園) ④経験なし

質問 7:質問5で①～③を選択された方へ質問です。
・始められたきっかけがありましたらお書きください
野菜が高くなったため
子供に体験させたいため。

・不便を感じられたことなどありましたらお書きください。
収穫後の処理。

質問 8: 食品の安全性(農薬・肥料)に関する情報収集などされたことはありますか？
① 自ら調べている (②) メディアからの情報をたまに聞く程度 ③ ほとんどしていない
④ まったく興味がない

2

②

質問 9: 地産地消(地元の野菜を食べる)に対する意識はありますか？
(①) 多いに意識しているし購入している ② たまに意識して購入している
③ 意識はしても購入はしない④ まったくない

質問 10: 今まで野菜を購入するときに、季節の旬の野菜を意識して購入されていますか？
(①) 多いに意識している ② たまに意識している ③ ほとんどしない ④まったくない

質問 11: 上記の理由を自由にご記入ください。

質問 12: もし、ご自分で野菜を育てるときに、サポート対応(相談相手)は必要だと思いますか？
(①) 多いに必要 ② たまに必要 ③ 特に必要ではない ④ まったく必要ない

質問 13: もし、ご自分で野菜を育てる過程で、相談相手になってもらえる農家の人(プロ)への仲介は必要だとおもいますか？
① 多いに必要 (②) たまに必要 ③ 特に必要ではない ④ まったく必要ない

質問 14: 質問 13 で、「必要ではない」と回答した方へ。理由を教えてください。
① すでに知り合いがいる ② 十分な知識がある ③ 自力で調査できる ④ 興味がない

質問 15: 「食育」の一環であるプランターキットサービス(プランターに土、苗、育てたい野菜が準備された状態で、玄関まで宅配、収穫終了したら、引き取る一環サービス)があったとしたらやってみたいと思いますか？
(①) 是非やってみたい ② たまにやってみたい ③ 特にやりたいと思わない
④ まったくやりたくない

3

③

質問 16: もし、このようなサービスがあったら、いくらくらいの価格設定でしたら受けたいですか？
ご自由にご記入ください。

上記の価格にした理由をご記入ください。
ものにもよるが、800 ～ 1,500 円

質問 17: プランターサービスを経験したうえで、市民農園(指導なし)や体験農園(指導あり)をやってみたいとおもいますか？
(①) 体験農園をやってみたい ② 市民をやってみたい
③ プランターサービスを継続したい ④ 何もやりたくない

質問 18: お子さんやご家族のために安心、安全な食材を食べるための知識を今後も増やしていきたいとおもいますか？
(①) 是非増やしたい ② 機会があれば増やしたい
③ どちらでもない ④ 特に増やしたくない

以上になります。
ご多忙のところ、ご協力いただき誠にありがとうございました。
本アンケートは、大学の研究以外には使用いたしません。

慶應義塾大学大学院システムデザインマネジメント研究科
糸川 永利子

4

【No35】

①

食育普及サービスに関してのアンケート

質問 1: 年代を選択してください
年齢 21 歳～29 歳 (30 歳～39 歳) 40 歳～49 歳 50 歳～59 歳

質問 2: ご職業をご記入ください
主婦

質問 3: ご家族構成を教えてください。お子様の年齢もご記入ください。
長男 6才 ・夫・

質問 4: 「食育」と言う言葉に関心はありますか？
① かなりある (②) 少しある ③ 意味を知っている程度 ④ まったくない

質問 5:「食育」とは、どのようなことだと思われますか？また、実践されていることがありましたらご記入ください。
子供が どのように野菜ができていくのか知り 農業者
体に害のない物を食べる事

質問 6: ご家庭で野菜を作られた経験はありますか？
① 体験農園 ②市民農園 (③)家庭菜園 ④経験なし

質問 7:ご家庭で野菜を作られたことがある方へ質問です。
・始められたきっかけがありましたらお書きください
子供と育てたいので

・不便を感じられたことなどありましたらお書きください。
育てる面があったりした

質問 8: 食品の安全性(農薬・肥料)に関する情報収集などされたことはありますか？
① 自ら調べている ② メディアからの情報をたまに聞く程度 (③) ほとんどしていない
④ まったく興味がない

2

③

質問 16: もし、このようなサービスがあったら、いくらくらいの価格でしたらやってみたいですか？
ご自由にご記入ください。
500～1500円

上記の価格にした理由をご記入ください。
スペースが狭い。一つの野菜に2株までみたいなので この位かな？

質問 17: お子さんやご家族のために安心、安全な食材を食べるための知識を今後も増やしていきたいとおもいますか？
① 是非増やしたい (②) 機会があれば増やしたい
③ どちらでもない ④ 特に増やしたくない

以上になります。
ご多忙のところ、ご協力いただき誠にありがとうございました。
本アンケートは、大学の研究以外には使用いたしません。

慶應義塾大学大学院システムデザイン・マネジメント研究科
糸川 永利子

4

②

質問 9: 地産地消(地元の野菜を食べる)に対する意識はありますか？
① 多いに意識しているし購入している (②) たまに意識して購入している
③ 意識はしても購入はしない ④ まったくない

質問 10: 今まで野菜を購入するときに、季節の旬の野菜を意識して購入されていますか？
① 多いに意識している (②) たまに意識している ③ ほとんどしない ④まったくない

質問 11: 上記の理由を自由にご記入ください。
旬の野菜はやはりその時期に食べると おいしいので

質問 12: もし、ご自分で野菜を育てるときに、サポート対応(相談相手)は必要だと思いますか？
① 多いに必要 (②) たまに必要 ③ 特に必要ではない ④ まったく必要ない

質問 13: もし、ご自分で野菜を育てる過程で、相談相手になってもらえる農家の人(プロ)への仲介は必要だとおもいますか？
① 多いに必要 (②) たまに必要 ③ 特に必要ではない ④ まったく必要ない

質問 14: 質問 13 で、「必要ではない」と回答した方へ。理由を教えてください。
① すでに知り合いがいる ② 十分な知識がある ③ 自力で調査できる ④ 興味がない

質問 15:「食育」の一環であるプランターキットサービス(プランターに土、苗、育てたい野菜が準備された状態で、玄関まで宅配、収穫終了したら、引き取る一環サービス)があったとしたらやってみたいと思いますか？
① 是非やってみたい (②) たまにやってみたい ③ 特にやりたいと思わない
④ まったくやりたくない

3

8.2 モニター参加者の事前調査

「3.8.2 モニターの選定」(P45)で使用したモニター参加者 13 人(No.A～No.M)のプロフィールデータである。1 人につき 2 枚(①～②)のアンケート内容である。

【No. A】 ①

アンケートのお願い
慶應義塾大学院システムデザイン・マネジメント研究科
修士２年　糸川　永利子

(1) お名前

(2) ご連絡先（プランターお届け先）
ご住所：世田谷区
メールアドレス

(3) 戸建て・マンションのいずれかをお選びください
・戸建て
・マンション（バルコニーにプランターが置ける（　個）・置けない）

(4) ご家族の構成
お子様の人数と年齢　6才 と 3才の 2人

(5) 野菜を作ったご経験の有無
・ある　・なし

(6) 経験がある方に質問です
(6-1) 栽培方法をお選びください。
・経験年（月）数　2－3ヶ月
・市民農園（家から農園までの距離　分）
・家庭菜園（プランター・直植え）
・体験農園（家から農園までの距離　分）
・他

(6-2) 上記の方法で不便を感じられた事などご意見ご感想があればお書きください
長期で旅行や里帰りをした時に
水やりできず、かれてしまうこと。

(7) 野菜を買うときにこだわっていることはありますか？
・価格　・味　・有機野菜　・産地　・特になし
・他(　　)

裏面へ

【No. A】 ②

(8) 宅配システムのご経験
・ある　・なし
(8-1) あるとご回答された方で、特にこだわっていることはありますか？
例：大地宅配のように有機野菜を使用している店など、品質など

(9) ご自分で育ててみたいと思う野菜のタイプについての質問です
・イチゴのような可愛い野菜・果物
・子供の好きな野菜
・インテリアになりそうな野菜
・立地条件にあわせた野菜
・簡単に育てられる野菜
・他（　　）

(10) 野菜の中で何を育ててみたいですか？第３希望までお答えください
※ただし、プランターの中で育てられるものになりますので
大根やかぶちゃなどの根菜類、稲などは今回は除外ください。
ハーブ類は、時間かかりませんが、なすやトマトは 50 日ぐらいかかります。
第１希望　きゅうり
第２希望　えだまめ
第３希望　なす

(11) 野菜作りに関しての印象です。
野菜作りをすると聞いたとき、面倒だと感じられることは何ですか？
虫がついたり、病気になった時

今回は、以上になります。
こちらのデータは研究目的のみに使用させていただきます。
ご協力いただきまして誠にありがとうございました。
引き続きよろしくお願いいたします。

【No. B】 ①

アンケートのお願い
慶應義塾大学院システムデザイン・マネジメント研究科
修士２年　糸川　永利子

(1) お名前

(2) ご連絡先（プランターお届け先）
ご住所：世田谷区
メールアドレス

(3) 戸建て・マンション
・戸建て
⊙マンション（バルコニーにプランターが置ける（ 3 個）・置けない）

(4) ご家族の構成
お子様の人数と年齢
夫婦・子供2人（5才・2才）

(5) 野菜を作ったご経験の有無
・ある　⊙なし

(6) 経験がある方に質問です
(6-1) 栽培方法をお選びください。
・経験年（月）数
・市民農園（家から農園までの距離　分）
・家庭菜園（プランター・直植え）
・体験農園（家から農園までの距離　分）
・他

(6-2) 上記の方法で不便を感じられた事などご意見ご感想があればお書きください

(7) 野菜を買うときにこだわっていることはありますか？
⊙価格　⊙味　・有機野菜　・産地　・特になし
・他(　　)

裏面へ

【No. B】 ②

(8) 宅配システムのご経験
⊙ある　・なし
(8-1) あるとご回答された方で、特にこだわっていることはありますか？
例：大地宅配のように有機野菜を使用している店など、品質など

(9) ご自分で育ててみたいと思う野菜のタイプについての質問です
・イチゴのような可愛い野菜・果物
・子供の好きな野菜
・インテリアになりそうな野菜
・立地条件にあわせた野菜
⊙簡単に育てられる野菜
⊙他（ 子供のあまり好きではない野菜を育てて、食べられるようにしたい ）

(10) 野菜の中で何を育ててみたいですか？第３希望までお答えください
※ただし、プランターの中で育てられるものになりますので
大根やかぶちゃなどの根菜類、稲などは今回は除外ください。
ハーブ類は、時間かかりませんが、なすやトマトは 50 日ぐらいかかります。
第１希望　きゅうり
第２希望　枝豆
第３希望　とうもろこし

(11) 野菜作りに関しての印象です。
野菜作りをすると聞いたとき、面倒だと感じられることは何ですか？
実際に作り始めるまでの準備　育っている過程で必要になって
虫がついた時の対応　（3．添え木がネットなどの
収穫後の土の処理　設置

今回は、以上になります。
こちらのデータは研究目的のみに使用させていただきます。
ご協力いただきまして誠にありがとうございました。
引き続きよろしくお願いいたします。

【No. C】 ①

アンケートのお願い
慶應義塾大学院システムデザイン・マネジメント研究科
修士２年　糸川　永利子

(1) お名前

(2) ご連絡先（プランターお届け先）
ご住所：世田谷区
メールアドレス

(3) 戸建て・マンションのいずれかをお選びください
・戸建て
⊙マンション（バルコニーにプランターが置ける（ 3 個）・置けない）

(4) ご家族の構成
お子様の人数と年齢
1人　4歳

(5) 野菜を作ったご経験の有無
⊙ある　・なし

(6) 経験がある方に質問です
(6-1) 栽培方法をお選びください。
・経験年（月）数
・市民農園（家から農園までの距離　　分）
⊙家庭菜園（プランター・直植え）
・体験農園（家から農園までの距離　　分）
・他

(6-2) 上記の方法で不便を感じられた事などご意見ご感想があればお書きください
うまく育たない

(7) 野菜を買うときにこだわっていることはありますか？
・価格　・味　・有機野菜　・産地　⊙特になし
・他(　　)

裏面へ

②

(8) 宅配システムのご経験
⊙ある　・なし
(8-1) あるとご回答された方で、特にこだわっていることはありますか？
例：大地宅配のように有機野菜を使用している店など、品質など
なし

(9) ご自分で育ててみたいと思う野菜のタイプについての質問です
⊙イチゴのような可愛い野菜・果物
・子供の好きな野菜
・インテリアになりそうな野菜
⊙立地条件にあわせた野菜
⊙簡単に育てられる野菜
・他（　　）

(10) 野菜の中で何を育ててみたいですか？第３希望までお答えください
※ただし、プランターの中で育てられるものになりますので
大根やかぼちゃなどの根菜類、稲などは今回は除外ください。
ハーブ類は、時間かかりませんが、なすやトマトは 50 日くらいかかります。
第１希望　きゅうり
第２希望　オクラ
第３希望　レタス

(11) 野菜作りに関しての印象です。
野菜作りをすると聞いたとき、面倒だと感じられることは何ですか？
害虫駆除

今回は、以上になります。
こちらのデータは研究目的のみに使用させていただきます。
ご協力いただきまして誠にありがとうございました。
引き続きよろしくお願いいたします。

【No. D】 ①

アンケートのお願い
慶應義塾大学院システムデザイン・マネジメント研究科
修士２年　糸川　永利子

(1) お名前

(2) ご連絡先（プランターお届け先）
ご住所：世田谷区
メールアドレス

(3) 戸建て・マンションのいずれかをお選びください
・戸建て
⊙マンション（バルコニーにプランターが置ける（ 5 個）・置けない）

(4) ご家族の構成
お子様の人数と年齢
3才、5才

(5) 野菜を作ったご経験の有無
・ある　⊙なし

(6) 経験がある方に質問です
(6-1) 栽培方法をお選びください。
・経験年（月）数
・市民農園（家から農園までの距離　　分）
・家庭菜園（プランター・直植え）
・体験農園（家から農園までの距離　　分）
・他

(6-2) 上記の方法で不便を感じられた事などご意見ご感想があればお書きください

(7) 野菜を買うときにこだわっていることはありますか？
・価格　・味　・有機野菜　・産地　・特になし
・他(　　)

裏面へ

②

(8) 宅配システムのご経験
⊙ある　・なし
(8-1) あるとご回答された方で、特にこだわっていることはありますか？
例：大地宅配のように有機野菜を使用している店など、品質など
なし

(9) ご自分で育ててみたいと思う野菜のタイプについての質問です
・イチゴのような可愛い野菜・果物
⊙子供の好きな野菜
・インテリアになりそうな野菜
・立地条件にあわせた野菜
⊙簡単に育てられる野菜
・他（　　）

(10) 野菜の中で何を育ててみたいですか？第３希望までお答えください
※ただし、プランターの中で育てられるものになりますので
大根やかぼちゃなどの根菜類、稲などは今回は除外ください。
ハーブ類は、時間かかりませんが、なすやトマトは 50 日くらいかかります。
第１希望　きゅうり
第２希望　枝豆
第３希望　トマト

(11) 野菜作りに関しての印象です。
野菜作りをすると聞いたとき、面倒だと感じられることは何ですか？
害虫、病気の手間

今回は、以上になります。
こちらのデータは研究目的のみに使用させていただきます。
ご協力いただきまして誠にありがとうございました。
引き続きよろしくお願いいたします。

【No. E】 ①

アンケートのお願い
慶應義塾大学院システムデザイン・マネジメント研究科
修士２年　糸川　永利子

(1) お名前

(2) ご連絡先（プランターお届け先）
ご住所：世田谷区
メールアドレス

(3) 戸建て・マンションのいずれかをお選びください
・戸建て
⊙マンション（バルコニーにプランターが置ける（　　個）・置けない）

(4) ご家族の構成
お子様の人数と年齢
3人家族　3才

(5) 野菜を作ったご経験の有無
・ある　・なし

(6) 経験がある方に質問です
(6-1) 栽培方法をお選びください。
・経験年（月）数
・市民農園（家から農園までの距離　　分）
・家庭菜園（プランター・直植え）
・体験農園（家から農園までの距離　　分）
・他

(6-2) 上記の方法で不便を感じられた事などご意見ご感想があればお書きください

(7) 野菜を買うときにこだわっていることはありますか？
・価格　・味　⊙有機野菜　・産地　・特になし
・他（　　）

裏面へ

②

(8) 宅配システムのご経験
・ある　⊙なし
(8-1) あるとご回答された方で、特にこだわっていることはありますか？
例：大地宅配のように有機野菜を使用している店など、品質など

(9) ご自分で育ててみたいと思う野菜のタイプについての質問です
・イチゴのような可愛い野菜・果物
・子供の好きな野菜
・インテリアになりそうな野菜
・立地条件にあわせた野菜
⊙簡単に育てられる野菜
・他（　　）

(10) 野菜の中で何を育ててみたいですか？第３希望までお答えください
※ただし、プランターの中で育てられるものになりますので
大根やかぼちゃなどの根菜類、稲などは今回は除外ください。
ハーブ類は、時間かかりませんが、なすやトマトは50日くらいかかります。
第１希望 トマト
第２希望 きゅうり
第３希望 なす

(11) 野菜作りに関しての印象です。
野菜作りをすると聞いたとき、面倒だと感じられることは何ですか？

今回は、以上になります。
こちらのデータは研究目的のみに使用させていただきます。
ご協力いただきまして誠にありがとうございました。
引き続きよろしくお願いいたします。

【No. F】 ①

アンケートのお願い
慶應義塾大学院システムデザイン・マネジメント研究科
修士２年　糸川　永利子

(1) お名前

(2) ご連絡先（プランターお届け先）
ご住所：世田谷区
メールアドレス

(3) 戸建て・マンションのいずれかをお選びください
・戸建て
⊙マンション（バルコニーにプランターが置ける（ / 個）・置けない）

(4) ご家族の構成
お子様の人数と年齢　主人　長男（10歳・小5）
長女（5歳・年長）

(5) 野菜を作ったご経験の有無
⊙ある　・なし

(6) 経験がある方に質問です
(6-1) 栽培方法をお選びください。
・経験年（月）数　　級多 約
⊙市民農園（家から農園までの距離　15 分）で 1年位
・家庭菜園（プランター・直植え）
・体験農園（家から農園までの距離　　分）
⊙他　実家の畑の手伝い

(6-2) 上記の方法で不便を感じられた事などご意見ご感想があればお書きください
まだ上の子が2歳頃の手のかかる時期で、なかなか思うように時間が作れず、家からの距離もあったので、2年間位の契約のところを途中で断念してしまいました。

(7) 野菜を買うときにこだわっていることはありますか？
・価格　・味　・有機野菜　・産地　・特になし
・他（　国産品、鮮度　）

裏面へ

②

(8) 宅配システムのご経験
・ある　・なし
(8-1) あるとご回答された方で、特にこだわっていることはありますか？
例：大地宅配のように有機野菜を使用している店など、品質など
東都生協の野菜は、国産で、農薬を削減して作られているので、わりとよく利用する。

(9) ご自分で育ててみたいと思う野菜のタイプについての質問です
・イチゴのような可愛い野菜・果物
・子供の好きな野菜
・インテリアになりそうな野菜
・立地条件にあわせた野菜
⊙簡単に育てられる野菜
⊙他（ねぎ、大葉など、庭先にちょっとあると役立つような野菜）
特に生で食べることの多い物

(10) 野菜の中で何を育ててみたいですか？第３希望までお答えください
※ただし、プランターの中で育てられるものになりますので
大根やかぼちゃなどの根菜類、稲などは今回は除外ください。
ハーブ類は、時間かかりませんが、なすやトマトは50日くらいかかります。
第１希望 検査
第２希望 ねぎ
第３希望 しょうが

(11) 野菜作りに関しての印象です。
野菜作りをすると聞いたとき、面倒だと感じられることは何ですか？
・虫対策
・旅行・帰宅などで留守にした時の水やりのことなど

今回は、以上になります。
こちらのデータは研究目的のみに使用させていただきます。
ご協力いただきまして誠にありがとうございました。
引き続きよろしくお願いいたします。

【No. G】　①

アンケートのお願い
慶應義塾大学院システムデザイン・マネジメント研究科
修士２年　糸川　永利子

(1) お名前

(2) ご連絡先（プランターお届け先）
ご住所：世田谷区
メールアドレス

(3) 戸建て・マンションのいずれかをお選びください
・戸建て
・マンション（バルコニーにプランターが置ける（　　個）・置けない）

(4) ご家族の構成
お子様の人数と年齢
父母、子(4)

(5) 野菜を作ったご経験の有無
・ある　・なし

(6) 経験がある方に質問です
(6-1) 栽培方法をお選びください。
・経験年（月）数　2.3ヶ月
・市民農園（家から農園までの距離　　分）
・家庭菜園（プランター・直植え）
・体験農園（家から農園までの距離　　分）
・他

(6-2) 上記の方法で不便を感じられた事などご意見ご感想があればお書きください
バジルを育てました。比較的、虫がつきにくいと聞いていたのですが
やはり虫が少しつき、狭いベランダなので活動初に
つさあそって嫌でした。それ以来、いなくなりました。

(7) 野菜を買うときにこだわっていることはありますか？
・価格　・味　・有機野菜　・産地　・特になし
・他(　　)

裏面へ

②

(8) 宅配システムのご経験
・ある　・なし
(8-1) あるとご回答された方で、特にこだわっていることはありますか？
例：大地宅配のように有機野菜を使用している店など、品質など
・徹底された管理で、最も厳しいと言われている「生活クラブ」を利用しています。

(9) ご自分で育ててみたいと思う野菜のタイプについての質問です
・イチゴのような可愛い野菜・果物
・子供の好きな野菜
・インテリアになりそうな野菜
・立地条件にあわせた野菜
・簡単に育てられる野菜
・他（　　）

(10) 野菜の中で何を育ててみたいですか？第３希望までお答えください
※ただし、プランターの中で育てられるものになりますので
大根やかぼちゃなどの根菜類、稲などは今回は除外ください。
ハーブ類は、時間かかりませんが、なすやトマトは50日くらいかかります。
第１希望　ハーブコラ
第２希望　ベビーリーフ
第３希望　アスパラガス

(11) 野菜作りに関しての印象です。
野菜作りをすると聞いたとき、面倒だと感じられることは何ですか？
虫に関ほうとも　とにかく虫が嫌なので…。
ちなみに異臭も嫌です。匂の発生を把握している人は多いと思います。

今回は、以上になります。
こちらのデータは研究目的のみに使用させていただきます。
ご協力いただきまして誠にありがとうございました。
引き続きよろしくお願いいたします。

【No. H】　①

アンケートのお願い
慶應義塾大学院システムデザイン・マネジメント研究科
修士２年　糸川　永利子

(1) お名前

(2) ご連絡先（プランターお届け先）
ご住所：世田谷区
メールアドレス

(3) 戸建て・マンションのいずれかをお選びください
・戸建て
・マンション（バルコニーにプランターが置ける（　　個）・置けない）

(4) ご家族の構成
お子様の人数と年齢
父母 兄(中1) 弟(4才)

(5) 野菜を作ったご経験の有無
・ある　・なし

(6) 経験がある方に質問です
(6-1) 栽培方法をお選びください。
・経験年（月）数　1年
・市民農園（家から農園までの距離　　分）
・家庭菜園（プランター・直植え）
・体験農園（家から農園までの距離　　分）
・他

(6-2) 上記の方法で不便を感じられた事などご意見ご感想があればお書きください
枝豆をプランターで育てたのですが、虫にくわれたり、
かれてきたり、と色々ありました。

(7) 野菜を買うときにこだわっていることはありますか？
・価格　・味　・有機野菜　・産地　・特になし
・他(　　)

裏面へ

②

(8) 宅配システムのご経験
・ある　・なし
(8-1) あるとご回答された方で、特にこだわっていることはありますか？
例：大地宅配のように有機野菜を使用している店など、品質など
生協。OKスーパーで買う野菜よりもちがいいような
気がします。

(9) ご自分で育ててみたいと思う野菜のタイプについての質問です
・イチゴのような可愛い野菜・果物
・子供の好きな野菜
・インテリアになりそうな野菜
・立地条件にあわせた野菜
・簡単に育てられる野菜
・他（　　）

(10) 野菜の中で何を育ててみたいですか？第３希望までお答えください
※ただし、プランターの中で育てられるものになりますので
大根やかぼちゃなどの根菜類、稲などは今回は除外ください。
ハーブ類は、時間かかりませんが、なすやトマトは50日くらいかかります。
第１希望　トマト（プチトマト）
第２希望　小ねぎ
第３希望　きゅうり

(11) 野菜作りに関しての印象です。
野菜作りをすると聞いたとき、面倒だと感じられることは何ですか？
・トラブルがおきたとき相談する場所がない。
・プランター、土、etcがとても重い！

今回は、以上になります。
こちらのデータは研究目的のみに使用させていただきます。
ご協力いただきまして誠にありがとうございました。
引き続きよろしくお願いいたします。

【No. I】 ①

アンケートのお願い
慶應義塾大学院システムデザイン・マネジメント研究科
修士２年　糸川　永利子

(1) お名前

(2) ご連絡先（プランターお届け先）
ご住所：
メールアドレス

(3) 戸建て・マンションのいずれかをお選びください
・戸建て
⊙マンション（バルコニーにプランターが置ける（ 2 個）・置けない）

(4) ご家族の構成
お子様の人数と年齢
7歳 1人
5歳 1人

(5) 野菜を作ったご経験の有無
・ある　・なし

(6) 経験がある方に質問です
(6-1) 栽培方法をお選びください。
・経験年（月）数　1年
・市民農園（家から農園までの距離　　分）
・家庭菜園（プランター・直植え）
・体験農園（家から農園までの距離　20 分）
・他

(6-2) 上記の方法で不便を感じられた事などご意見ご感想があればお書きください
・水やりを毎日行くのが めんどう
・収穫のタイミングを のがしてしまう

(7) 野菜を買うときにこだわっていることはありますか？
⊙価格　・味　・有機野菜　・産地　・特になし
・他（ 新鮮さ　　）

②

(8) 宅配システムのご経験
・ある　・なし
(8-1) あるとご回答された方で、特にこだわっていることはありますか？
例：大地宅配のように有機野菜を使用している店など、品質など
・商品材料のわけが 安いこと
・ネットで注文できること（手ぶら注文はめんどうで 注文リストが見れない）

(9) ご自分で育ててみたいと思う野菜のタイプについての質問です
・イチゴのような可愛い野菜・果物
⊙子供の好きな野菜
・インテリアになりそうな野菜
・立地条件にあわせた野菜
⊙簡単に育てられる野菜
・他（　　）

(10) 野菜の中で何を育ててみたいですか？第３希望までお答えください
※ただし、プランターの中で育てられるものになりますので
大根やかぼちゃなどの根菜類、稲などは今回は除外ください。
ハーブ類は、時間かかりませんが、なすやトマトは 50 日くらいかかります。
第１希望　なす
第２希望　きゅうり
第３希望　ミニトマト

(11) 野菜作りに関しての印象です。
野菜作りをすると聞いたとき、面倒だと感じられることは何ですか？
・水やり
・手入れ

今回は、以上になります。
こちらのデータは研究目的のみに使用させていただきます。
ご協力いただきまして誠にありがとうございました。
引き続きよろしくお願いいたします。

【No. J】 ①

アンケートのお願い
塾大学院システムデザイン・マネジメント研究科
修士２年　糸川　永利子

(1) お名前

(2) ご連絡先（プランターお届け先）
ご住所：
メールアドレス
hikanostatumi@yahoo.co.jp

(3) 戸建て・マンションのいずれかをお選びください
戸建て
・マンション（バルコニーにプランターが置ける（　　個）・置けない）

(4) ご家族の構成
お子様の人数と年齢
・夫、子供2人、の4人

(5) 野菜を作ったご経験の有無
ある　・なし

(6) 経験がある方に質問です
(6-1) 栽培方法をお選びください。
・経験年（月）数　2年
・市民農園（家から農園までの距離　　分）
・家庭菜園（プランター・直植え）
体験農園（家から農園までの距離 約5 分）
・他

(6-2) 上記の方法で不便を感じられた事などご意見ご感想があればお書きください

(7) 野菜を買うときにこだわっていることはありますか？
価格　・味　・有機野菜　産地　・特になし
・他（　　）

②

(8) 宅配システムのご経験
ある　・なし
(8-1) あるとご回答された方で、特にこだわっていることはありますか？
例：大地宅配のように有機野菜を使用している店など、品質など
・値段や 品質　味を 安くなる

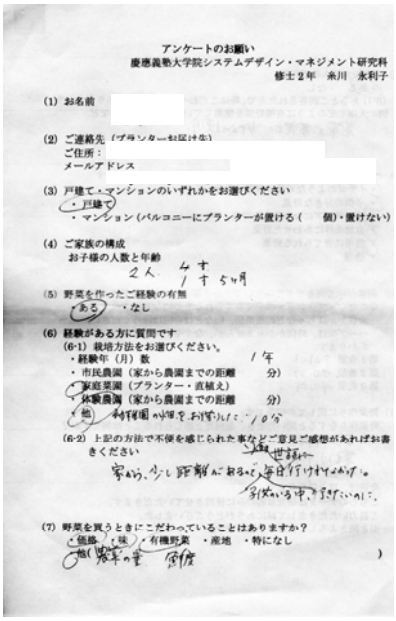
(9) ご自分で育ててみたいと思う野菜のタイプについての質問です
・イチゴのような可愛い野菜・果物
・子供の好きな野菜
・インテリアになりそうな野菜
・立地条件にあわせた野菜
・簡単に育てられる野菜
・他（　　）

(10) 野菜の中で何を育ててみたいですか？第３希望までお答えください
※ただし、プランターの中で育てられるものになりますので
大根やかぼちゃなどの根菜類、稲などは今回は除外ください。
ハーブ類は、時間かかりませんが、なすやトマトは 50 日くらいかかります。
第１希望　レタス（インテリア 花なし）
第２希望　ねぎ（薬味）
第３希望　イチゴ

(11) 野菜作りに関しての印象です。
野菜作りをすると聞いたとき、面倒だと感じられることは何ですか？
雑草、害虫除

今回は、以上になります。
こちらのデータは研究目的のみに使用させていただきます。
ご協力いただきまして誠にありがとうございました。
引き続きよろしくお願いいたします。

【No. K】　①



アンケートのお願い
慶應義塾大学院システムデザイン・マネジメント研究科
修士2年　糸川　永利子

(1) お名前

(2) ご連絡先（プランターお届け先）
ご住所：
メールアドレス

(3) 戸建て・マンションのいずれかをお選びください
・戸建て
・マンション（バルコニーにプランターが置ける（　個）・置けない）

(4) ご家族の構成
お子様の人数と年齢
2人　4才
1才5ヶ月

(5) 野菜を作ったご経験の有無
・ある　・なし

(6) 経験がある方に質問です
(6-1) 栽培方法をお選びください。
・経験年（月）数　1年
・市民農園（家から農園までの距離　分）
・家庭菜園（プランター・直植え）
・体験農園（家から農園までの距離　分）
・他　利用園の中をお買いした。10分

(6-2) 上記の方法で不便を感じられた事などご意見ご感想があればお書きください
家から少し距離があるので、毎日行けないのが。
子供のいる中、子供といのに。

(7) 野菜を買うときにこだわっていることはありますか？
・価格　・味　・有機野菜　・産地　・特になし
・他（　）

②

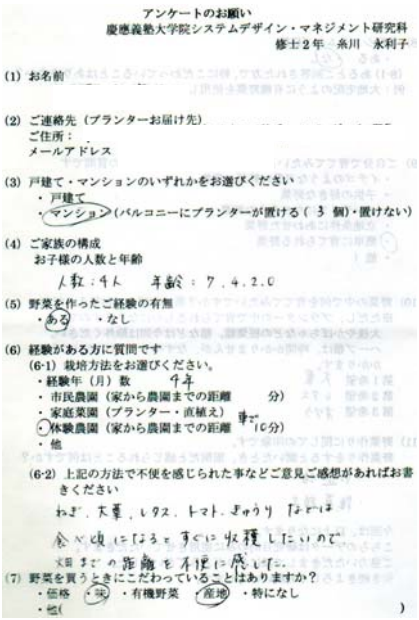
(8) 宅配システムのご経験
・ある　・なし
(8-1) あるとご回答された方で、特にこだわっていることはありますか？
例：大地宅配のように有機野菜を使用している店など、品質など
農薬が基定より少しの使用。

(9) ご自分で育ててみたいと思う野菜のタイプについての質問です
・イチゴのような可愛い野菜・果物
・子供の好きな野菜
・インテリアになりそうな野菜
・立地条件にあわせた野菜
・簡単に育てられる野菜
・他（　）

(10) 野菜の中で何を育ててみたいですか？第3希望までお答えください
※ただし、プランターの中で育てられるものになりますので
大根やかぼちゃなどの根菜類、稲などは今回は除外ください。
ハーブ類は、時間かかりませんが、なすやトマトは50日くらいかかります。
第1希望　ミニトマト
第2希望　ブロコリー
第3希望　~~アスパラ~~　すグラ

(11) 野菜作りに関しての印象です。
野菜作りをすると聞いたとき、面倒だと感じられることは何ですか？
害虫の除去　野菜にあった、土作り土を買う事。
草むり、水やり
[redacted]
今回は、以上になります。
こちらのデータは研究目的のみに使用させていただきます。
ご協力いただきまして誠にありがとうございました。
引き続きよろしくお願いいたします。

【No. L】　①



アンケートのお願い
慶應義塾大学院システムデザイン・マネジメント研究科
修士2年　糸川　永利子

(1) お名前

(2) ご連絡先（プランターお届け先）
ご住所：
メールアドレス

(3) 戸建て・マンションのいずれかをお選びください
・戸建て
・マンション（バルコニーにプランターが置ける（3個）・置けない）

(4) ご家族の構成
お子様の人数と年齢
人数：4人　年齢：7.4.2.0

(5) 野菜を作ったご経験の有無
・ある　・なし

(6) 経験がある方に質問です
(6-1) 栽培方法をお選びください。
・経験年（月）数　4年
・市民農園（家から農園までの距離　分）
・家庭菜園（プランター・直植え）
・体験農園（家から農園までの距離　車で10分）
・他

(6-2) 上記の方法で不便を感じられた事などご意見ご感想があればお書きください
ねぎ、大葉、レタス、トマト、きゅうり などは
食べ頃になると すぐに収穫したいので
大田までの距離を不便に感じた。

(7) 野菜を買うときにこだわっていることはありますか？
・価格　・味　・有機野菜　・産地　・特になし
・他（　）

②

(8) 宅配システムのご経験
・ある　・なし
(8-1) あるとご回答された方で、特にこだわっていることはありますか？
例：大地宅配のように有機野菜を使用している店など、品質など

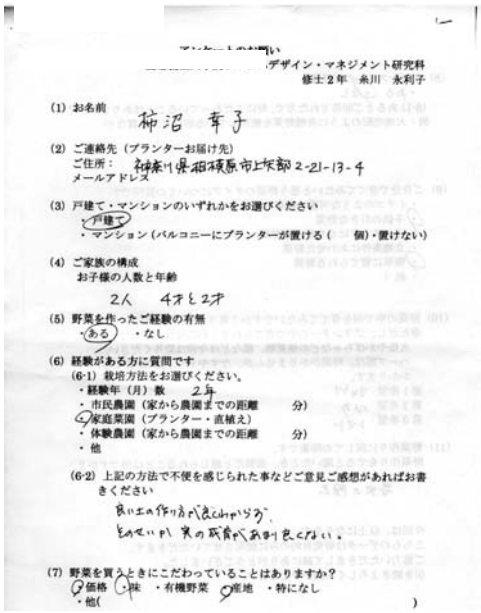
(9) ご自分で育ててみたいと思う野菜のタイプについての質問です
・イチゴのような可愛い野菜・果物
・子供の好きな野菜
・インテリアになりそうな野菜
・立地条件にあわせた野菜
・簡単に育てられる野菜
・他（　）

(10) 野菜の中で何を育ててみたいですか？第3希望までお答えください
※ただし、プランターの中で育てられるものになりますので
大根やかぼちゃなどの根菜類、稲などは今回は除外ください。
ハーブ類は、時間かかりませんが、なすやトマトは50日くらいかかります。
第1希望　大葉
第2希望　レタス
第3希望　オクラ

(11) 野菜作りに関しての印象です。
野菜作りをすると聞いたとき、面倒だと感じられることは何ですか？
・虫退治
・雑草抜き
今回は、以上になります。
こちらのデータは研究目的のみに使用させていただきます。
ご協力いただきまして誠にありがとうございました。
引き続きよろしくお願いいたします。

【No. M】

①



デザイン・マネジメント研究科
修士2年　糸川　永利子

(1) お名前
柿沼　幸子

(2) ご連絡先（プランターお届け先）
ご住所：　神奈川県相模原市上矢部2-21-13-4
メールアドレス

(3) 戸建て・マンションのいずれかをお選びください
・戸建て
・マンション（バルコニーにプランターが置ける（　　個）・置けない）

(4) ご家族の構成
お子様の人数と年齢
2人　4才と2才

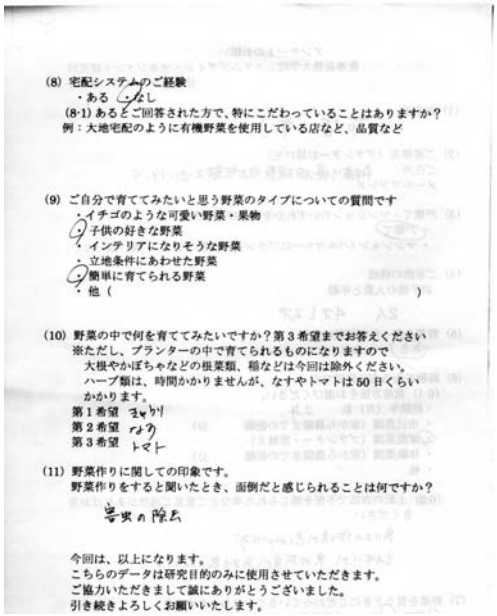
(5) 野菜を作ったご経験の有無
・ある　・なし

(6) 経験がある方に質問です
(6-1) 栽培方法をお選びください。
・経験年（月）数　2年
・市民農園（家から農園までの距離　　分）
・家庭菜園（プランター・直植え）
・体験農園（家から農園までの距離　　分）
・他

(6-2) 上記の方法で不便を感じられた事などご意見ご感想があればお書きください
良い土の作り方が良くわからず。
そのせいか実の成育があまり良くない。

(7) 野菜を買うときにこだわっていることはありますか？
・価格　・味　・有機野菜　・産地　・特になし
・他（　　）

②



(8) 宅配システムのご経験
・ある　・なし
(8-1) あるとご回答された方で、特にこだわっていることはありますか？
例：大地宅配のように有機野菜を使用している店など、品質など

(9) ご自分で育ててみたいと思う野菜のタイプについての質問です
・イチゴのような可愛い野菜・果物
・子供の好きな野菜
・インテリアになりそうな野菜
・立地条件にあわせた野菜
・簡単に育てられる野菜
・他（　　）

(10) 野菜の中で何を育ててみたいですか？第3希望までお答えください
※ただし、プランターの中で育てられるものになりますので
大根やかぼちゃなどの根菜類、稲などは今回は除外ください。
ハーブ類は、時間かかりませんが、なすやトマトは50日くらいかかります。
第1希望　ミックリ
第2希望　なす
第3希望　トマト

(11) 野菜作りに関しての印象です。
野菜作りをすると聞いたとき、面倒だと感じられることは何ですか？
害虫の除去

今回は、以上になります。
こちらのデータは研究目的のみに使用させていただきます。
ご協力いただきまして誠にありがとうございました。
引き続きよろしくお願いいたします。

8.3 モニター調査アンケート結果

「4.1　モニターアンケート調査」(P56)で使用した 13 人(No.A～No.M)の調査結果データである。1 人につき 4 枚(①～④)のアンケート調査結果である。

【No. A】

①

食育普及サービスに関してのアンケート

氏名

アンケート内で出てくる食育とは、「家庭での食育を目指すところとして、食物(野菜)を自ら作り育てることにより、安心・安全な食生活の知識獲得と実践を行うこと」を基本に各質問にご回答ください。

質問 1: 「食育」と言う言葉に今まで関心がありましたか？またプランター栽培を経験した後意識は変化があったと思われますか？
経験前
① かなりあった ② 少しあった ③ 意味を知っている程度 ④ まったくなかった
経験後
① かなり増えた ② 少し増えた ③ 以前と変わらない ④ 以前より減った

質問 2: 野菜を作っている過程でお子様と育てている野菜についてどのくらいお話ししましたか？
① 毎日 ② たまに ③ ほとんどなし ④ まったくなし

質問 3: 野菜を作っている過程でお子様と一緒に野菜に水やりなどをしたことがありますか？
① 毎回 ② たまに ③ ほとんどなし ④ まったくなし

質問 4: 今回野菜を育てたことで、野菜を育てることに以前より興味をもたれましたか？
① 多いに興味を持った ② 少しは興味をもった ③ 特にかわらない ④ 以前より少なくなった

質問 5: 野菜を育てていることについて、どなたかと話題にされましたか？(相談など)
① 家族や近所の人と多いに話題にした ② 近所の人と時々話題にした
③ 家族と時々話題にした ④ ほとんど話題にしていない

質問 6: 以前より野菜を育てるための知識は増えましたか？
① かなり増えた ② 多少増えた ③ ほとんど変わらない ④ まったく変わらない

②

質問 7: 食品の安全性(農薬・肥料)に関する情報収集など、プランター栽培の経験前と後で変化はありましたか？
経験前
① 自ら調べていた ② メディアからの情報をたまに聞く程度 ③ ほとんどしていない
④ まったく興味がない
経験後
① 自ら調べるようになった ② メディアからの情報を聞くようになった
③ 少しは興味をもつようになった ④ 以前と変わらない

質問 8: 地産地消(地元の野菜を食べる)に対する意識は、プランター栽培の経験前と後で変化はありましたか？
経験前
① 多いに意識しているし購入していた ② たまに意識して購入していた
③ 意識はしても購入はしなかった ④ まったくない
経験後
① 多いに意識しているし購入するようになった ② たまに意識して購入するようになった
③ 意識はしても購入はしていない ④以前と変わらない

質問 9: 今まで野菜を購入するときに、季節の旬の野菜を意識して購入されてますか？またプランター栽培の経験前と後で変化はありましたか？
経験前
① 多いに意識していた ② たまに意識していた ③ ほとんどしない ④まったくない
経験後
① 多いに意識するようになった ② たまに意識する ③ ほとんどしない ④以前と変わらない

質問 10: 今回野菜作りをして、楽しかったですか？
① 楽しかった ② まあまあ楽しかった ③ 特に楽しくなかった ④ 全く楽しくなかった

質問 11: 上記の理由を自由にご記入ください。
できた野菜をシンプルに冷めして 家族で食べるのが
楽しみで、みんなで水やりしたり 協力して楽しめた。

③

質問 12: 野菜を育てる過程で、サポート対応(相談相手)は必要だと思いますか？
① 多いに必要 ② たまに必要 ③ 特に必要ではない ④ まったく必要ない

質問 13: 野菜を育てる過程で、相談相手になってもらえる農家の人(プロ)への仲介がほしいですか？
① 多いに必要 ② たまに必要 ③ 特に必要ではない ④ まったく必要ない

質問 14: 質問 13 で、「必要ではない」と回答した方へ、理由を教えてください。
① すでに知り合いがいる ② 十分な知識がある ③ 自力で調査できる ④ 興味がない

質問 15: 「食育」の一環であるプランターキットサービス(プランターに土、苗、野菜が準備され、本来は玄関までの宅配、終了したら、引き取るサービス)に関して、今後もやってみたいと思いますか？
① 是非またやってみたい ② たまにやってみたい ③ 特にやりたいと思わない
④ まったくやりたくない

質問 16: このようなサービスがあったら、いくらくらいの価格設定でしたら受けたいですか？
ご自由にご記入ください。
キューリ5本 100円 ~~[illegible]~~ 1本 [illegible]
材料費 + 500円 くらい？
上記の価格にした理由をご記入ください。
あまり、高かったら 初心者の人は あえて トライしない…かな？

質問 17: プランターサービスを経験したうえで、市民農園(指導なし)や体験農園(指導あり)をやってみたいとおもいますか？
① 体験農園をやってみたい ② 市民をやってみたい
③ プランターサービスを継続したい ④ 何もやりたくない

質問 18: お子さんやご家族のために安心、安全な食材を食べるための知識を今後も増やしていきたいとおもいますか？
① 是非増やしたい ② 機会があれば増やしたい
③ どちらでもない ④ 特に増やしたくない

④

質問 19. プランターキットサービスに関する改善点などがありましたら最大3つまでお聞かせください。
○ ~~マンガルのような~~ よくある質問や、ありがちな病気、虫などの
トラブルがあった場合に質問する前に、自分で調べられるような冊子や
サイトがあれば、解決も早いかもしれません。

○ 初めに、プランターと、2週間後くらいにまく肥料を小分けで
セットされていましたが、あとでお借りした虫よけの酢や、ちょっとした
虫がついた時の薬(?)など、「最低限セット」を最初に
小分けであればいいかも？ 足りない人は、あとで追加、使わなかった人は
プランターと一緒に返却、という形で…

以上になります。
ご多忙のところ、ご協力いただき誠にありがとうございました。

慶應義塾大学大学院システムデザインマネジメント研究科
糸川 永利子

今回は、子供もキューリができるのを楽しみに
毎日、水やりをしていました。下の子(幼稚園)は、上の子のまねで、
上の子(一年生)は、あさがおの水やりもあり、
少し、植物に対する気持ちが(枯れたらかわいそう、とか
水をのんで喜んでる!とか)わいてきた時期だというのもあると思います。
とてもいい経験になり、ありがとうございました。

【No. B】

①

食育普及サービスに関してのアンケート

氏名

アンケート内で出てくる食育とは、「家庭での食育を目指すところとして、食物(野菜)を自ら作り育てることにより、安心・安全な食生活の知識獲得と実践を行うこと」を基本に各質問にご回答ください。

質問 1: 「食育」と言う言葉に今まで関心がありましたか？またプランター栽培を経験した後意識は変化があったと思われますか？
経験前
① かなりあった ② 少しあった ③ 意味を知っている程度 ④ まったくなかった
経験後
① かなり増えた ② 少し増えた ③ 以前と変わらない ④ 以前より減った

質問 2: 野菜を作っている過程でお子様と育てている野菜についてどのくらいお話ししましたか？
① 毎日 ② たまに ③ ほとんどなし ④ まったくなし

質問 3: 野菜を作っている過程でお子様と一緒に野菜に水やりなどをしたことがありますか？
① 毎回 ② たまに ③ ほとんどなし ④ まったくなし

質問 4: 今回野菜を育てたことで、野菜を育てることに以前より興味をもたれましたか？
① 多いに興味を持った ② 少しは興味をもった ③ 特にかわらない ④ 以前より少なくなった

質問 5: 野菜を育てていることについて、どなたかたと話題にされましたか？(相談など)
① 家族や近所の人と多いに話題にした ② 近所の人と時々話題にした
③ 家族と時々話題にした ④ ほとんど話題にしていない

質問 6: 以前より野菜を育てるための知識は増えましたか？
① かなり増えた ② 多少増えた ③ ほとんど変わらない ④ まったく変わらない

②

質問 7: 食品の安全性(農薬・肥料)に関する情報収集など、プランター栽培の経験前と後で変化はありましたか？
経験前
① 自ら調べていた ② メディアからの情報をたまに聞く程度 ③ ほとんどしていない
④ まったく興味がない
経験後
① 自ら調べるようになった ② メディアからの情報を聞くようになった
③ 少しは興味をもつようになった ④ 以前と変わらない

質問 8: 地産地消(地元の野菜を食べる)に対する意識は、プランター栽培の経験前と後で変化はありましたか？
経験前
① 多いに意識しているし購入していた ② たまに意識して購入していた
③ 意識はしても購入はしなかった ④ まったくない
経験後
① 多いに意識しているし購入するようになった ② たまに意識して購入するようになった
③ 意識はしても購入はしていない ④ 以前と変わらない

質問 9: 今まで野菜を購入するときに、季節の旬の野菜を意識して購入されてますか？またプランター栽培の経験前と後で変化はありましたか？
経験前
① 多いに意識していた ② たまに意識していた ③ ほとんどしない ④ まったくない
経験後
① 多いに意識するようになった ② たまに意識する ③ ほとんどしない ④ 以前と変わらない

質問 10: 今回野菜作りをして、楽しかったですか？
① 楽しかった ② まあまあ楽しかった ③ 特に楽しくなかった ④ 全く楽しくなかった

質問 11: 上記の理由を自由にご記入ください。
子供と一緒に、水やりをしたり、大きくなっていく姿を喜んだりと楽しいことはたくさんありました。
ただ、考えが甘かったのでしょうが、もっと簡単にたくさん収穫できるものだと思ってたので、虫やかびの問題に悩んだわりに、収穫がきゅうり1本という結果に、残念な思いです。

③

質問 12: 野菜を育てる過程で、サポート対応(相談相手)は必要だと思いますか？
① 多いに必要 ② たまに必要 ③ 特に必要ではない ④ まったく必要ない

質問 13: 野菜を育てる過程で、相談相手になってもらえる農家の人(プロ)への仲介がほしいですか？
① 多いに必要 ② たまに必要 ③ 特に必要ではない ④ まったく必要ない

質問 14: 質問 13 で、「必要ではない」と回答した方へ。理由を教えてください。
① すでに知り合いがいる ② 十分な知識がある ③ 自力で調査できる ④ 興味がない

質問 15: 「食育」の一環であるプランターキットサービス(プランターに土、苗、野菜が準備され、本来は玄関までの宅配、終了したら、引き取るサービス)に関して、今後もやってみたいと思いますか？
① 是非またやってみたい ② たまにやってみたい ③ 特にやりたいと思わない
④ まったくやりたくない

質問 16: このようなサービスがあったら、いくらくらいの価格設定でしたら受けたいですか？
ご自由にご記入ください。
1,000円～2,000円くらい

上記の価格にした理由をご記入ください。
野菜を成育する環境としては、今回くらい大きなプランターが必要なのかもしれませんが、狭いベランダで、どれくらいの収穫が期待できるのかわからない現状を考えると、あまり高額だと行なわないと思います。定価格でもうツレコンパクトなサービスの方がありがたいかもしれません。

質問 17: プランターサービスを経験したうえで、市民農園(指導なし)や体験農園(指導あり)をやってみたいとおもいますか？
① 体験農園をやってみたい ② 市民をやってみたい
③ プランターサービスを継続したい ④ 何もやりたくない

質問 18: お子さんやご家族のために安心、安全な食材を食べるための知識を今後も増やしていきたいとおもいますか？
① 是非増やしたい ② 機会があれば増やしたい
③ どちらでもない ④ 特に増やしたくない

④

質問 19. プランターキットサービスに関する改善点などがありましたら最大3つまでお聞かせください。

・すべてをセッティングしたものを家まで運んでいただけるのはありがたいですが、あの大きさのものをマンションの3階まで、女手で運ぶのはつらかったです。大きさを変えられないのであれば、自宅の設置場所まで運んでいただく必要があると思います。

・野菜ごとにもうツレ詳しい栽培方法の情報がほしいです。

・今回でも、同じきゅうりを育てた方でも、やはりプランターを置く環境によって、育ち方も大きく違っていたように思います。日あたりや風通しの悪いマンションのベランダで育てる立場から言うと、栽培する野菜によっての難易度というか、これなら狭いベランダでも育てやすいが、これだと、難しい といった事を知ったうえで、選択できたらよかった 環境や育て方によってはかと思います。

以上になります。
ご多忙のところ、ご協力いただき誠にありがとうございました。

慶應義塾大学大学院システムデザインマネジメント研究科
糸川 永利子

【No. C】

①

食育普及サービスに関してのアンケート

氏名

アンケート内で出てくる食育とは、「家庭での食育を目指すところとして、食物(野菜)を自ら作り育てることにより、安心・安全な食生活の知識獲得と実践を行うこと」を基本に各質問にご回答ください。

質問 1: 「食育」と言う言葉に今まで関心がありましたか？またプランター栽培を経験した後意識は変化があったと思われますか？
経験前
① かなりあった ② 少しあった ③ 意味を知っている程度 ④ まったくなかった
経験後
① かなり増えた ② 少し増えた ③ 以前と変わらない ④ 以前より減った

質問 2: 野菜を作っている過程でお子様と育てている野菜についてどのくらいお話ししましたか？
① 毎日 ② たまに ③ ほとんどなし ④ まったくなし

質問 3: 野菜を作っている過程でお子様と一緒に野菜に水やりなどをしたことがありますか？
① 毎回 ② たまに ③ ほとんどなし ④ まったくなし

質問 4: 今回野菜を育てたことで、野菜を育てることに以前より興味をもたれましたか？
① 多いに興味を持った ② 少しは興味をもった ③ 特にかわらない ④ 以前より少なくなった

質問 5: 野菜を育てていることについて、どなたかたと話題にされましたか？(相談など)
① 家族や近所の人と多いに話題にした ② 近所の人と時々話題にした
③ 家族と時々話題にした ④ ほとんど話題にしていない

質問 6: 以前より野菜を育てるための知識は増えましたか？
① かなり増えた ② 多少増えた ③ ほとんど変わらない ④ まったく変わらない

②

質問 7: 食品の安全性(農薬・肥料)に関する情報収集など、プランター栽培の経験前と後で変化はありましたか？
経験前
① 自ら調べていた ② メディアからの情報をたまに聞く程度 ③ ほとんどしていない
④ まったく興味がない
経験後
① 自ら調べるようになった ② メディアからの情報を聞くようになった
③ 少しは興味をもつようになった ④ 以前と変わらない

質問 8: 地産地消(地元の野菜を食べる)に対する意識は、プランター栽培の経験前と後で変化はありましたか？
経験前
① 多いに意識しているし購入していた ② たまに意識して購入していた
③ 意識はしても購入はしなかった ④ まったくない
経験後
① 多いに意識しているし購入するようになった ② たまに意識して購入するようになった
③ 意識はしても購入はしていない ④ 以前と変わらない

質問 9: 今まで野菜を購入するときに、季節の旬の野菜を意識して購入されてますか？またプランター栽培の経験前と後で変化はありましたか？
経験前
① 多いに意識していた ② たまに意識していた ③ ほとんどしない ④まったくない
経験後
① 多いに意識するようになった ② たまに意識する ③ ほとんどしない ④以前と変わらない

質問 10: 今回野菜作りをして、楽しかったですか？
① 楽しかった ② まあまあ楽しかった ③ 特に楽しくなかった ④ 全く楽しくなかった

質問 11: 上記の理由を自由にご記入ください。
野菜が育っていく過程がおもしろく、実がなった時にかわいささえ覚えました。

③

質問 12: 野菜を育てる過程で、サポート対応(相談相手)は必要だと思いますか？
① 多いに必要 ② たまに必要 ③ 特に必要ではない ④ まったく必要ない

質問 13: 野菜を育てる過程で、相談相手になってもらえる農家の人(プロ)への仲介が嬉しいですか？
① 多いに必要 ② たまに必要 ③ 特に必要ではない ④ まったく必要ない

質問 14: 質問 13 で、「必要ではない」と回答した方へ、理由を教えてください。
① すでに知り合いがいる ② 十分な知識がある ③ 自力で調査できる ④ 興味がない

質問 15: 「食育」の一環であるプランターキットサービス(プランターに土、苗、野菜が準備され、本来は玄関までの宅配、終了したら、引き取るサービス)に関して、今後もやってみたいと思いますか？
① 是非またやってみたい ② たまにやってみたい ③ 特にやりたいと思わない
④ まったくやりたくない

質問 16: このようなサービスがあったら、いくらくらいの価格設定でしたら受けたいですか？
ご自由にご記入ください。
1セット 1000～1500円くらい
上記の価格にした理由をご記入ください。
みかん狩りや芋掘りなどの体験の値段がこれくらいなので

質問 17: プランターサービスを経験したうえで、市民農園(指導なし)や体験農園(指導あり)をやってみたいとおもいますか？
① 体験農園をやってみたい ② 市民をやってみたい
③ プランターサービスを継続したい ④ 何もやりたくない

質問 18: お子さんやご家族のために安心、安全な食材を食べるための知識を今後も増やしていきたいとおもいますか？
① 是非増やしたい ② 機会があれば増やしたい
③ どちらでもない ④ 特に増やしたくない

④

質問 19. プランターキットサービスに関する改善点などがありましたら最大3つまでお聞かせください。

以上になります。
ご多忙のところ、ご協力いただき誠にありがとうございました。

慶應義塾大学大学院システムデザインマネジメント研究科
糸川 永利子

【No. D】

①

食育普及サービスに関してのアンケート

氏名

アンケート内で出てくる食育とは、「家庭での食育を目指すところとして、食物(野菜)を自ら作り育てることにより、安心・安全な食生活の知識獲得と実践を行うこと」を基本に各質問にご回答ください。

質問 1: 「食育」と言う言葉に今まで関心がありましたか？またプランター栽培を経験した後意識は変化があったと思われますか？
経験前
① かなりあった ② 少しあった ③ 意味を知っている程度 ④ まったくなかった
経験後
① かなり増えた ② 少し増えた ③ 以前と変わらない ④ 以前より減った

質問 2: 野菜を作っている過程でお子様と育てている野菜についてどのくらいお話ししましたか？
① 毎日 ② たまに ③ ほとんどなし ④ まったくなし

質問 3: 野菜を作っている過程でお子様と一緒に野菜に水やりなどをしたことがありますか？
① 毎回 ② たまに ③ ほとんどなし ④ まったくなし

質問 4: 今回野菜を育てたことで、野菜を育てることに以前より興味をもたれましたか？
① 多いに興味を持った ② 少しは興味をもった ③ 特にかわらない ④ 以前より少なくなった

質問 5: 野菜を育てていることについて、どなたかたと話題にされましたか？(相談など)
① 家族や近所の人と多いに話題にした ② 近所の人と時々話題にした
③ 家族と時々話題にした ④ ほとんど話題にしていない

質問 6: 以前より野菜を育てるための知識は増えましたか？
① かなり増えた ② 多少増えた ③ ほとんど変わらない ④ まったく変わらない

②

質問 7: 食品の安全性(農薬・肥料)に関する情報収集など、プランター栽培の経験前と後で変化はありましたか？
経験前
① 自ら調べていた ② メディアからの情報をたまに聞く程度 ③ ほとんどしていない
④ まったく興味がない
経験後
① 自ら調べるようになった ② メディアからの情報を聞くようになった
③ 少しは興味をもつようになった ④ 以前と変わらない

質問 8: 地産地消(地元の野菜を食べる)に対する意識は、プランター栽培の経験前と後で変化はありましたか？
経験前
① 多いに意識しているし購入していた ② たまに意識して購入していた
③ 意識はしても購入はしなかった ④ まったくない
経験後
① 多いに意識しているし購入するようになった ② たまに意識して購入するようになった
③ 意識はしても購入はしていない ④ 以前と変わらない

質問 9: 今まで野菜を購入するときに、季節の旬の野菜を意識して購入されてますか？またプランター栽培の経験前と後で変化はありましたか？
経験前
① 多いに意識していた ② たまに意識していた ③ ほとんどしない ④ まったくない
経験後
① 多いに意識するようになった ② たまに意識する ③ ほとんどしない ④ 以前と変わらない

質問 10: 今回野菜作りをして、楽しかったですか？
① 楽しかった ② まあまあ楽しかった ③ 特に楽しくなかった ④ 全く楽しくなかった

質問 11: 上記の理由を自由にご記入ください。

野菜作りは初めてだったので、実ができるまでの過程を毎日真近で見ることが、とても新鮮でおもしろかったから。

③

質問 12: 野菜を育てる過程で、サポート対応(相談相手)は必要だと思いますか？
① 多いに必要 ② たまに必要 ③ 特に必要ではない ④ まったく必要ない

質問 13: 野菜を育てる過程で、相談相手になってもらえる農家の人(プロ)への仲介がほしいですか？
① 多いに必要 ② たまに必要 ③ 特に必要ではない ④ まったく必要ない

質問 14: 質問 13 で、「必要ではない」と回答した方へ、理由を教えてください。
① すでに知り合いがいる ② 十分な知識がある ③ 自力で調査できる ④ 興味がない

質問 15: 「食育」の一環であるプランターキットサービス(プランターに土、苗、野菜が準備され、本来は玄関までの宅配、終了したら、引き取るサービス)に関して、今後もやってみたいと思いますか？
① 是非またやってみたい ② たまにやってみたい ③ 特にやりたいと思わない
④ まったくやりたくない

質問 16: このようなサービスがあったら、いくらくらいの価格設定でしたら受けたいですか？
ご自由にご記入ください。

3000円 ～ 3500円

上記の価格にした理由をご記入ください。

送料 800円 × 2(往復)
苗 400円 × 2(苗)
土 600円 ～ 1100円
プランターは使いまわしで無料

サービス業者にはもうけがおないと思いますが…
確実に収穫が保障されるものでないなら、気軽にやってみようと思えるのはこれ位です。

質問 17: プランターサービスを経験したうえで、市民農園(指導なし)や体験農園(指導あり)をやってみたいとおもいますか？
① 体験農園をやってみたい ② 市民をやってみたい
③ プランターサービスを継続したい ④ 何もやりたくない

質問 18: お子さんやご家族のために安心、安全な食材を食べるための知識を今後も増やしていきたいとおもいますか？
① 是非増やしたい ② 機会があれば増やしたい
③ どちらでもない ④ 特に増やしたくない

④

質問 19. プランターキットサービスに関する改善点などがありましたら最大3つまでお聞かせください。

自宅ベランダで育てるなら
・プランターの大きさを小さくする。
・有機はいいが、虫が大量につくのは絶対にいやなので、虫をよせつけない方法を考えてほしい。

以上になります。
ご多忙のところ、ご協力いただき誠にありがとうございました。

慶應義塾大学大学院システムデザインマネジメント研究科
糸川 永利子

【No. E】

①

食育普及サービスに関してのアンケート

氏名

アンケート内で出てくる食育とは、「家庭での食育を目指すところとして、食物(野菜)を自ら作り育てることにより、安心・安全な食生活の知識獲得と実践を行うこと」を基本に各質問にご回答ください。

質問 1: 「食育」と言う言葉に今まで関心がありましたか？またプランター栽培を経験した後意識は変化があったと思われますか？
経験前
① かなりあった ② 少しあった ③ 意味を知っている程度 ④ まったくなかった
経験後
① かなり増えた ② 少し増えた ③ 以前と変わらない ④ 以前より減った

質問 2: 野菜を作っている過程でお子様と育てている野菜についてどのくらいお話ししましたか？
① 毎日 ② たまに ③ ほとんどなし ④ まったくなし

質問 3: 野菜を作っている過程でお子様と一緒に野菜に水やりなどをしたことがありますか？
① 毎回 ② たまに ③ ほとんどなし ④ まったくなし

質問 4: 今回野菜を育てたことで、野菜を育てることに以前より興味をもたれましたか？
① 多いに興味を持った ② 少しは興味をもった ③ 特にかわらない ④ 以前より少なくなった

質問 5: 野菜を育てていることについて、どなたかたと話題にされましたか？(相談など)
① 家族や近所の人と多いに話題にした ② 近所の人と時々話題にした
③ 家族と時々話題にした ④ ほとんど話題にしていない

質問 6: 以前より野菜を育てるための知識は増えましたか？
① かなり増えた ② 多少増えた ③ ほとんど変わらない ④ まったく変わらない

②

質問 7: 食品の安全性(農薬・肥料)に関する情報収集など、プランター栽培の経験前と後で変化はありましたか？
経験前
① 自ら調べていた ② メディアからの情報をたまに聞く程度 ③ ほとんどしていない
④ まったく興味がない
経験後
① 自ら調べるようになった ② メディアからの情報を聞くようになった
③ 少しは興味をもつようになった ④ 以前と変わらない

質問 8: 地産地消(地元の野菜を食べる)に対する意識は、プランター栽培の経験前と後で変化はありましたか？
経験前
① 多いに意識しているし購入していた ② たまに意識して購入していた
③ 意識はしても購入はしなかった ④ まったくない
経験後
① 多いに意識しているし購入するようになった ② たまに意識して購入するようになった
③ 意識はしても購入はしていない ④以前と変わらない

質問 9: 今まで野菜を購入するときに、季節の旬の野菜を意識して購入されてますか？またプランター栽培の経験前と後で変化はありましたか？
経験前
① 多いに意識していた ② たまに意識していた ③ ほとんどしない ④まったくない
経験後
① 多いに意識するようになった ② たまに意識する ③ ほとんどしない ④以前と変わらない

質問 10: 今回野菜作りをして、楽しかったですか？
① 楽しかった ② まあまあ楽しかった ③ 特に楽しくなかった ④ 全く楽しくなかった

質問 11: 上記の理由を自由にご記入ください。

野菜の栽培をするのは初めてでした。どんどん育っていき花が咲き野菜が大きくなっていくのを子供と観察ができ、収穫もできて楽しかったです。

③

質問 12: 野菜を育てる過程で、サポート対応(相談相手)は必要だと思いますか？
① 多いに必要 ② たまに必要 ③ 特に必要ではない ④ まったく必要ない

質問 13: 野菜を育てる過程で、相談相手になってもらえる農家の人(プロ)への仲介がほしいですか？
① 多いに必要 ② たまに必要 ③ 特に必要ではない ④ まったく必要ない

質問 14: 質問 13 で、「必要ではない」と回答した方へ、理由を教えてください。
① すでに知り合いがいる ② 十分な知識がある ③ 自力で調査できる ④ 興味がない

質問 15: 「食育」の一環であるプランターキットサービス(プランターに土、苗、野菜が準備され、本来は玄関までの宅配、終了したら、引き取るサービス)に関して、今後もやってみたいと思いますか？
① 是非またやってみたい ② たまにやってみたい ③ 特にやりたいと思わない
④ まったくやりたくない

質問 16: このようなサービスがあったら、いくらくらいの価格設定でしたら受けたいですか？
ご自由にご記入ください。

8000～10000円

上記の価格にした理由をご記入ください。

無理のない価格帯と思うから。

質問 17: プランターサービスを経験したうえで、市民農園(指導なし)や体験農園(指導あり)をやってみたいとおもいますか？
① 体験農園をやってみたい ② 市民をやってみたい
③ プランターサービスを継続したい ④ 何もやりたくない

質問 18: お子さんやご家族のために安心、安全な食材を食べるための知識を今後も増やしていきたいとおもいますか？
① 是非増やしたい ② 機会があれば増やしたい
③ どちらでもない ④ 特に増やしたくない

④

質問 19. プランターキットサービスに関する改善点などがありましたら最大3つまでお聞かせください。

・育てる場所によりプランターのサイズが選べればいいと思う。
・育てる過程でのサポート対応の強化。

以上になります。
ご多忙のところ、ご協力いただき誠にありがとうございました。

慶應義塾大学大学院システムデザインマネジメント研究科
糸川 永利子

【No. F】

①

食育普及サービスに関してのアンケート

氏名

アンケート内で出てくる食育とは、「家庭での食育を目指すところとして、食物(野菜)を自ら作り育てることにより、安心・安全な食生活の知識獲得と実践を行うこと」を基本に各質問にご回答ください。

質問 1: 「食育」と言う言葉に今まで関心がありましたか？またプランター栽培を経験した後意識は変化があったと思われますか？
経験前
① かなりあった ② 少しあった ③ 意味を知っている程度 ④ まったくなかった
経験後
① かなり増えた ② 少し増えた ③ 以前と変わらない ④ 以前より減った

質問2: 野菜を作っている過程でお子様と育てている野菜についてどのくらいお話ししましたか？
① 毎日 ② たまに ③ ほとんどなし ④ まったくなし

質問 3: 野菜を作っている過程でお子様と一緒に野菜に水やりなどをしたことがありますか？
① 毎回 ② たまに ③ ほとんどなし ④ まったくなし

質問 4: 今回野菜を育てたことで、野菜を育てることに以前より興味をもたれましたか？
① 多いに興味を持った ② 少しは興味をもった ③ 特にかわらない ④ 以前より少なくなった

質問 5: 野菜を育てていることについて、どなたかたと話題にされましたか？(相談など)
① 家族や近所の人と多いに話題にした ② 近所の人と時々話題にした
③ 家族と時々話題にした ④ ほとんど話題にしていない

質問 6: 以前より野菜を育てるための知識は増えましたか？
① かなり増えた ② 多少増えた ③ ほとんど変わらない ④ まったく変わらない

②

質問 7: 食品の安全性(農薬・肥料)に関する情報収集など、プランター栽培の経験前と後で変化はありましたか？
経験前
① 自ら調べていた ② メディアからの情報をたまに聞く程度 ③ ほとんどしていない
④ まったく興味がない
経験後
① 自ら調べるようになった ② メディアからの情報を聞くようになった
③ 少しは興味をもつようになった ④ 以前と変わらない

質問 8: 地産地消(地元の野菜を食べる)に対する意識は、プランター栽培の経験前と後で変化はありましたか？
経験前
① 多いに意識しているし購入していた ② たまに意識して購入していた
③ 意識はしても購入はしなかった ④ まったくない
経験後
① 多いに意識しているし購入するようになった ② たまに意識して購入するようになった
③ 意識はしても購入はしていない ④以前と変わらない

質問 9: 今まで野菜を購入するときに、季節の旬の野菜を意識して購入されてますか？またプランター栽培の経験前と後で変化はありましたか？
経験前
① 多いに意識していた ② たまに意識していた ③ ほとんどしない ④まったくない
経験後
① 多いに意識するようになった ② たまに意識する ③ ほとんどしない ④以前と変わらない

質問 10: 今回野菜作りをして、楽しかったですか？
① 楽しかった ② まあまあ楽しかった ③ 特に楽しくなかった ④ 全く楽しくなかった

質問 11: 上記の理由を自由にご記入ください。
プランターで野菜を育てるのは初めてで、
実がなり、収穫できる楽しみがあったから。

③

質問 12: 野菜を育てる過程で、サポート対応(相談相手)は必要だと思いますか？
① 多いに必要 ② たまに必要 ③ 特に必要ではない ④ まったく必要ない

質問 13: 野菜を育てる過程で、相談相手になってもらえる農家の人(プロ)への仲介がほしいですか？
① 多いに必要 ② たまに必要 ③ 特に必要ではない ④ まったく必要ない

質問 14: 質問 13 で、「必要ではない」と回答した方へ、理由を教えてください。
① すでに知り合いがいる ② 十分な知識がある ③ 自力で調査できる ④ 興味がない

質問 15: 「食育」の一環であるプランターキットサービス(プランターに土、苗、野菜が準備され、本来は玄関までの宅配、終了したら、引き取るサービス)に関して、今後もやってみたいと思いますか？
① 是非またやってみたい ② たまにやってみたい ③ 特にやりたいと思わない
④ まったくやりたくない

質問 16: このようなサービスがあったら、いくらくらいの価格設定でしたら受けたいですか？
ご自由にご記入ください。
～ 3,000 円
上記の価格にした理由をご記入ください。
あまり高いと、失敗したら無駄になる(損をする)
と思ってしまい、野菜作りがプレッシャーになる。

質問 17: プランターサービスを経験したうえで、市民農園(指導なし)や体験農園(指導あり)をやってみたいとおもいますか？
① 体験農園をやってみたい ② 市民をやってみたい
③ プランターサービスを継続したい ④ 何もやりたくない

質問 18: お子さんやご家族のために安心、安全な食材を食べるための知識を今後も増やしていきたいとおもいますか？
① 是非増やしたい ② 機会があれば増やしたい
③ どちらでもない ④ 特に増やしたくない

④

質問 19. プランターキットサービスに関する改善点などがありましたら最大3つまでお聞かせください。
(可能であれば)
プランターの大きさをもっと小さくしてもらいたい。
あるいは小さくてもできる野菜を選びたい。
マンションのベランダ(うちは特に賃貸マンションの為、せまい)で育てる為、日当たり、風通しなどの条件をできる限り良くする為に、ベランダにかけられたり、台に乗せられる程度の重さだと、もっとうまく育てられた気がします。

以上になります。
ご多忙のところ、ご協力いただき誠にありがとうございました。

慶應義塾大学大学院システムデザインマネジメント研究科
糸川 永利子

【No. G】

①

食育普及サービスに関してのアンケート

氏名

アンケート内で出てくる食育とは、「家庭での食育を目指すところとして、食物(野菜)を自ら作り育てることにより、安心・安全な食生活の知識獲得と実践を行うこと」を基本に各質問にご回答ください。

質問 1: 「食育」と言う言葉に今まで関心がありましたか？またプランター栽培を経験した後意識は変化があったと思われますか？
経験前
① かなりあった ② 少しあった ③ 意味を知っている程度 ④ まったくなかった
経験後
① かなり増えた ② 少し増えた ③ 以前と変わらない ④ 以前より減った

質問 2: 野菜を作っている過程でお子様と育てている野菜についてどのくらいお話ししましたか？
① 毎日 ② たまに ③ ほとんどなし ④ まったくなし

質問 3: 野菜を作っている過程でお子様と一緒に野菜に水やりなどをしたことがありますか？
① 毎回 ② たまに ③ ほとんどなし ④ まったくなし

質問 4: 今回野菜を育てたことで、野菜を育てることに以前より興味をもたれましたか？
① 多いに興味を持った ② 少しは興味をもった ③ 特にかわらない ④ 以前より少なくなった

質問 5: 野菜を育てていることについて、どなたかたと話題にされましたか？(相談など)
① 家族や近所の人と多いに話題にした ② 近所の人と時々話題にした
③ 家族と時々話題にした ④ ほとんど話題にしていない

質問 6: 以前より野菜を育てるための知識は増えましたか？
① かなり増えた ② 多少増えた ③ ほとんど変わらない ④ まったく変わらない

②

質問 7: 食品の安全性(農薬・肥料)に関する情報収集など、プランター栽培の経験前と後で変化はありましたか？
経験前
① 自ら調べていた ② メディアからの情報をたまに聞く程度 ③ ほとんどしていない
④ まったく興味がない
経験後
① 自ら調べるようになった ② メディアからの情報を聞くようになった
③ 少しは興味をもつようになった ④ 以前と変わらない

質問 8: 地産地消(地元の野菜を食べる)に対する意識は、プランター栽培の経験前と後で変化はありましたか？
経験前
① 多いに意識しているし購入していた ② たまに意識して購入していた
③ 意識はしても購入はしなかった ④ まったくない
経験後
① 多いに意識しているし購入するようになった ② たまに意識して購入するようになった
③ 意識はしても購入はしていない ④以前と変わらない

質問 9: 今まで野菜を購入するときに、季節の旬の野菜を意識して購入されてますか？またプランター栽培の経験前と後で変化はありましたか？
経験前
① 多いに意識していた ② たまに意識していた ③ ほとんどしない ④まったくない
経験後
① 多いに意識するようになった ② たまに意識する ③ ほとんどしない ④以前と変わらない

質問 10: 今回野菜作りをして、楽しかったですか？
① 楽しかった ② まあまあ楽しかった ③ 特に楽しくなかった ④ 全く楽しくなかった

質問 11: 上記の理由を自由にご記入ください。
食に対しては以前からかなり興味がありましたが、自分自身、東京出身ですし、
親しきも 皆東京なので、自然(特に農業)に触れる機会がほとんど
ありませんでした。野菜作り 農業 のイメージが強く、国産であることは
もちろん、農薬使用の少ないものを選んでいました。今回 プラントエトを
育ててみて、農薬を使わなくても 虫もつかず、どんどん実がなることに
とても感動しました。

③

質問 12: 野菜を育てる過程で、サポート対応(相談相手)は必要だと思いますか？
① 多いに必要 ② たまに必要 ③ 特に必要ではない ④ まったく必要ない

質問 13: 野菜を育てる過程で、相談相手になってもらえる農家の人(プロ)への仲介がほしいですか？
① 多いに必要 ② たまに必要 ③ 特に必要ではない ④ まったく必要ない

質問 14: 質問 13 で、「必要ではない」と回答した方へ、理由を教えてください。
① すでに知り合いがいる ② 十分な知識がある ③ 自力で調査できる ④ 興味がない

質問 15: 「食育」の一環であるプランターキットサービス(プランターに土、苗、野菜が準備され、本来は玄関までの宅配、終了したら、引き取るサービス)に関して、今後もやってみたいと思いますか？
① 是非またやってみたい ② たまにやってみたい ③ 特にやりたいと思わない
④ まったくやりたくない

質問 16: このようなサービスがあったら、いくらくらいの価格設定でしたら受けたいですか？
ご自由にご記入ください。
育てる種類によって、価格は変わると思います。今まで、そうしたサービスを
接したことがないので、よく分かりません。
上記の価格にした理由をご記入ください。
多分、スーパーで購入する際の野菜の価格に対して、子供の食育、
自分で育てる楽しみ、安全、を どのくらいまで価格として プラスできるかが 基準だと思います。
今回のプラントエトだと、2パック分程の収穫なったので、1000円くらいならいいと
※いつも購入するプラントエトで1パック130円で198円ですので。
思います。

質問 17: プランターサービスを経験したうえで、市民農園(指導なし)や体験農園(指導あり)をやってみたいとおもいますか？
① 体験農園をやってみたい ② 市民をやってみたい
③ プランターサービスを継続したい ④ 何もやりたくない

質問 18: お子さんやご家族のために安心、安全な食材を食べるための知識を今後も増やしていきたいとおもいますか？
① 是非増やしたい ② 機会があれば増やしたい
③ どちらでもない ④ 特に増やしたくない

④

質問 19. プランターキットサービスに関する改善点などがありましたら最大3つまでお聞かせください。

- 育てる環境が違うので、(ベランダ だったり庭だったり、狭かったり、広かったり)
それに合うサイズが選べたら もう少し 取り組み易いかもしれません。
- 各々の野菜の育て方のポイントが集まった冊子等があったら便利だと思います。
↖トマトの場合、茎が、どこまでものびてしまって、どうしたら良いのか分からないことがありました
- 家庭から出る生ゴミを肥料にできる、と聞いたことがあります。食育の一環になるのか分かりませんが、食は廻ってることを学ぶ機会になるかもしれません。

以上になります。
ご多忙のところ、ご協力いただき誠にありがとうございました。

慶應義塾大学大学院システムデザインマネジメント研究科
糸川 永利子

【No. H】

①

食育普及サービスに関してのアンケート

氏名

アンケート内で出てくる食育とは、「家庭での食育を目指すところとして、食物(野菜)を自ら作り育てることにより、安心・安全な食生活の知識獲得と実践を行うこと」を基本に各質問にご回答ください。

質問 1: 「食育」と言う言葉に今まで関心がありましたか？またプランター栽培を経験した後意識は変化があったと思われますか？
経験前
① かなりあった ② 少しあった ③ 意味を知っている程度 ④ まったくなかった
経験後
① かなり増えた ② 少し増えた ③ 以前と変わらない ④ 以前より減った

質問2: 野菜を作っている過程でお子様と育てている野菜についてどのくらいお話ししましたか？
① 毎日 ② たまに ③ ほとんどなし ④ まったくなし

質問 3: 野菜を作っている過程でお子様と一緒に野菜に水やりなどをしたことがありますか？
① 毎回 ② たまに ③ ほとんどなし ④ まったくなし

質問 4: 今回野菜を育てたことで、野菜を育てることに以前より興味をもたれましたか？
① 多いに興味を持った ② 少しは興味をもった ③ 特にかわらない ④ 以前より少なくなった

質問5: 野菜を育てていることについて、どなたかたと話題にされましたか？(相談など)
① 家族や近所の人と多いに話題にした ② 近所の人と時々話題にした
③ 家族と時々話題にした ④ ほとんど話題にしていない

質問6: 以前より野菜を育てるための知識は増えましたか？
① かなり増えた ② 多少増えた ③ ほとんど変わらない ④ まったく変わらない

②

質問 7: 食品の安全性(農薬・肥料に関する情報収集など、プランター栽培の経験前と後で変化はありましたか？
経験前
① 自ら調べていた ② メディアからの情報をたまに聞く程度 ③ ほとんどしていない
④ まったく興味がない
経験後
① 自ら調べるようになった ② メディアからの情報を聞くようになった
③ 少しは興味をもつようになった ④ 以前と変わらない

質問 8: 地産地消(地元の野菜を食べる)に対する意識は、プランター栽培の経験前と後で変化はありましたか？
経験前
① 多いに意識しているし購入していた ② たまに意識して購入していた
③ 意識はしても購入はしなかった ④ まったくない
経験後
① 多いに意識しているし購入するようになった ② たまに意識して購入するようになった
③ 意識はしても購入はしていない ④以前と変わらない

質問 9: 今まで野菜を購入するときに、季節の旬の野菜を意識して購入されてますか？またプランター栽培の経験前と後で変化はありましたか？
経験前
① 多いに意識していた ② たまに意識していた ③ ほとんどしない ④まったくない
経験後
① 多いに意識するようになった ② たまに意識する ③ ほとんどしない ④以前と変わらない

質問 10: 今回野菜作りをして、楽しかったですか？
① 楽しかった ② まあまあ楽しかった ③ 特に楽しくなかった ④ 全く楽しくなかった

質問 11: 上記の理由を自由にご記入ください。
幼稚園の先生から子供(4才)が 野菜を作っている事を楽しそうに話している と聞き 子供にとっても 野菜作りが生活の一部になっていたんだなと思いました。
又、親としても 野菜が毎日大きくなってくるのを見るのはとても楽しかったです。

③

質問 12: 野菜を育てる過程で、サポート対応(相談相手)は必要だと思いますか？
① 多いに必要 ② たまに必要 ③ 特に必要ではない ④ まったく必要ない

質問 13: 野菜を育てる過程で、相談相手になってもらえる農家の人(プロ)への仲介がほしいですか？
① 多いに必要 ② たまに必要 ③ 特に必要ではない ④ まったく必要ない

質問 14: 質問 13 で、「必要ではない」と回答した方へ、理由を教えてください。
① すでに知り合いがいる ② 十分な知識がある ③ 自力で調査できる ④ 興味がない

質問 15: 「食育」の一環であるプランターキットサービス(プランターに土、苗、野菜が準備され、本来は玄関までの宅配、終了したら、引き取るサービス)に関して、今後もやってみたいと思いますか？
① 是非またやってみたい ② たまにやってみたい ③ 特にやりたいと思わない
④ まったくやりたくない

質問 16: このようなサービスがあったら、いくらくらいの価格設定でしたら受けたいですか？
ご自由にご記入ください。
サポート含めて 5000円

上記の価格にした理由をご記入ください。
良い苗や土はとてもお金がかかるので上記の価格では難しいとは思いますが、現実的には あまり高額では 主婦は手をまさないと思います。(東がならない リスクもある)

質問 17: プランターサービスを経験したうえで、市民農園(指導なし)や体験農園(指導あり)をやってみたいとおもいますか？
① 体験農園をやってみたい ② 市民をやってみたい
③ プランターサービスを継続したい ④ 何もやりたくない

質問 18: お子さんやご家族のために安心、安全な食材を食べるための知識を今後も増やしていきたいとおもいますか？
① 是非増やしたい ② 機会があれば増やしたい
③ どちらでもない ④ 特に増やしたくない

④

質問 19. プランターキットサービスに関する改善点などがありましたら最大3つまでお聞かせください。

① プランターの大きさと重さ
玄関前から庭へ はこぶのだけで大変でした。大きさはこの大きさがベストなのでしょうか？ ベランダまで運ぶサービスも必要だと思います。

② 簡単な説明書の配布
よくあるトラブル時の対処法や 水やり、肥料やりのタイミング 収穫の時期など 事前にまとめたものを配布してほしい。

③ SOS時の適確な対応
都心部(マンションなど)での野菜作りに精通した人へのQAが すぐに必要(緊急)なので 対応がほしいです。(かれたらしょうがないではサービスとしてはXだと思います。)

以上になります。
ご多忙のところ、ご協力いただき誠にありがとうございました。

慶應義塾大学大学院システムデザインマネジメント研究科
糸川 永利子

【No. I】

①

食育普及サービスに関してのアンケート

氏名

アンケート内で出てくる食育とは、「家庭での食育を目指すところとして、食物(野菜)を自ら作り育てることにより、安心・安全な食生活の知識獲得と実践を行うこと」を基本に各質問にご回答ください。

質問 1: 「食育」と言う言葉に今まで関心がありましたか？またプランター栽培を経験した後意識は変化があったと思われますか？
経験前
① かなりあった ② 少しあった ③ 意味を知っている程度 ④ まったくなかった
経験後
① かなり増えた ② 少し増えた ③ 以前と変わらない ④ 以前より減った

質問2: 野菜を作っている過程でお子様と育てている野菜についてどのくらいお話ししましたか？
① 毎日 ② たまに ③ ほとんどなし ④ まったくなし

質問3: 野菜を作っている過程でお子様と一緒に野菜に水やりなどをしたことがありますか？
① 毎回 ② たまに ③ ほとんどなし ④ まったくなし

質問4: 今回野菜を育てたことで、野菜を育てることに以前より興味をもたれましたか？
① 多いに興味を持った ② 少しは興味をもった ③ 特にかわらない ④ 以前より少なくなった

質問5: 野菜を育てていることについて、どなたかたと話題にされましたか？(相談など)
① 家族や近所の人と多いに話題にした ② 近所の人と時々話題にした
③ 家族と時々話題にした ④ ほとんど話題にしていない

質問6: 以前より野菜を育てるための知識は増えましたか？
① かなり増えた ② 多少増えた ③ ほとんど変わらない ④ まったく変わらない

②

質問 7: 食品の安全性(農薬・肥料)に関する情報収集など、プランター栽培の経験前と後で変化はありましたか？
経験前
① 自ら調べていた ② メディアからの情報をたまに聞く程度 ③ ほとんどしていない
④ まったく興味がない
経験後
① 自ら調べるようになった ② メディアからの情報を聞くようになった
③ 少しは興味をもつようになった ④ 以前と変わらない

質問 8: 地産地消(地元の野菜を食べる)に対する意識は、プランター栽培の経験前と後で変化はありましたか？
経験前
① 多いに意識しているし購入していた ② たまに意識して購入していた
③ 意識はしても購入はしなかった ④ まったくない
経験後
① 多いに意識しているし購入するようになった ② たまに意識して購入するようになった
③ 意識はしても購入はしていない ④以前と変わらない

質問 9: 今まで野菜を購入するときに、季節の旬の野菜を意識して購入されてますか？またプランター栽培の経験前と後で変化はありましたか？
経験前
① 多いに意識していた ② たまに意識していた ③ ほとんどしない ④まったくない
経験後
① 多いに意識するようになった ② たまに意識する ③ ほとんどしない ④以前と変わらない

質問 10: 今回野菜作りをして、楽しかったですか？
① 楽しかった ② まあまあ楽しかった ③ 特に楽しくなかった ④ 全く楽しくなかった

質問 11: 上記の理由を自由にご記入ください。

③

質問 12: 野菜を育てる過程で、サポート対応(相談相手)は必要だと思いますか？
① 多いに必要 ② たまに必要 ③ 特に必要ではない ④ まったく必要ない

質問 13: 野菜を育てる過程で、相談相手になってもらえる農家の人(プロ)への仲介がほしいですか？
① 多いに必要 ② たまに必要 ③ 特に必要ではない ④ まったく必要ない

質問 14: 質問 13 で、「必要ではない」と回答した方へ、理由を教えてください。
① すでに知り合いがいる ② 十分な知識がある ③ 自力で調査できる ④ 興味がない

質問 15: 「食育」の一環であるプランターキットサービス(プランターに土、苗、野菜が準備され、本来は玄関までの宅配、終了したら、引き取るサービス)に関して、今後もやってみたいと思いますか？
① 是非またやってみたい ② たまにやってみたい ③ 特にやりたいと思わない
④ まったくやりたくない

質問 16: このようなサービスがあったら、いくらくらいの価格設定でしたら受けたいですか？
ご自由にご記入ください。
野菜の種(苗)代
上記の価格にした理由をご記入ください。
野菜をそうさい。わからない。体験だけなら
家でやっても良いなー と思うから

質問 17: プランターサービスを経験したうえで、市民農園(指導なし)や体験農園(指導あり)をやってみたいとおもいますか？
① 体験農園をやってみたい ② 市民をやってみたい
③ プランターサービスを継続したい ④ 何もやりたくない

質問 18: お子さんやご家族のために安心、安全な食材を食べるための知識を今後も増やしていきたいとおもいますか？
① 是非増やしたい ② 機会があれば増やしたい
③ どちらでもない ④ 特に増やしたくない

④

質問 19. プランターキットサービスに関する改善点などがありましたら最大3つまでお聞かせください。

以上になります。
ご多忙のところ、ご協力いただき誠にありがとうございました。

慶應義塾大学大学院システムデザインマネジメント研究科
糸川 永利子

【No. J】

①

食育普及サービスに関してのアンケート

氏名

アンケート内で出てくる食育とは、「家庭での食育を目指すところとして、食物(野菜)を自ら作り育てることにより、安心・安全な食生活の知識獲得と実践を行うこと」を基本に各質問にご回答ください。

質問 1: 「食育」と言う言葉に今まで関心がありましたか？またプランター栽培を経験した後意識は変化があったと思われますか？
経験前
① かなりあった ② 少しあった ③ 意味を知っている程度 ④ まったくなかった
経験後
① かなり増えた ② 少し増えた ③ 以前と変わらない ④ 以前より減った

質問 2: 野菜を作っている過程でお子様と育てている野菜についてどのくらいお話ししましたか？
① 毎日 ② たまに ③ ほとんどなし ④ まったくなし

質問 3: 野菜を作っている過程でお子様と一緒に野菜に水やりなどをしたことがありますか？
① 毎回 ② たまに ③ ほとんどなし ④ まったくなし

質問 4: 今回野菜を育てたことで、野菜を育てることに以前より興味をもたれましたか？
① 多いに興味を持った ② 少しは興味をもった ③ 特にかわらない ④ 以前より少なくなった

質問 5: 野菜を育てていることについて、どなたかたと話題にされましたか？(相談など)
① 家族や近所の人と多いに話題にした ② 近所の人と時々話題にした
③ 家族と時々話題にした ④ ほとんど話題にしていない

質問 6: 以前より野菜を育てるための知識は増えましたか？
① かなり増えた ② 多少増えた ③ ほとんど変わらない ④ まったく変わらない

②

質問 7: 食品の安全性(農薬・肥料)に関する情報収集など、プランター栽培の経験前と後で変化はありましたか？
経験前
① 自ら調べていた ② メディアからの情報をたまに聞く程度 ③ ほとんどしていない
④ まったく興味がない
経験後
① 自ら調べるようになった ② メディアからの情報を聞くようになった
③ 少しは興味をもつようになった ④ 以前と変わらない

質問 8: 地産地消(地元の野菜を食べる)に対する意識は、プランター栽培の経験前と後で変化はありましたか？
経験前
① 多いに意識しているし購入していた ② たまに意識して購入していた
③ 意識はしても購入はしなかった ④ まったくない
経験後
① 多いに意識しているし購入するようになった ② たまに意識して購入するようになった
③ 意識はしても購入はしていない ④以前と変わらない

質問 9: 今まで野菜を購入するときに、季節の旬の野菜を意識して購入されてますか？またプランター栽培の経験前と後で変化はありましたか？
経験前
① 多いに意識していた ② たまに意識していた ③ ほとんどしない ④まったくない
経験後
① 多いに意識するようになった ② たまに意識する ③ ほとんどしない ④以前と変わらない

質問 10: 今回野菜作りをして、楽しかったですか？
① 楽しかった ② まあまあ楽しかった ③ 特に楽しくなかった ④ 全く楽しくなかった

質問 11: 上記の理由を自由にご記入ください。
・自ら作る野菜を食べることで、子どもたちも気味になったと思うし、食べものに対する意識も変わると思う。今回はきゅうりを育てていたので、次回は違った野菜挑戦したいです。

③

質問 12: 野菜を育てる過程で、サポート対応(相談相手)は必要だと思いますか？
① 多いに必要 ② たまに必要 ③ 特に必要ではない ④ まったく必要ない

質問 13: 野菜を育てる過程で、相談相手になってもらえる農家の人(プロ)への仲介がほしいですか？
① 多いに必要 ② たまに必要 ③ 特に必要ではない ④ まったく必要ない

質問 14: 質問 13 で、「必要ではない」と回答した方へ。理由を教えてください。
① すでに知り合いがいる ② 十分な知識がある ③ 自力で調査できる ④ 興味がない

質問 15: 「食育」の一環であるプランターキットサービス(プランターに土、苗、野菜が準備され、本来は玄関までの宅配、終了したら、引き取るサービス)に関して、今後もやってみたいと思いますか？
① 是非またやってみたい ② たまにやってみたい ③ 特にやりたいと思わない
④ まったくやりたくない

質問 16: このようなサービスがあったら、いくらくらいの価格設定でしたら受けたいですか？
ご自由にご記入ください。
1000円～1500円
上記の価格にした理由をご記入ください。
・自ら用意する手間等を考えると、このくらいの価格がいいかと思う。他の畑を借りるともっと高いので。

質問 17: プランターサービスを経験したうえで、市民農園(指導なし)や体験農園(指導あり)をやってみたいとおもいますか？
① 体験農園をやってみたい ② 市民をやってみたい
③ プランターサービスを継続したい ④ 何もやりたくない

質問 18: お子さんやご家族のために安心、安全な食材を食べるための知識を今後も増やしていきたいとおもいますか？
① 是非増やしたい ② 機会があれば増やしたい
③ どちらでもない ④ 特に増やしたくない

④

質問 19. プランターキットサービスに関する改善点などがありましたら最大3つまでお聞かせください。

以上になります。
ご多忙のところ、ご協力いただき誠にありがとうございました。

慶應義塾大学大学院システムデザインマネジメント研究科
糸川 永利子

【No. K】

食育普及サービスに関してのアンケート

氏名

アンケート内で出てくる食育とは、「家庭での食育を目指すところとして、食物(野業)を自ら作り育てることにより、安心・安全な食生活の知識獲得と実践を行うこと」を基本に各質問にご回答ください。

質問 1: 「食育」と言う言葉に今まで関心がありましたか？またプランター栽培を経験した後意識は変化があったと思われますか？
経験前
① かなりあった ② 少しあった ③ 意味を知っている程度 ④ まったくなかった
経験後
① かなり増えた ② 少し増えた ③ 以前と変わらない ④ 以前より減った

質問 2: 野菜を作っている過程でお子様と育てている野菜についてどのくらいお話ししましたか？
① 毎日 ② たまに ③ ほとんどなし ④ まったくなし

質問 3: 野菜を作っている過程でお子様と一緒に野菜に水やりなどをしたことがありますか？
① 毎回 ② たまに ③ ほとんどなし ④ まったくなし

質問 4: 今回野菜を育てたことで、野菜を育てることに以前より興味をもたれましたか？
① 多いに興味を持った ② 少しは興味をもった ③ 特にかわらない ④ 以前より少なくなった

質問 5: 野菜を育てていることについて、どなたかたと話題にされましたか？(相談など)
① 家族や近所の人と多いに話題にした ② 近所の人と時々話題にした
③ 家族と時々話題にした ④ ほとんど話題にしていない

質問 6: 以前より野菜を育てるための知識は増えましたか？
① かなり増えた ② 多少増えた ③ ほとんど変わらない ④ まったく変わらない

②

質問 7: 食品の安全性(農薬・肥料)に関する情報収集など、プランター栽培の経験前と後で変化はありましたか？
経験前
① 自ら調べていた ② メディアからの情報をたまに聞く程度 ③ ほとんどしていない
④ まったく興味がない
経験後
① 自ら調べるようになった ② メディアからの情報を聞くようになった
③ 少しは興味をもつようになった ④ 以前と変わらない

質問 8: 地産地消(地元の野菜を食べる)に対する意識は、プランター栽培の経験前と後で変化はありましたか？
経験前
① 多いに意識しているし購入していた ② たまに意識して購入していた
③ 意識はしても購入はしなかった ④ まったくない
経験後
① 多いに意識しているし購入するようになった ② たまに意識して購入するようになった
③ 意識はしても購入はしていない ④以前と変わらない

質問 9: 今まで野菜を購入するときに、季節の旬の野菜を意識して購入されてますか？またプランター栽培の経験前と後で変化はありましたか？
経験前
① 多いに意識していた ② たまに意識していた ③ ほとんどしない ④まったくない
経験後
① 多いに意識するようになった ② たまに意識する ③ ほとんどしない ④以前と変わらない

質問 10: 今回野菜作りをして、楽しかったですか？
① 楽しかった ② まあまあ楽しかった ③ 特に楽しくなかった ④ 全く楽しくなかった

質問 11: 上記の理由を自由にご記入ください。
プランターでの、ミニトマト栽培は、初めてでしたので、おいしくて、ちゃんと実に成長するが、ドキドキしながら、楽しみながら、毎日、水やりをして、子供と一緒に、話をしながら、作ることができました。
収穫の喜びも、子供達が、はりきって、実験でいろいろ、やってくれました。

③

質問 12: 野菜を育てる過程で、サポート対応(相談相手)は必要だと思いますか？
① 多いに必要 ② たまに必要 ③ 特に必要ではない ④ まったく必要ない

質問 13: 野菜を育てる過程で、相談相手になってもらえる農家の人(プロ)への仲介が望ましいですか？
① 多いに必要 ② たまに必要 ③ 特に必要ではない ④ まったく必要ない

質問 14: 質問 13 で、「必要ではない」と回答した方へ、理由を教えてください。
① すでに知り合いがいる ② 十分な知識がある ③ 自力で調査できる ④ 興味がない

質問 15: 「食育」の一環であるプランターキットサービス(プランターに土、苗、野菜が準備され、本来は玄関までの宅配、終了したら、引き取るサービス)に関して、今後もやってみたいと思いますか？
① 是非またやってみたい ② たまにやってみたい ③ 特にやりたいと思わない
④ まったくやりたくない

質問 16: このようなサービスがあったら、いくらくらいの価格設定でしたら受けたいですか？
ご自由にご記入ください。
2,000円位。

上記の価格にした理由をご記入ください。
主婦目線で…。できれば、安い方が良いので…。

質問 17: プランターサービスを経験したうえで、市民農園(指導なし)や体験農園(指導あり)をやってみたいとおもいますか？
① 体験農園をやってみたい ② 市民をやってみたい
③ プランターサービスを継続したい ④ 何もやりたくない

質問 18: お子さんやご家族のために安心、安全な食材を食べるための知識を今後も増やしていきたいとおもいますか？
① 是非増やしたい ② 機会があれば増やしたい
③ どちらでもない ④ 特に増やしたくない

④

質問 19. プランターキットサービスに関する改善点などがありましたら最大3つまでお聞かせください。
② 育てている間、途中、何度も、このままで良いか？と、不安になったり、心配になり、できたら、プロの農家の方のアドバイスや、相談が、ワンポイントで、できたら、良いなどと思いました。
③ 栽培途中、(成長状態、収穫時) したい写真で、撮り、プロの方に、見て頂き、アドバイスを頂ける。(苗の植え方、それぞれ植え方、等) 栽培に役立ち
③ 時間で、Q&A方式ない学習に、学生を受入れる良いと思います。中小、学校、の授業の作成、道具や、土も、選び方を、教わり、頂けると、良いなと、思いました。

以上になります。
ご多忙のところ、ご協力いただき誠にありがとうございました。

慶應義塾大学大学院システムデザインマネジメント研究科
糸川 永利子

最後、長文を、お詫び下さい。
この度は、とても、楽しく、勉強させて頂き、心から、感謝致しております。本当ありがとうございました。

【No. L】

①

食育普及サービスに関してのアンケート

氏名

アンケート内で出てくる食育とは、「家庭での食育を目指すところとして、食物(野菜)を自ら作り育てることにより、安心・安全な食生活の知識獲得と実践を行うこと」を基本に各質問にご回答ください。

質問 1: 「食育」と言う言葉に今まで関心がありましたか？またプランター栽培を経験した後意識は変化があったと思われますか？
経験前
① かなりあった ② 少しあった ③ 意味を知っている程度 ④ まったくなかった
経験後
① かなり増えた ② 少し増えた ③ 以前と変わらない ④ 以前より減った

質問 2: 野菜を作っている過程でお子様と育てている野菜についてどのくらいお話ししましたか？
① 毎日 ② たまに ③ ほとんどなし ④ まったくなし

質問 3: 野菜を作っている過程でお子様と一緒に野菜に水やりなどをしたことがありますか？
① 毎回 ② たまに ③ ほとんどなし ④ まったくなし

質問 4: 今回野菜を育てたことで、野菜を育てることに以前より興味をもたれましたか？
① 多いに興味を持った ② 少しは興味をもった ③ 特にかわらない ④ 以前より少なくなった

質問 5: 野菜を育てていることについて、どなたかたと話題にされましたか？(相談など)
① 家族や近所の人と多いに話題にした ② 近所の人と時々話題にした
③ 家族と時々話題にした ④ ほとんど話題にしていない

質問 6: 以前より野菜を育てるための知識は増えましたか？
① かなり増えた ② 多少増えた ③ ほとんど変わらない ④ まったく変わらない

②

質問 7: 食品の安全性(農薬・肥料)に関する情報収集など、プランター栽培の経験前と後で変化はありましたか？
経験前
① 自ら調べていた ② メディアからの情報をたまに聞く程度 ③ ほとんどしていない
④ まったく興味がない
経験後
① 自ら調べるようになった ② メディアからの情報を聞くようになった
③ 少しは興味をもつようになった ④ 以前と変わらない

質問 8: 地産地消(地元の野菜を食べる)に対する意識は、プランター栽培の経験前と後で変化はありましたか？
経験前
① 多いに意識しているし購入していた ② たまに意識して購入していた
③ 意識はしても購入はしなかった ④ まったくない
経験後
① 多いに意識しているし購入するようになった ② たまに意識して購入するようになった
③ 意識はしても購入はしていない ④以前と変わらない

質問 9: 今まで野菜を購入するときに、季節の旬の野菜を意識して購入されてますか？またプランター栽培の経験前と後で変化はありましたか？
経験前
① 多いに意識していた ② たまに意識していた ③ ほとんどしない ④まったくない
経験後
① 多いに意識するようになった ② たまに意識する ③ ほとんどしない ④以前と変わらない

質問 10: 今回野菜作りをして、楽しかったですか？
① 楽しかった ② まあまあ楽しかった ③ 特に楽しくなかった ④ 全く楽しくなかった

質問 11: 上記の理由を自由にご記入ください。
今まで『オクラ』を栽培したことが何度があるのですが
全然、育ったことがなく、今回みたいにいっぱい
出来たことが楽しかったです。

③

質問 12: 野菜を育てる過程で、サポート対応(相談相手)は必要だと思いますか？
① 多いに必要 ② たまに必要 ③ 特に必要ではない ④ まったく必要ない

質問 13: 野菜を育てる過程で、相談相手になってもらえる農家の人(プロ)への仲介がほしいですか？
① 多いに必要 ② たまに必要 ③ 特に必要ではない ④ まったく必要ない

質問 14: 質問 13 で、「必要ではない」と回答した方へ、理由を教えてください。
① すでに知り合いがいる ② 十分な知識がある ③ 自力で調査できる ④ 興味がない

質問 15: 「食育」の一環であるプランターキットサービス(プランターに土、苗、野菜が準備され、本来は玄関までの宅配、終了したら、引き取るサービス)に関して、今後もやってみたいと思いますか？
① 是非またやってみたい ② たまにやってみたい ③ 特にやりたいと思わない
④ まったくやりたくない

質問 16: このようなサービスがあったら、いくらくらいの価格設定でしたら受けたいですか？
ご自由にご記入ください。
無料 ～200円
上記の価格にした理由をご記入ください。
野菜を育てるからには、お金をかけた分以上の野菜を収穫したいという思いがあり、安心・安全な野菜を食べたいと思うが、元手はあまりかけたくないから。

質問 17: プランターサービスを経験したうえで、市民農園(指導なし)や体験農園(指導あり)をやってみたいとおもいますか？
① 体験農園をやってみたい ② 市民をやってみたい
③ プランターサービスを継続したい ④ 何もやりたくない

質問 18: お子さんやご家族のために安心、安全な食材を食べるための知識を今後も増やしていきたいとおもいますか？
① 是非増やしたい ② 機会があれば増やしたい
③ どちらでもない ④ 特に増やしたくない

④

質問 19. プランターキットサービスに関する改善点などがありましたら最大3つまでお聞かせください。
・プランターキットで購入する前の情報を
初めにある程度ほしいです。
例えば、『オクラ』の種類、どのように成長していくか
むだな葉や枝がある場合、どれをいつ
間引けばいいかなど。
・苗からではなく、種から始めるという
選択肢があってもいいのでは…と思いました。

以上になります。
ご多忙のところ、ご協力いただき誠にありがとうございました。

慶應義塾大学大学院システムデザインマネジメント研究科
糸川 永利子

誤字ばかりになってしまい、申し訳ありません。
よろしくお願いします。

【No. M】

①

食育普及サービスに関してのアンケート

氏名

アンケート内で出てくる食育とは、「家庭での食育を目指すところとして、食物(野菜)を自ら作り育てることにより、安心・安全な食生活の知識獲得と実践を行うこと」を基本に各質問にご回答ください。

質問 1: 「食育」と言う言葉に今まで関心がありましたか？またプランター栽培を経験した後意識は変化があったと思われますか？
経験前
① かなりあった ② 少しあった ③ 意味を知っている程度 ④ まったくなかった
経験後
① かなり増えた ② 少し増えた ③ 以前と変わらない ④ 以前より減った

質問 2: 野菜を作っている過程でお子様と育てている野菜についてどのくらいお話ししましたか？
① 毎日 ② たまに ③ ほとんどなし ④ まったくなし

質問 3: 野菜を作っている過程でお子様と一緒に野菜に水やりなどをしたことがありますか？
① 毎回 ② たまに ③ ほとんどなし ④ まったくなし

質問 4: 今回野菜を育てたことで、野菜を育てることに以前より興味をもたれましたか？
① 多いに興味を持った ② 少しは興味をもった ③ 特にかわらない ④ 以前より少なくなった

質問 5: 野菜を育てていることについて、どなたかたと話題にされましたか？(相談など)
① 家族や近所の人と多いに話題にした ② 近所の人と時々話題にした
③ 家族と時々話題にした ④ ほとんど話題にしていない

質問 6: 以前より野菜を育てるための知識は増えましたか？
① かなり増えた ② 多少増えた ③ ほとんど変わらない ④ まったく変わらない

②

質問 7: 食品の安全性(農薬・肥料)に関する情報収集など、プランター栽培の経験前と後で変化はありましたか？
経験前
① 自ら調べていた ② メディアからの情報をたまに聞く程度 ③ ほとんどしていない
④ まったく興味がない
経験後
① 自ら調べるようになった ② メディアからの情報を聞くようになった
③ 少しは興味をもつようになった ④ 以前と変わらない

質問 8: 地産地消(地元の野菜を食べる)に対する意識は、プランター栽培の経験前と後で変化はありましたか？
経験前
① 多いに意識しているし購入していた ② たまに意識して購入していた
③ 意識はしても購入はしなかった ④ まったくない
経験後
① 多いに意識しているし購入するようになった ② たまに意識して購入するようになった
③ 意識はしても購入はしていない ④ 以前と変わらない

質問 9: 今まで野菜を購入するときに、季節の旬の野菜を意識して購入されてますか？またプランター栽培の経験前と後で変化はありましたか？
経験前
① 多いに意識していた ② たまに意識していた ③ ほとんどしない ④まったくない
経験後
① 多いに意識するようになった ② たまに意識する ③ ほとんどしない ④以前と変わらない

質問 10: 今回野菜作りをして、楽しかったですか？
① 楽しかった ② まあまあ楽しかった ③ 特に楽しくなかった ④ 全く楽しくなかった

質問 11: 上記の理由を自由にご記入ください。
イスには畝に向かって プランターで栽培したことがあるので すぐいつも上手くいかなかったので。
今回はちゃんと土や肥料で用意していただいた苗に期待しました。やはり、天候のせいもあったが、思っていたほどの収穫数がなかったこと、また「栽培のコツ」など有益な情報が聞けたらすてきだった。

③

質問 12: 野菜を育てる過程で、サポート対応(相談相手)は必要だと思いますか？
① 多いに必要 ② たまに必要 ③ 特に必要ではない ④ まったく必要ない

質問 13: 野菜を育てる過程で、相談相手になってもらえる農家の人(プロ)への仲介が望ましいですか？
① 多いに必要 ② たまに必要 ③ 特に必要ではない ④ まったく必要ない

質問 14: 質問 13 で、「必要ではない」と回答した方へ、理由を教えてください。
① すでに知り合いがいる ② 十分な知識がある ③ 自力で調査できる ④ 興味がない

質問 15: 「食育」の一環であるプランターキットサービス(プランターに土、苗、野菜が準備され、本来は玄関までの宅配、終了したら、引き取るサービス)に関して、今後もやってみたいと思いますか？
① 是非またやってみたい ② たまにやってみたい ③ 特にやりたいと思わない
④ まったくやりたくない

質問 16: このようなサービスがあったら、いくらくらいの価格設定でしたら受けたいですか？
ご自由にご記入ください。
1500～2000円くらい
上記の価格にした理由をご記入ください。
それくらいだったら、自分で苗を買ってきて植えられるから。

質問 17: プランターサービスを経験したうえで、市民農園(指導なし)や体験農園(指導あり)をやってみたいとおもいますか？
① 体験農園をやってみたい ② 市民をやってみたい
③ プランターサービスを継続したい ④ 何もやりたくない

質問 18: お子さんやご家族のために安心、安全な食材を食べるための知識を今後も増やしていきたいとおもいますか？
① 是非増やしたい ② 機会があれば増やしたい
③ どちらでもない ④ 特に増やしたくない

④

質問 19. プランターキットサービスに関する改善点などがありましたら最大3つまでお聞かせください。
① 野菜の品種や、土肥料の説明、(上手な)栽培の仕方など、マニュアル的なものの添付。食育を目的としているなら、子供が興味を持つようなイラストや写真があるもの。
② いつでも「すぐに」質問に対応してくれる電話やメールのシステムを作っていただく。

以上になります。
ご多忙のところ、ご協力いただき誠にありがとうございました。

慶應義塾大学大学院システムデザインマネジメント研究科
糸川 永利子